364.4
Y66

3

0035382000

0035382-000

３６４．４－Ｙ６６ウ

健康保険実際事務の研究

谷田部武・著

社会保険法規出版

昭和１６

AGD

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法
第６７条の規定に基づき、平成１２年５月１５
付けで文化庁長官の裁定を受け使用するもので

3649
Y66

健康保險實際事務の研究

前社會保險局長　清水玄序
地方事務官　谷田部武署

社會保險法規出版株式會社

913
11

序

近時我國に於ける、社會保險制度の、進歩發達は著しいものがある、卽ち健康保險、國民健康保險、職員健康保險、船員保險の各制度が實施せられ又最近實施を見たる、政府職員共濟組合、市町村吏員或は教職員の共濟施設の如き何れも前記各制度に一貫の流れを汲んでをる、更に近く實施せられんとするものに勞働者年金保險制度あり、斯くて歐洲の先進國に比し、立ち遲れの感ありし我國の社會保險制度も玆に完成の域に達せんとし、世上早くも之等諸制度の統一の聲を聞くに至る、顧て欣快の情に堪へざるものがある。之等諸制度の先驅を爲したるものは、大正十五年施行せられたる、健康保險制度に端を發したるものにして、健康保險は、我國社會保險の源泉を爲したるものと謂ひ得べく、其の實績は寔に輝かしきものがある。從つて我國の社會保險の諸制度の根底を知るが爲には先づ、健康保險の制度の研究を爲すことは蓋し徒爾ならざるものがある、而て健康保險に關する著書は指を屈するの出版がある、然れ共其の實務に關する好著は、

暁天の星の感なきにあらず、知人谷田部君、茲に見るところあり、頃日「健康保險實際事務の研究」を上梓すべく、余に其の序を求む。

谷田部君は大正十五年、健康保險制度實施と共に職を其の第一線に奉じ、爾來十有餘年、一日の如く、本法施行の重責に當り、其の間、孜々として倦まず、之が事務の研究を爲すところありて、君の燃犀の筆は、隨時各方面の誌上に發表され、令聞あり、本書の內容たるや、平素君の研究、蘊蓄を注ぎたるものにして寔に肯綮に中るものがある、茲に本書の廣く世上に遍からんことを希ふて、以て序とす。

皇紀二千六百一年

清水玄識

自序

健康保險法が誕生してから既に十四星霜を重ねこの間國民、船員、職員の三大社會保險が實施せられ近く勞務者に對する產業恩給制度迄が施行されんとしてゐる今日、今更ら健康保險の研究など、聲を高らかにすることは愚事でもあり或る者より云はしむれば却つて批難の言葉となり經驗の淺い而も古い頭の持主が何を謂はむとするかの御怒りを受けるかも知れぬ。

然し乍ら物事は斯く簡單に片附けてしまふべき筋合のものでもあり得まい。

お互に苦しみお互に磨くことによつて泥土に沈んで居た玉の光も燦然たるものがあるのであらう。

私が最近非常に責任を感じ痛切に考へさせられてゐることは玆二三年以來內務事務が目立つて間違の多くなつて來た一事である。

其の誘因は事務練達の士が漸次減少して來たところに新規採用の職員が增加し加ふるに頻繁する異動率の多いところに基因するものと思ふ。

このことは時の流れで如何ともなし得ないであらうけれども事務能率の減退はこれのみに因るものと考ふることも承服出來ぬ問題である。

卽ち現在の事務取扱の內容が區々である又區々にならざるを得ない狀態に置かれて居ることも其の一つとして見逃すことは出來まい。

現在の事務取扱の指針とも稱すべき健康保險事務取扱規程は大體の事務取扱方針を規定してゐるに過ぎずこれのみによつての事務執行は事實不可能である、斯くあるが故に各府縣に於ては各々地方特有の特徵を發揮して種々の工風を加へられてゐるが一つの纏まつた規則又は內規として事務擔任者に指針を與へてゐるものは極めて僅少と思ふ從つて新規採用者の敎養としては先づ第一番に隣席に居る者が其の任に當つてゐる。

勿論法令の大要等に關しては講習會の開催等によつて敎養を行つて居るであらうが例へば一枚の資格取得屆が机上に配布せられたときこの書類の處理はどこに着眼しどんな方法を以て決定すべきものであるかの敎養時間は至極短時間に終了し數日を經れば既に各種第一線事務に盲目的に或は機械的に言わるゝが儘の活動をしてゐるに過ぎない。

茲に間違の種が宿つて來るものと思ふ。

このことも見方により無理からぬ事柄であるが其の敎育の方途について研究を要することは蓋し喫緊の要務ではなからうか。

レールの上に幾つもの車を乘せて同じ樣に滑つて行く程愉快なものはない。

私は考を茲に走らせて淺學非才をも顧ず事務取扱順序の一端と過古に於て種々研究して來た事項を一纏めとして「健康保險實際事務の研究」と題して上梓することゝした。

本書の誕生は私個人にとりては愛兒に接する如く公にしてはこの事務を擔當せらるゝ者に對する協力の爲めである。

幸ひにして有識各位の一讀を乞へ忌憚なき批判と御敎示を賜らば私の悅び之に過ぐるものはない。

本書刊行に際りて前社會保險局長淸水閣下より序文を賜りしことは著者の感激惜く能はざる所にして厚く御禮を申上げる次第である。

皇紀二千六百年歲暮

新潟市關屋の寓居にて

著者

健康保險實際事務の研究　目次

第一編　健康保險事務處理順序……一

第一章　はしがき……一

第二章　健康保險事務處理順序細則……一

第一節　總　則……一

第二節　庶務係文書班關係……二

一、文書受付ノ項　二、發送文書取扱ノ項　三、完結文書ノ項

第三節　徵收係資格班關係……三

第一款　被保險者ニ關スル事項……三

一、健康保險法施行令第二條第二項ノ規定ニ依ル準利益ノ標準價格決定ノ項　二、被保險者報酬日額算定基礎届ノ項　三、被保險者報酬日額變更又ハ訂正届ノ項　四、被保險者資格取得届ノ項　五、被保險者資格喪失届ノ項　六、被保險者資格變更届ノ項　七、被保險者轉勤届ノ項　八、保險者選定届ノ項　九、同時ニ二以上ノ業務從事届ノ項　十、任意繼續申請書ノ項　十一、法第六十二條該當又ハ不該當届ノ項　十二、任意繼續被保險者氏名住所變更届ノ項　十三、被保險者證滅失毀損無餘白届ノ項　十四、任意包括加入認可申請

書ノ項 **十五、** 任意包括脫退認可申請書ノ項 **十六、** 資格(喪失)(取消)願ノ項 **十七、** 資格取得取消願ノ項
十八、 資格取得喪失月日訂正願ノ項 **十九、** 被保險者氏名變更又ハ訂正屆ノ項 **二十、** 業務ノ種別變更又ハ訂正屆ノ項

第二款　事業主ニ關スル事項……四四

一、 事業主、事業ノ名稱、事業主住所氏名、工場事業場變更屆ノ項 **二、** 法第十三條不該當屆ノ項 **三、** 事業主代理人選任及解任屆ノ項

第四節　徵收係調定班關係……四六

一、 保險料ノ算定ニ關スル事項 **二、** 其ノ他徵收金ニ關スル事項

第五節　徵收係收納班關係……五四

一、 徵收補助簿ノ項 **二、** 徵收簿ノ項 **三、** 保險料所屬月別整理簿ノ項 **四、** 收入濟額日計表ノ項 **五、** 支出官ニ對スル歲入金通知ノ項 **六、** 歲入金領收額ト日本銀行ニ於ケル領收濟通知書トノ對査表ノ項 **七、** 過誤納額整理簿ノ項 **八、** 督促狀發付ノ項 **九、** 滯納處分票整理ノ項 **十、** 調定組替整理ノ項 **十一、** 全喪工場ニ對スル取扱ノ項 **十二、** 歲入徵收額計算書ノ項 **十三、** 徵收報告書ノ項

第六節　給付係醫療班關係……六七

一、 保險醫、保險齒科醫、保險藥劑師、保險產婆ノ指定屆ノ項 **二、** 保險醫、保險齒科醫、保險藥劑師、保險產婆ノ辭任豫告屆ノ項 **三、** 同辭任屆ノ項 **四、** 繼續療養承認申請書ノ項 **五、** 同請求書ノ項 **六、** 對診承認申請書ノ項 **七、** 助產手當受給資格證明書下附申請書ノ項 **八、** 助產手當料金請求書ノ項 **九、** 產院收容及保險醫ノ助產手當受給屆ノ項 **十、** 同請求書ノ項 **十一、** 保險醫以外ノ醫師ノ診療承認申請書ノ項

十二、 柔道整復術營業者ノ施術承認申請書ノ項 **十三、** 入院診療及一回二十圓以上ノ手術承認申請書ノ項 **十四、** 看護婦附添承認申請書ノ項 **十五、** 看護料請求書ノ項 **十六、** 移送承認申請書ノ項 **十七、** 移送費請求書ノ項 **十八、** 延長診療認定申請書ノ項 **十九、** 世帶員診療(延長)承認申請書ノ項 **二十、** 補給金請求書ノ項 **二十一、** 療養所入所診療承認申請書ノ項 **二十二、** 齒科補綴承認申請書ノ項 **二十三、** 齒科特別補綴承認申請書ノ項 **二十四、** 齒科特別補綴料金請求書ノ項 **二十五、** 第三者ノ行爲ニ依ル傷病屆ノ項 **二十六、** 官公立病院診療料金請求書ノ項 **二十七、** 法第五十五條該當者ノ項……一〇一

第七節　給付係現給班關係……一〇二

一、 傷病手當金請求書ノ項 **二、** 療養費受給屆ノ項 **三、** 療養費支給申請書ノ項 **四、** 療養費支給申請書ノ項 **五、** 療養費支給申請書ノ項 **六、** 埋葬料請求書ノ項 **七、** 埋葬費請求書ノ項 **八、** 分娩費請求書ノ項 **九、** 出產手當金請求書ノ項 **十、** 決定伺及現給事務處理日表作製ノ項……一一六

第八節　給付係臺帳班關係……一一六

一、 診療報告書ノ項 **二、** 每年度事業狀況報告書ノ資料作製ノ項 **三、** 每月分事業狀況報告書ノ項 **四、** 每年度事業狀況報告書ノ項 **五、** 被保險者資格取得ノ際ニ於ケル臺帳作製ノ項 **六、** 被保險者資格ニ關スル書類處理ノ項 **七、** 醫療ニ關スル書類整理ノ項 **八、** 現金給付ニ關スル書類整理ノ項……一六〇

第九節　庶務係會計班關係……一六五

一、 支出事務ノ項

第二編　資格事務の研究……一

第一章　はしがき……一六五
第二章　作業の內容及工賃の算出法……一六六
第三章　各業態に於ける作業の內容及工賃の算出法……一六七
第一款　染織工場……一六七
一、製糸工場　二、製綿及ガラ紡工場　三、撚糸業　四、織物工場　五、雜綿布整理工場　六、綿糸染色工場　七、サイジング工場　八、クリーニング工場　九、組物、編物業　十、編網工場　十一、麻糸連續工場　十二、蛹工場
第二款　機械器具工場……一八九
一、鑄物工場
第三款　化學工場……一九三
一、窯業セメント工場　二、瓦、洋瓦、煉瓦、陶管工場　三、護謨製造工場
第四款　飲食物工場……一九八
一、清酒釀造工場　二、味淋釀造工場　三、味噌溜釀造工場　四、菓子製造工場
第五款　雜工場……二〇六
一、印刷工場　二、製材工場　三、玉、石、牙、骨、介甲及角製品業　四、製網（ロツプ）及麻糸工場

第六款　鑛物の採掘又は採取の事業……二一七
一、岩石の採掘又は採取の事業　二、粘土の採掘又は採取の事業　三、蛙目水簸工場　四、砂利の採取
第七款　陸上に於ける貨物又は旅客運送事業……二二四
一、鐵道貨物運輸規則に基く運送事業　二、自動車に依る貨物運送業　三、同旅客運送業
第三編　各種業態の內容調査……二二九
イ、傷病手當金決定上の參考資料……二二九
ロ、被保險者數屆出の適否調査の參考資料……二三〇
ハ、保健施設の參考資料……二三二
A、製糸工場　B、製布工場　C、花蓙製造工場　D、印刷工場　E、製材工場　F、船渠工場　G、被服工場　H、製紙工場　I、煉瓦工場　J、染晒工場　K、バルプ工場　L、製布工場　M、人絹工場　N、銅山　O、鑛山
第四編　傷病手當金の審査事務の研究……二六七
第一章　總說……二六七
第一款　傷病手當金の審査方法……二六七
一、書面審査……二六九
二、……二六九

イ、形式上の審査……二六八
ロ、内容の審査……二七〇
（一）被保險者臺帳により照合すべき事項（二）保險醫の休業意見に對する考察（三）同一の疾病にあらざるや否やの審査（四）請求書記載の被保險者住所と意見を附したる醫師の住所と著しく距離ある場合（五）歸鄉療養者傷休工場又は代書人取扱のものに對する審査（六）職業性の疾患に對する注意（七）他の法令の規定に依り國又は公共團體の負擔に於て病院病舍又は療養所に收容せられたる者に對する審査
二、傷病手當金の實地調査……二七四
イ、調査の研究と出張者の態度……二七五
ロ、出張前に於ける準備行爲……二七六
（一）被保險者臺帳の給付事項調査（二）工場監査票の調査（三）出張すべき場所の順序（四）調査すべき保險醫に對する豫備智識（五）携行書類
ハ、業務外のものに對する調査……二七九
（一）被保險者の業務の種別と傷病名とを比較對照して疑問を抱きたる場合
（二）發病又は負傷の年月日と資格取得日の接近してゐる場合
◎本人の年齡と業務の種別　◎本人は其の業務に對し熟練工なりや否やの調査　◎本人の家庭の狀況
◎本人の住所附近に於て事業主との特種關係なきや否やの調査　◎傷病の性質
（三）傷病名より考察して休業日數に疑問を生じたる場合
◎保險醫に對する調査　◎本人に就ての調査　◎本人の動靜及環境調査　◎本人の居住地と勤務工場との距離關係及歸鄉療養者の調査　◎事業主に就ての調査　◎出勤簿賃金支拂簿工程表又は事業主の控帖の調査
二、業務上に對する傷病の實地調査……二八七
（一）豫備調査（二）負傷時に於ける症狀調査（三）保險醫の調査（四）其の他
參考……二九九
一、業務上に因る傷病なりとし請求ありたる傷病手當金に對し實施調査の結果業務外と判定したる實例
二、通常業務上として取扱ふことあるべき傷病の種類　三、職業別塵埃の種類竝に塵埃性疾患の一覽表
四、同一系統と認めらるゝ傷病別

第五編　保險料算定に關する研究……三一一
第一章　調　定……三一一
第二章　保險料算定方法……三一一
一、保險料算定表の計算方法　二、保險料端數計算表

第六編　産業災害防止の研究……三一七
第一章　はしがき……三一七

目次

一、廻轉中の齒車上部に前屈の姿勢となりて糸屑に糊を付けんとして負傷したる實例　二、熟練工の眞似をした見習工の負傷　三、熟練工が動力を停止したる機械修理中見習工がスキツチを入れたるに起因し負傷したる實例　四、落盤あるを豫想しつゝ負傷したる實例　五、睡眠不足が原因して沸騰せるタンクの中に顚落死亡したる實例　六、迷信が禍して手首迄も捥きとられた實例

附錄ノ一

被保險者の資格事務の研究……一一八〇

附錄ノ二

健康保險法……一

健康保險法施行令……二

健康保險法施行規則……二六

健康保險事務取扱規程……四七

健康保險實際事務の研究

谷田部・武著

第一編　健康保險事務處理順序

第一章　はしがき

お互に研究して進みたいことは健康保險の第一線事務を如何にして正確ならしむべきかの點にあると思ふ。

事務取扱上過誤なきを欲することは誰しもが望むところであり健康保險事務取扱規程の第一條にも規定されるところである。

事務の正鵠を期する上に於ては健康保險に關する法令又は通牒等に通曉するは勿論從來幾多出版されて居る權威者の書籍を讀書しつゝ實際事務と對照を行ひ努力と研究を積んで行くことが必要であることは玆に多言を要さない。

然し乍ら事務の全般に通曉することは容易の術ではなく尠くとも二、三年乃至數ヶ年の歳月を要さねばなるまい。玆に於て實際問題として考へて見たい點は職員の教養も勿論であるが現行健康保險事務取扱規程の細則卽ち事務取扱の順序と其の書類の審査決定事務に對する着眼點を制定する必要を痛感するものである。

最近特に私の感じてゐることは自序にも一寸記述して置いた如く事變以降の職員の異動が實に頻繁であるのと事務量の增加である。

職員の異動の如きは時の流れであらうから落着く時期が到來すれば現在の如き考を以て進む必要がないかも知れないが產業の隆盛は日を追ふて躍進の一路を辿り適用工場の增加と相俟つて事務量の增加して行くことは何處の地に於ても同樣の趨勢にあるものと思ふ。

事務量が增加せられゝば必然的に職員の增加も豫期せられ玆に事務刷新能率の增進も當然考へねばならぬ。

玆に於て特に私の主張したい點は新規採用の職員の教養である。のみならず其の係又は班の事務取扱が一個の客車に登乘せしめて同じ時間に同じ目的地に到着することの可能なる事務の執行がどをすれば出來るかの問題である。

私どもの常にやつてゐることは一人の職員を採用した時に先づ第一番に官吏服務規律を一通り說明してそれから健康保險事務の大要を話してやる。それから係長か主任の所に行つて健康保險の事務に從事する職員の心構等に就いて一應の說明をして聞かせる。次に來るべきものは明日より行つて貰ふ第一線の實際事務である。この大切な教養の役割は大概その隣席の古參者から教授を受けることが普通になつてゐる。

その翌日からは判つた樣な判らぬ樣な態度で頭を左右に捻りながら事務を開始してゐる。私はこのときにつく〳〵考へさせられるものがある。若し自分の縣に事務取扱の順序でも制定したものがあるならば君の執務して貰ふ仕事はこんな仕事であると。

例へば資格係にその人を配置したとすれば資格事務は此所から此所迄の事をよく讀んでおれば先づ一通りの事務は出來ることになる。若しも資格取得屆があれば一番始めに之の屆書に記載せられた工場又は事業場があるか否やの點について被保險者名簿と一應の對照を行つて見て若しもこの名簿に登載してあれば既に健康保險の適用のあるものである。本簿に登載してゐなければ其れは新規に屆出のあつたもので始めて適用するものである。

既適用のものであればこんな方法によつて內容の審査をするものであり又新規適用のものであればこの方法ですればよい。この屆出を審査するにはどんな所に如何なる着眼を以て進めばよいか內容の審査が濟んだ時はどをすればよいかそれは其の次に書いてある樣に標準報酬日額決定通知書と云ふも

のを事業主宛に送付せねばならぬ。

こんな要領で一通の事務取扱をよく説明して事務のやり方を教い込む取扱内規でもあれば順序よく話しも出來るであらうし又どんなに事務の能率が擧がり而も正確を期することが出來るであろうかと常ゝ念頭を離れた事はない。

新規職員に對しては以上の如き説明を加へてから其の取扱内規を熟讀せしめ十日も經過した時に主任者より本人がどの位覺えてゐるかを知る爲めに各種の質問を發して取扱順序又は其の書類の着眼點などに就きて説明を求め之を二三回繰り返して教養を行つて行けば極めて正確なる事務の執行が出來その班又は係全體が同じ樣に車が廻つて行けるものと思ふ然し乍ら何も判らぬものに事務取扱順序と處理の着眼點だけを教いて能事足れりとする譯ではなく法規通牒の研究も併せて指導する必要は勿論である。

とに角一つの手引と云ふか目標と云ふか何か據らしむるべきものの必要を痛感した譯である。

このことは單に新規職員のみに限定したものに非ず課内に於ける係の勤務替等にしても缺くべからざるものであり又事務熟練の者に於ても他係他班の事務執行の順序をよく了解が出來て横の連絡にも必要のものであると思ふ。

以上の樣な關係から止むに止まれずして眞に指導者の立場より考察して徒らに袖手傍觀するに忍びず愚鈍に鞭打ちて曲りなりにも出來上つたものがこの健康保險事務處理順序である。

只斷つて置きたい點は之を標準として内規を作製することを慫慂するものでもなくこの事務取扱順序が完全なものとして紹介するものでもなく只研究した事項の一つとして上梓したるに止まるものであるから其の意味を充分了とせられたい。

第二章　健康保險事務處理順序細則

第一節　總則

第一條　健康保險ノ事務ヲ處理スルニ當リテハ健康保險事務取扱規程ノ第一條乃至第五條ノ二ニ示サレタル事務執行ノ精神ニ則リ日常各關係者ヨリ提出セラルベキ各種書類ニ關シテハ左ノ條項ニ從ヒ迅速適正ヲ期スベシ

第二條　本則ニ規定セラレザルモノハ健康保險事務取扱規程ニ依ル

第二節　庶務係文書班關係

一、文書受付ノ項

第一條　文書受發簿ハ資格取得届受發簿・資格喪失届受發簿・報酬日額算定基礎届受發簿・傷病手當

金受發簿・現金給付受拂簿・醫療關係受發簿・診療報告書受發簿・歯科補綴受發簿・維文書受發簿・機密及親展文書受發簿・書留郵便物收受簿・金券配付簿・文書發送簿ノ十三種類ヲ備ヘ置クベシ

一、資格取得屆受發簿ニハ資格取得屆ノミヲ受理ノコト

二、資格喪失屆受發簿ニハ資格喪失屆ノミヲ受理ノコト

三、報酬日額算定基礎屆受發簿ニハ報酬日額算定基礎屆ノミヲ受理ノコト

四、傷病手當金受發簿ニハ傷病手當金請求書ノミヲ受理ノコト

五、現金給付受發簿ニハ出產手當金請求書・分娩費請求書・埋葬料費請求書・療養費支給申請書ノミヲ受理ノコト

六、醫療關係受發簿ニハ保險醫・保險歯科醫・保險藥劑師・保險產婆ノ指定並辭任豫告及辭任屆・繼續療養承認申請書・繼續療養費請求書・對診承認申請書・助產手當受給資格證明書・下附申請書助產手當料金請求書・產院收容及保險醫ノ助產手當受給屆・產院收容及保險醫ノ助產手當料金請求書・保險醫以外ノ醫師ノ診療承認申請書・柔道整復術營業者ノ施術承認申請書・入院診療及一回二十圓以上ノ手術承認申請書・看護婦附添承認申請書・看護料金請求書・移送承認申請書・移送費請求書・延長診療認定申請書・世帶員診療（延長）承認申請書・補給金請求書・療養所入所診療承認申請書・第三者ノ行爲ニ因ル傷病屆・官公立病院診療料金請求書ノミヲ受理ノコト

七、診療報告書受發簿ニハ診療報告書ノミヲ受理ノコト

八、歯科補綴受發簿ニハ歯科補綴承認申請書・十圓以上ノ歯科診療承認申請書・料金表外歯科診療承認申請書・歯科特別補綴承認申請書及請求書ノミヲ受理ノコト

九、雜文書受發簿ニハ右八項ニ該當セザル文書ヲ受理ノコト

十、機密及親展文書受發簿ニハ機密ニ屬スルモノ又ハ親展文書ノミヲ受理ノコト

十一、書留郵便物收受簿ニハ書留一切ノモノヲ受理ノコト

十二、金券配付簿ニハ金券ノミヲ受理ノコト

十三、文書發送簿ニハ受付ナキ文書ヲ發送スルモノ受付シタル書類ニシテ照會又ハ附箋返戻等ニシテ再提出アリタルモノハ當初記載シタル受發簿ニ必要事項ヲ記入ノコト

第四條　各種文書ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、前條ニ規定セラレタル受發簿ノ區分ニ從ヒ各文書ヲ區別スルコト

二、各種ニ區分セラレタル文書ハ各種受發屆ノ受付番號順ニ受付印ヲ押捺ノコト但シ金券ノ場合ハ受付印ヲ押捺セザルコト

三、受付印ヲ押捺ナシタル文書ハ其ノ番號順ニヨリ各種受發簿ニ必要事項ヲ記入ノコト

四、機密又ハ親展文書ハ開封セズ課長ニ直接手交ノコト

第五條　各種受發簿ニ記入ヲ了シタル文書ハ各班主任ニ金券配付簿ハ課長ニ直接交付シ受領印ヲ受發簿ニ押捺セシムルコト

二、發送文書取扱ノ項

第六條　各關係係又ハ班ニ於テ處理ヲ了シタル文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ左ノ手續ニ依ルベシ

一、各係又ハ各班ヨリ受ケタル文書ノ原議ニ照會又ハ通知書其ノ他ノ添付物アリ文書班ニ於テ書類作製ノ必要ナキモノハ各種受發簿ニ必要事項ヲ記入シ發送ノコト

二、各係又ハ各班ニ於テ處理ヲ了シタル各種書類ニシテ照會又ハ通知書等ヲ添付スベキ規定ノモノニシテ之ガ添付ナキトキハ其ノ班又ハ係ニ於テ作製セシメ其ノ他ニ對シテハ之ヲ淨書シ各種受發簿ヲ整理シ發送ノコト

三、受理セザル書類ニシテ發送ノ要アルモノハ文書發送簿ニ必要事項ヲ記入シ發送ノコト

四、文書發送ニ際シテハ原議ト照合ノ上其ノ記載ニ誤リナキヤ否ヤヲ確メ發送年月日及取扱者印ヲ押捺シ契印及官印ヲ押捺ノコト

五、其ノ日ニ取扱ヒタル文書ノ發送件數ハ文書發送件數表ニ記載ノコト

六、普通文書ノ發送ハ郵便種別及重量ヲ調査シ同一種類ノモノ五十通以上ナル時ハ料金別納トシ五十通以下ナル時ハ切手ヲ貼付シ切手受拂簿ニ夫々種別及通數ヲ記載ノ上發送ノコト

七、小包郵便ノ發送ハ重量ヲ調査シ切手ヲ貼付シ切手受拂簿ニ通數ヲ記載ノ上發送ノコト

八、書留及配達證明等特殊郵便物ノ發送ハ必要額ノ切手ヲ貼付スルト共ニ切手受拂簿ニ種別及通數ヲ記入ノ上發送シ受領書ハ日附順ニ編綴整理ノコト

第七條　郵便切手受拂ニ對スル整理方法ハ左ノ手續ニ依ルベシ

一、會計班ヨリ假受ヲ爲シタル切手ハ郵便切手受拂簿ニ各種別每ニ區分シ月日數量ヲ朱書ノコト

二、每日切手ノ各種類每ノ發信件數別ニ區分シ郵便切手受拂簿ニ記入シ其ノ殘數ヲ朱書ノコト

三、假受ヲ爲シタル切手殘餘無キトキハ會計班ヘ購入方請求ノコト

四、受拂ハ每月分ヲ翌月二日迄ニ事務費保險施設費滯納處分費ニ區分シ切手精算書ニ切手ノ種類每ニ區分記載ノ上分任物品會計官吏宛報告ノコト

第八條　文書ノ發送ヲ了シタル書類ハ左ノ手續ニ依ルベシ

一、標準價格決定通知書・被保險者證無效告知書

右書類ハ資格班ニ廻付ノコト

二、被保險者資格取得屆・被保險者資格變更屆・被保險者轉勤屆・被保險者報酬日額變更又ハ訂正屆・保險者選定屆・同時ニ二以上ノ業務ニ從事屆・任意繼續申請書・任意繼續被保險者氏名住所

變更届（他ノ縣ニ住所ヲ變更シタル場合）・任意繼續被保險者氏名住所變更届（他ノ縣ヨリ本縣内ニ住所變更シタル場合）・任意包括加入認可申請書・任意包括脫退認可申請書・被保險者資格喪失取消願・被保險者資格取得取消願・被保險者得喪月日訂正願・事業主ノ名稱・住所・氏名・工場・事業場變更届・法第十三條不該當届

右書類ハ調定班ニ廻付ノコト

三、保險醫・保險齒科醫・保險藥劑師・保險產婆指定届及辭任届・齒科補綴承認申請書・法第五十五條該當者届

右書類ハ醫療班ニ廻付ノコト

四、被保險者報酬日額算定基礎届・被保險者證滅失・毀損無餘白届・繼續療養承認申請書・對診承認申請書・助產手當　受給資格證明書下附申請書・助產手當決定票產院收容及保險醫ノ助產手當受給届・保險醫以外ノ醫師ノ診療承認申請書・柔道整復術營業者ノ施術承認申請書・入院診療及一回二十圓以上ノ手術承認申請書・看護婦附添承認申請書・移送承認申請書・延長診療認定申請書・世帶員診療（延長）承認申請書・療養所入所診療承認申請書・齒科特別補綴承認申請書・傷病手當金決定票・療養受給決定票・埋葬料費決定票・分娩費支給決定票・出產手當金決定票

右書類ハ臺帳班ニ廻付ノコト

五、繼續療養費請求書　產院收容及保險醫ノ助產手當料金請求書・看護料金請求書・移送費請求書・補給金請求書・齒科補綴料金請求書・官公立病院診療料金請求書

右書類ハ會計班ニ廻付ノコト

第九條　各係各班ヨリノ各種照會又ハ返戻書類ニ對シ發送ノ手續ヲ了シタルモノハ各種受發簿ヲ整理シ之ヲ起案者ニ返還スベシ

三、完結文書ノ項

第十條　完結シタル文書ノ編纂ハ左ノ手續ニ據ルベシ

一、各係ヨリ編纂文書ノ引繼ヲ受ケタル時ハ編纂文書引繼簿種別欄ヘ保存文書ノ種別ニ依リ第何種ト定アルニ付其ノ種別ヲ記載シ所屬年度及所屬年欄ヘ當該年度ヲ書目欄ヘ書目名ヲ記入シ受理年月日當該欄ヘ記入ノ上取扱者印ヲ押捺ノ上閱覽ニ供スルコト

二、決裁ヲ得タル時ハ各種別每ニ別冊トナシアル文書臺帳ニ該文書ヲ格納番號所屬年度・簿冊名・及保存期間ヲ登記シ書庫ヘ各係別ニ番號順ニ格納ノコト

三、保存文書ハ左ノ通リ保存期間アルニ付保存期間經過シタルモノハ關係係ヘ合議ノ上廢棄伺ヲ立テシ、決裁ヲ得タルモノハ會計班ヘ該廢棄文書ヲ引繼グト共ニ文書臺帳摘要欄ヘ廢棄年月日ヲ記入ノ上廢棄處分濟ノ印ヲ押捺ノコト

第一種　永年保存

第二種　二十ヶ年保存
第三種　十ヶ年保存
第四種　五ヶ年保存
第五種　一ヶ年保存

第三節　徴收係資格班關係

第一款　被保險者ニ關スル事項

一、健康保險法施行令第二條第二項ノ規定ニ依ル
準利益ノ標準價格決定ノ項

第十一條　賃金・給料又ハ俸給ニ準ズベキ食事ノ給與・住宅ノ利益其ノ他金錢以外ノ給與又ハ利益ノ標準價格ノ決定ハ左記ニ據ルベシ

一、準備調査

前年度ニ於ケル經濟狀況及物價ノ變動等ニ關シ本年度決定セラルベキ時期及今後ノ見透シニ對シ詳細ナル調査ヲ行ヒ決定ノ標準ヲ定ムルコト

右經濟狀況其ノ他ニ關シテハ關係者以外及關係者ノ二方面ヨリ資料ヲ蒐集スルコトニ努ムルコト

（一）、準備調査トシテノ資料（關係者以外ノ分）

1、食事ニ關スル資料

イ、管內各地ノ商工會議所ニ對シ二月一日現在ニ於ケル物價ヲ調査スルコト

ロ、管內各地ノ公設市場ニ對シ二月一日現在ノ物價ヲ調査スルコト

ハ、管內各地ノ榮養食配給所ニ對シ主食、副食物ノ各品目ニ對スル購買價格ヲ調査スルコト

ニ、縣商工課ニ對シ各種物價ヲ調査スルコト

以上ノ調査資料ヲ蒐集シ各品目毎ニ集計シ其ノ品目ノ平均ヲ算出シ更ニ主食物（米、麥、其ノ他）副食物（魚、肉、野菜、其ノ他）調味料（味噌、醬油、砂糖、其ノ他）燃料（薪、炭、石炭、其ノ他）ノ四種ニ分類シ各平均ヲ算出シ前年度同期ニ於ケル物價ト本年度ノ物價トヲ比較シ何割ノ高低アルヤヲ調査シ決定ノ參考資料トス

2、住宅ニ關スル資料

イ、管內各地ノ公營ニ係ル住宅ニ對シ借用價格ヲ調査スルコト

ロ、管內市制施行地及郡部ノ十數ヶ所ニ涉リ家賃ヲ調査スルコト

ハ、工場及鑛山等ニ對シ有料住宅ノ調査ヲ行フコト

以上ノ調査ヲ總括シ疊一枚一日分ノ借料ヲ算出シ置キ決定ノ資料トス

3、被服ニ關スル資料

イ、管內各地百貨店及呉服洋品店等ニ對シ被服類ノ價格ヲ品目毎ニ調査スルコト

其ノ他經濟方面ニ關係ヲ有スルモノニ對シ調査ノ上其ノ資料ニ依リ前年ノ經濟狀況及物價等ト比較シ今後ノ動靜ヲ觀察ノコト

(二)、現物給與ノ調査ニ依ル資料（關係者分）

イ、適用工場・鑛山又ハ事業所中資格取得屆出ノ際ニ於ケル標準報酬記載ニ依リ食事・住宅及被服ニ關スル利益ノ給與アリト認メラルヽモノ又ハ工場課備付ノ寄宿舍臺帳ニ基キ地方別ニ各業態ヲ摘出ノ上調査先ヲ決定シ樣式一號ノ現物給與ノ調査書ニ依リ照會ヲ行フコト此ノ場合ニ於テハ回答月日ヲ指定シ回答用紙ヲ同封ノ上照會スルコト

ロ、食事給與ノモノニ在リテハ一月中ニ於ケル献立表ヲ樣式第二號ニ依リ照會ノコト

二、現物給與ノ調査書ヲ受ケタルトキハ左ノ方法ヲ以テ調査スルコト

イ、食事ノ調査

1、食事ノ調査ハ主食物・副食物・調味料・燃料・人件費ノ五種ニ分類各品種別ニ記載アルヲ以テ主食物ニ對スル審査ハ米、麥、其ノ他一ヶ月ニ於ケル消費量ニ對シ其ノ價格ノ適否ニ付準備調査トシテ算出シタル額ト比較對照ヲ行フコト

2、副食物ニ對スル審査ハ魚・肉・野菜・其ノ他ニ區分シ一ヶ月ノ消費量ニ對シ其ノ價格ノ適否ニ付前項同樣ノ對照ヲ行フコト

此ノ場合ニ在リテハ價格ノ著シク變動アルトキハ別ニ報告セシメタル献立表ニ依リ献立內容ヲ調査シ審査スルコト

3、調味料・燃料ニ在リテハ其ノ消費量ニ對スル價格ニ對シ第一項同樣ノ對照ヲ行フコト

以上ノ審査ニ依リ準備調査トシテ算出シタル價格ト著シク相違シ又ハ算出ノ基礎不明ノモノニ對シテハ照會又ハ出張調査ノ上其ノ適正ヲ圖ルコト

三、決　定

1、食事ニ關スル利益ノ標準價格

イ、現物給與ノ調査書ヲ集計シ一人當ヲ算出シ前年度ニ於ケル決定額ト本年度トヲ對比シ何割ノ高低アルヤヲ總括的ニ觀察シ市場物價ノ高低ト睨ミ合セ決定ヲ行フコト

ロ、現物給與ハ業態及性別ヲ異ニスル毎ニ高低アルヲ以テ甚ダシク高率ヲ占ムル酒造業ト其ノ他ノモノヲ區分シ更ニ性別ニ分類シテ各々決定スルコト

2、住宅ニ關スル利益ノ標準價格

現物給與ノ調査書ニ報告セラレタル住宅ニ關スル調査書ニ依リ準備調査トシテ算出シタル額ト

一應對照ヲ行ヒ疊一枚ニ付テノ一日分ヲ算出シ決定額トスルコト

3、被服ニ關スル利益ノ標準價格

現物給與ノ調査書ニ報告セラレタル被服ノ利益調査書ニ依リ給與ノ種類ニ着眼シ準備調査トシテ算出シタル品目ノ價格ト對照ノ上一日分ヲ算出シ決定額トスルコト

四、標準價格決定後ノ處理

右ニ依リ決定セラレタル標準價格ハ三月一日ヨリ適用セラルベキ旨ヲ二月二十日迄ニ各種別毎ニ其ノ金額ヲ縣報及健康保險彙報ニ登載スルト共ニ保險院長官宛標準價格決定公示セル旨報告スルコト

五、本書ハ文書班ニ廻付ノコト

第十二條　被保險者報酬日額算定基礎届ノ項

二、被保險者報酬日額算定基礎届（施行規則第三條）ヲ處理スベキ場合ハ左ノ順序ニ據ルベシ

一、準備調査

イ、前年度ニ於ケル經濟狀況及物價ノ變動等ニ關シ本年度改訂セラルベキ時期及今後ノ見透シニ對シ詳細ナル調査ヲ行ヒ算定ノ標準ヲ定ムルコト

右經濟狀況其ノ他ニ關シテハ各方面ヨリ資料ヲ蒐集スルコトニ努ムルコト

（一）資　料

1、管內各地ノ商工會議所ニ對シ物價及工賃ノ高低ヲ調査スルコト

2、管內公設市場ニ對シ現在ノ物價ヲ調査スルコト

3、日本銀行ノ勞働指數表ヲ調査ノコト

4、各業態ニ於ケル業務ノ繁閑狀況ヲ調査スルコト

5、其ノ他經濟方面ニ關係ヲ有スルモノニ對シ調査スルコト

右資料ニヨリ前年ノ經濟狀況及物價等ト比較シ今後ノ動靜ヲ觀察ノ上何割ノ增減アルヤヲ豫メ調査スルコト此ノ場合業態別ノ繁閑ニ對シ充分ナル考察ヲ行フコト

ロ、決定前等級ノ調査

各工場鑛山又ハ事業所毎ニ決定前（五月三十一日現在）ニ於ケル標準報酬等級ヲ調査シ處理票ヲ作製シ置クコト

ハ、算定基礎届提出ノ件ヲ彙報登載

本届ノ記載方法及報酬日額ノ計算方法等ニ關シ詳細ナル說明ヲ彙報ニ登載シ豫メ注意ヲ喚起シ置クコト

二、算定基礎届ノ處理

本屆ヲ受ケタルトキハ左ノ審査ヲ爲スコト

イ、形式審査

本屆ニ記載セラレタル事項中標準報酬日額ヲ除ク以外ノ事項ヲ形式審査トシ被保險者名簿ト對照スル事項左ノ如シ

1、被保險者證ノ記號番號工場事業場ノ名稱所在地事業主氏名從來ノ標準報酬等級ニ相違ナキヤ否ヤヲ調査シ不備ノ箇所アリタル場合ハ取扱者ニ於テ便宜訂正スルモ支障ナキ場合ハ之ヲ訂正シ訂正ナシ能ハザルモノハ例文二號ニ依リ照會スルコト

2、被保險者氏名及人員ヲ照合シ名簿ト不符合ノ場合ハ人員ノ過不足理由又ハ氏名相違等ノ點ニ對シ例文三號ニ依リ照會ノコト

ロ、內容審査

1、屆出アリタル總人員ニ對シ各等級ノ平均等級ヲ計算シ改訂前ニ於ケル平均等級ト比較考察シ何割ノ增減アリタルヤヲ調査シ襄ニ準備事務トシテ調査セル業態別又ハ管內ノ經濟狀況及物價ノ高低並ニ賃金ノ增減割合ト對照シ其ノ適否ヲ考察ノコト

2、右比較ヲ行ヒタル後適當ト認ムルモノハ個人別ノ審査ヲ爲スコト、シ不適當ト認ムルモノハ例文四號ニ依リ照會又ハ出張調査ヲ行フコト

3、個人別ニ依ル審査ハ舊等級ト本屆ノ等級トヲ比較シ其ノ適否ヲ調査シ不適當ト認メラルルモノハ例文四號ニ依リ照會又ハ出張調査ヲ爲スコト

ハ、被保險者名簿及決定通知書作製

形式及內容審査ニ於テ適當ト認メ決定セラレタルモノニ對シテハ複寫ヲ以テ被保險者名簿ト樣式第三號ニ依ル決定通知書ヲ同時ニ作製シ各事業主ニ對シ發送ノ手續ヲナスコト

ニ、屆出ナキモノニ對スル處理

督促ヲ行フモ屆出ナキモノニ對シテハ屆出月日ヲ指定シ其ノ期間迄ニ屆出ナキ場合ハ政府ニ於テ決定スベキ旨ヲ豫告シ再督促ヲ行ヒ期間經過セルモ提出ナキ場合ハ左ノ方法ニヨリ決定スルコト

1、六月一日現在ノ各業態別ノ決定平均等級ヲ算出シ改定前ニ於ケル等級ト比較シ其ノ增減アリタル等級ガ何割ニ相當セシヤヲ調査シ其ノ增減額ヲ加算又ハ減額シ決定ヲ行フコト

2、本屆ノ決定ハ決定通知書ヲ發送スルノ外政府ニ於テ決定セル旨例文五號ヲ以テ通知ノコト

ホ、本屆ハ文書班ニ廻付ノコト

三、被保險者報酬日額變更又ハ訂正屆ノ項

第十三條　被保險者報酬日額變更（施行規則第四條）又ハ訂正届ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、被保險者名簿ト照合シ資格取得ノ有無ヲ調査スルコト

二、內容　審査

イ、工場事業場ノ所在地名稱及被保險者證ノ記號番號氏名竝ニ令第五條第一項各號該當欄別變更年月日ニ誤記及記入洩レナキヤヲ調査シ輕微ナル誤謬ニシテ直チニ訂正シ得ベキモノハ訂正シ照會ヲ要スルノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

ロ、變更後ノ報酬日額著シク低下スルモノニシテ其ノ理由ノ記載ナキモノニ對シテハ左記事項ニ關シ照會ノ手續ヲ爲シ訂正届ニシテ日額低下ノモノニアリテハ其ノ理由ヲ照會スルコト

1、前三ケ月間ニ受ケタル報酬總額及其ノ稼働實日數

2、變更シタル事由

3、食事及被服給與ノ有無

4、業務ノ種別ニ變更アリタルヤ疾病ノ有無及變更後ノ稼働狀況等

5、其ノ他

三、右ニ依リ適正ナルモノニ對シテハ標準報酬ヲ決定シ其ノ日額及等級ヲ届書ノ「標準報酬」欄ニ朱書ヲ以テ記載スルコト

四、本届ニ對スル着眼點

變更後ノ報酬日額ガ從來ニ比シ降下シタルガ如キ場合ハ左記ニ着眼ノコト

イ、業務ノ種別ニ變更アリヤ若シアリタルトセバ賃金ノ低額ナル部門ニ轉ジタルモノナリヤ

ロ、本人ノ業務ノ種別ニ照シ社會ノ經濟狀態ノ動キヲ觀察シ活況ヲ呈シツヽアル業態ニ從事シ居ルニ不拘降下スルガ如キハ當ヲ得ザルモノト觀ルコト

ハ、其ノ他

五、被保險者名簿ヲ整理スルコト

右整理ノ場合ハ舊等級ハ朱書ヲ以テ抹消ノ上新等級ヲ記載シ備考欄ニ何月何日現在變更又ハ訂正ノ旨ヲ記載スルコト

六、決定通知書ヲ作製シ之ヲ事業主ニ送付スルコト

此ノ場合ニ於テハ樣式第三號ニ依ル決定通知書ニ何月何日ヨリ變更又ハ訂正ノ旨附記スルコト

七、等級變更ニ對スル統計表ヲ整理

八、本届ハ文書班ニ廻付スルコト

四、被保險者資格取得届ノ項

第十四條　被保險者資格取得届（施行規則第十條第一項）ヲ受ケタルトキハ被保險者名簿ト一應ノ對照ヲ行ヒ新適又ハ舊適ノ如何ヲ區別シ左ノ方法ニヨリ處理スベシ

一、舊適用ノモノニ對スル處理

審　査

審査ハ形式審査ト內容審査ニ區分シ形式審査トハ届書ノ各種記載事項ニ對スル適否審査ヲ謂ヒ內容審査トハ其ノ記載事項ノ內容ニ對シ審査スルヲ謂フ

（イ）形式審査

本届ニ記載セラルベキ事項ハ被保險者證ノ記號届出現在年月日、工場事業場又ハ事務所、種類、被保險者氏名、男女別生年月業務ノ種別資格取得年月日、令第五條第一項各號該當日額ノ各欄、備考、届出年月日、事業主ノ住所所在地氏名又ハ名稱捺印ノ各種事項ニ記載洩レ無キヤ否ヤヲ調査シ適當ト認ムルモノハ內容審査ヲ爲スコト若シ記載事項中不滿ノ箇所アリテ訂正ヲ要ス場合ハ符箋返戻（例文六號）又ハ照會（例文七號）ノコト

註　符箋返戻又ハ照會ノ場合ハ內容審査ヲ兼ネ行ヒ然ル後一括處理スルコト

（ロ）內容審査

本審査ハ報酬日額及取得年月日ニ重點ヲ置クモノトシ報酬日額ニ對スル審査ハ別途審査方針ニ從ヒ之ヲ行フモノトシ施行令第三條ノ等級區分ニ從ヒ本届ノ標準報酬日額等級欄ニ朱書ヲ以テ決定スルコト取得年月日ニ疑義アルトキハ照會（例文七號）又ハ出張ノ上其ノ適正ヲ期スコト

（ハ）前資格者ニ對スルモノヽ處理

本届中備考欄ニ記載セラレタル事項ニシテ他府縣又ハ組合ニ對シ例文第八號ニ依リ臺帳寫ヲ請求スルコト前勤務工場ガ本縣內ノモノニ對シテハ一應被保險者臺帳ヲ抽出シ給付事項ヲ調査シ被保險者證ニ記入ノ必要アルモノハ其ノ旨轉記スルコト此ノ場合ハ被保險者臺帳又ハ臺帳寫ヲ本届ニ添付シ醫療班ニ合議スルコト

（ニ）被保險者名簿整理及標準報酬日額決定通知書作製

內容審査ニ於テ各々決定セラレタルモノニ對シテハ復寫式ヲ用ヒ被保險者名簿ヲ整理スルモノトシ被保險者番號ハ追番號ヲ以テ決定シ決定通知書ヲ作製スルコト

（ホ）統計表作製

事業狀況報告書中第一表被保險者數異動及現在數及工場鑛山竝ニ被保險者異動狀況表作製ノ資料トシ每日ノ增數ヲ內容審査ノ濟ミタルモノヨリ「郡市別被保險者增減傳票」並「業態別被保險者異動（取得）統計傳票」ニ整理ノコト

（ハ）被保險者證作製

被保險者證ハ內容審査ニ於テ決定アリタル届書ニ依リ之ヲ作製スルモノトシ決定通知書ト共ニ一定セラレタル封筒ニ挿入本届決定伺ノ書類ニ添付スルコト但シ臺帳寫照會中ノモノハ回答アリタル後給付ノ必要事項ヲ記入シ後送ノコト

（ト）本書ハ決裁後庶務文書班ニ廻付スルコト

二、新規適用ノモノニ對スル處理

（イ）審査ノ方法及前資格者ニ對スル處理迄ニ關スル處理順序ハ舊適用ノモノニ對スル處理ニ準シ之ヲ取扱フコト

（ロ）被保險者證ノ記號及番號ハ健康保險事務取扱規程第七條ノ取扱ニ依リ之ヲ處理シ被保險者證記號原簿ニ記載スルコト

臨時的業務等ニシテ事業休止後開始セルモノハ記號原簿ノ備考欄ニ其ノ旨整理ノコト

（ハ）決定セラレタル記號ハ被保險者資格取得届ノ被保險者證ノ記號欄ニ記載スルコト

（ニ）本届ガ强制被保險者ノ場合ハ工場臺帳、鑛山臺帳、又ハ事業臺帳ニ任意包括被保險者ノ場合ハ任意包括事業臺帳ニ工場事業場分類標準ニ依リ區分シ必要事項ヲ記載ノコト

臨時的業務等ニシテ事業休止後開始セルモノニ就テハ右臺帳ノ備考欄ニ其ノ旨整理ノコト

（ホ）被保險者名簿整理及標準報酬決定通知書作製ニ關シテハ旣適用ノモノヽ取扱ニ準スルコト

（ヘ）統計表作製

事業狀況報告書中第一表「被保險者異動及現在數」第二表「工場事業場及事業數」「工場鑛山被保險者異動狀況表」作製ノ資料トシ毎日增數ヲ內容審査ノ濟ミタルモノヨリ「郡市別被保險者增減傳票」及「工場事業場及事業數日報」ヲ整理ノコト

（ト）被保險者證作製臺帳寫送附アリタル場合ノ取扱ヒ及本書廻付先ニ就テハ舊適用ノモノニ準スルコト

五、被保險者資格喪失届ノ項

第十五條　被保險者資格喪失届（施行規則第十條第二項）ヲ受ケタルトキハ被保險者名簿ト一應對照ヲ行ヒ被保險者ナリヤ否ヤヲ調査シ左ノ方法ニヨリ處理スベシ

（イ）形式審査

本届ニ記載セラルベキ事項ノ工場事業場又ハ事務所ノ名稱竝ニ所在地被保險者名、被保險者證記號番號、資格喪失年月日、資格喪失原因、備考、事業主ノ住所又ハ所在地氏名捺印ノ各種事項ニ記載洩レナキヤ否ヤヲ調査シ適當ト認ムルモノハ內容審査ヲナスコト若シ記載事項中不備ノ箇所アリテ訂正ヲ要ス場合ハ符箋返戻（例文第六號）又ハ照會（例文第九號）スルコト

註　符箋返戻又ハ照會ノ場合ハ內容審査ヲ兼ネ行ヒ然ル後一括處理スルコト

（ロ）　內容審査

本審査ハ資格喪失年月日及資格喪失原因ノ內容ニ重點ヲ置クモノトシ之レガ審査ハ（ハ）ノ着眼點ニ留意シ之ヲ行フモノトシ年月日ニ疑義アルトキハ照會（例文九號）又ハ出張ノ上其ノ適正ヲ期スコト

（ハ）　內容審査ノ着眼點

（一）　資格喪失年月日ノ審査

1、喪失年月日ガ本屆出年月日ヨリ著シク遲延シタル場合ニ於テハ例文第九號ヲ以テ照會ヲ發シ其ノ遲延理由ノ正當ナルヤ否ヤヲ審査スルコト

2、月末又ハ十五日ヲ喪失日トシテ屆出タルモノハ實際ノ解雇ノ翌日ナルヤ否ヤヲ例文（第九號）ヲ以テ照會ヲ發シ屆出月日ノ適正ヲ審査スルコト

3、全喪ノ屆出アリタルモノニシテ事業休止ノモノニアリテハ其ノ休止期間ニ付調査ノ必要アルヲ以テ例文（第十號）ニ依リ照會ヲ發シ適正ナル屆出ナルヤ否ヤヲ審査スルコト

4、其ノ他喪失月日ニ疑義アルトキハ照會又ハ出張ノ上適確ナル處理ヲ爲スコト

（二）　資格喪失原因ノ內容審査

1、法第五十五條該當ノ旨備考欄ニ記載アリタルトキハ傷病名及保險醫ノ住所氏名ノ記載アリヤ否ヤヲ調査シ不備ノモノニ對シテハ例文十一號ニテ照會ヲ爲シ適正ナルモノニ對シテハ法第五十五條該當者名簿ニ必要事項ヲ記載シ給付係醫療班ニ廻付ノコト

2、喪失原因ガ他ノ適用工場ニ勤務替ノトキハ該當工場ヨリ取得屆ノ提出アルヤ否ヤヲ調査シ若シ屆出ナキトキハ例文十二號ヲ以テ照會ノコト

3、喪失原因ガ死亡ナルトキハ埋葬料請求書ニ記載セラレタル死亡年月日ト對照シ若シ不備ナルトキハ例文十三號ヲ以テ照會ノコト

4、年俸千二百圓ヲ超ユルノ故ヲ以テ喪失ノ原因タルモノハ被保險者臺帳ト照合シ其ノ適否ヲ調査シ不備ノモノニ對シテハ例文十四號ヲ以テ照會ノコト

5、其ノ他喪失原因ニ付適正ナラズト認メラルヽモノニ對シテハ照會又ハ出張等ノ方法ニヨリ處理スルコト

（ニ）　被保險者名簿整理

內容審査ニ於テ各々決定セラレタルモノニ對シテハ被保險者名簿ノ氏名ヲ朱書ヲ以テ抹消スルコト

（ホ）　全部資格喪失シ工場休止又ハ廢止トナリタルモノハ被保險者名簿ノ整理ヲ終リタル後工場

臺帳鑛山臺帳又ハ事業臺帳ノ備考欄ニ其ノ旨記載整理シ届書ニ「事業休止」ヲ押印ノコト

註　全喪ノ場合ハ收納班ニ一應通知ノコト（保險料徵收關係）

（ヘ）被保險者證ノ處理

喪失届ニ記載セラレタル被保險者ノ氏名ト返納アリタル被保險者證トヲ對照シ無效印ヲ押捺シ整理ノコト

未返納被保險者證アル場合ハ被保險者證未返納整理簿ニ必要事項ヲ記載スルコト

滅失毀損又ハ紛失等ノ事故ニヨリ返納ナシ能ハザル事由アルトキハ其ノ旨届出ヲ爲サシムベク例文十五號ヲ以テ照會ノコト

本届ニ證ノ添付ナク又備考等ニ返納ナシ能ハザル事由ノ記載ナキトキハ其ノ事由ニ付例文十六號ヲ以テ照會ノコト

（ト）統計表作製

事業狀況報告書中第一表「被保險者數異動及現在數」及「工場鑛山並ニ被保險者異動狀況表」作製ノ資料トシ每日ノ減少數ヲ內容審査ノ終リタルモノヨリ「郡市別被保險者增減傳票」並「業態別被保險者異動（喪失）統計傳票」ニ整理ノコト休止又ハ廢止ノ場合ハ事業狀況第二表「工場事業場及事業數」作製ノ資料トシテ「工場事業場及事業數日報」ヲ整理スルコト

（チ）本届ハ一切ノ整理終リタル後調定班ヘ廻付スルコト

六、被保險者資格變更届ノ項

第十六條　被保險者資格變更届

本届ハ任意繼續被保險者ガ强制又ハ任包ノ被保險者トナリタル場合ノ届出ニシテ處理順序左ノ如シ

（イ）任意繼續被保險者名簿ト對照シ備考欄ニ資格變更ノ旨記載ノコト

（ロ）其ノ他一切ノ處理順序ハ被保險者資格取得届ノ取扱ニ準據スルコト

（ハ）被保險者ガ本縣所屬ノモノニ對シテハ從前ノ被保險者臺帳ヲ整理シ他府縣又ハ組合所屬ノモノナルトキハ臺帳寫ノ送附方ヲ例文十七號ニ依リ照會ノコト

（ニ）其ノ他本届ニ着眼ヲ要スル點ハ從前ニ疾病アリタルモノニ對シ强制又ハ任包トシテ資格取得シタル日ニ既ニ疾病治療シ居ルヤ否ヤ（特ニ勞務不能關係）ニ付留意ノコト

（ホ）本届ハ文書班ニ廻付ノコト

七、被保險者轉勤届ノ項

第十七條　被保險者轉勤届（施行規則第二十條ノ二）ヲ受ケタルトキハ左ノ方法ニヨリ處理ヲナスベシ

一、本縣所屬ノ被保險者タル場合

（イ）形式審査

被保險者證添付ノ有無並ニ届書記載事項ノ「被保險者證記號番號」「轉勤前後ノ工場事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地」「轉勤年月日」「報酬日額記載アリタル場合ハ其ノ日額」ニ對スル整備ノ有無ニ付被保險者名簿ト對照シ不備アルトキハ其ノ旨照會ノコト

（ロ）　內容審査

形式審査ヲ終リタルトキハ報酬日額ニ着眼シ轉勤前工場ノモノト比較對照ノ上增減ナキヤ否ヤニ留意シ朱書ヲ以テ本届ノ標準報酬、日額等級欄へ等級決定シ低下セル場合ハ其ノ理由ニ付照會ヲ爲スコト

（ハ）　被保險者名簿整理並ニ標準報酬日額等級決定通知書作製

內容審査ノ濟ミタルモノニ對シテハ番號ヲ決定ノ上被保險者所屬工場ノ被保險者名簿ニ追記シ備考欄ニ前勤務工場ノ記號及番號ヲ附記シ複寫式ヲ以テ決定通知書作製ノコト

（ニ）　轉勤前工場ニ對スル處理ハ資格喪失ノ場合ニ於ケル取扱ニ準シ被保險者名簿ノ氏名ヲ抹消シ備考欄ニ轉勤年月日、轉勤後ノ記號番號ヲ記入ノコト

（ホ）　被保險者證ノ訂正

本届ニ添付アリタル被保險者證ハ第一面記載事項ヲ訂正シ決定通知書ト同封送附ノコト

證添付セザルモノニ對シテハ證提出ノ旨例文第十八號ニ依リ照會ノコト

（ヘ）　統計表作製

資格取得及喪失ニ於ケル統計表作製ニ準ジ取得フコト

（ト）　本届ハ文書班ニ廻付ノコト

二、他ノ廳府縣及組合被保險者ナル場合

（イ）　當該廳府縣ニ對シ被保險者轉勤シタルコト、轉勤年月日及臺帳寫ノ送附方ヲ例文第八號ニ依リ通知ノコト

（ロ）　臺帳寫ノ送附アリタル場合ハ本届ノ內容ニ對シ本縣所屬被保險者タル場合ノ取扱中（イ）、（ロ）、（ハ）、（ホ）、（ヘ）ノ各項ニ準ジ取扱ヲナスコト但シ被保險者他ノ廳府縣ニ屬スルモノナルトキハ證ハ新ニ作製ノ上臺帳寫ニヨリ給付ノ必要事項ヲ記入シ送附ノコト被保險者組合所屬ノ場合ニアリテハ證ヲ新規ニ作製シ返納アリタル證ハ組合ニ返還ノコト

註　事務取扱規程ハ舊證ヲ使用ノ旨規定セラルヽモ府縣印押捺ニ關シ判別シ難キコトアルヲ以テ新證ヲ作製ス

（ハ）　本届ハ文書班ニ廻付ノコト

三、他ノ廳府縣又ハ組合ヨリ被保險者ノ轉勤並ニ臺帳寫ノ送附方通知アリタル場合

（イ）　被保險者名簿ト對照シ本縣所屬ノモノナリヤ否ヤヲ審査シ其ノ氏名ヲ朱書ヲ以テ抹消シ轉

勤年月日ヲ記入ノ上其ノ旨備考欄ヘ附記スルコト

（ロ）被保險者　臺帳ニヨリ其ノ寫ヲ作製シ例文十七號ニヨリ當該廳府縣又ハ組合ヘ送付ノコト

（ハ）被保險者ガ同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルヽモノナルトキハ關係アル地方長官又ハ組合ヘ通知スルコト

（ニ）被保險者組合所屬ノトキニ於テ被保險者證返納ナキトキハ例文十九號ニヨリ當該組合ニ督促ノコト

（ホ）本屆ハ文書班ニ廻付ノコト

八、保險者選定屆ノ項

第十八條　保險者選定屆（施行規則第二條第一項）ヲ受ケタルトキハ左ノ方法ニ依リ處理スベシ

屆書記載欄ノ被保險者證ノ記號番號本人ノ第一又ハ第二業務ノ工場事業場又ハ事務所ノ名稱、所在地並ニ事業主住所氏名使用年月日、管轄保險者別、選定シタル所屬保險者ノ各欄ニ於テ記載洩レ無キヤ或ハ又不備ノ點無キヤヲ審査スルコト

關係アル他府縣又ハ組合ニ對シテハ被保險者ガ本縣ヲ保險者トシテ選定シタル旨ノ通知及臺帳寫ノ送付方ヲ照會ノコト

（ハ）被保險者名簿ニハ備考欄ニ「保險者選定ノモノ」ト記載整理ノコト

（ニ）臺帳寫送付アリタルトキハ被保險者臺帳ヲ整理シ各事業主ニ對シテハ本縣ニ屬シタル旨及其ノ年月日並ニ被保險者ノ報酬日額ヲ事業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト

（ホ）本縣被保險者他ノ廳府縣又ハ組合ヲ選定シタル場合ハ當該保險者ヨリノ通知ニ依リ臺帳寫ヲ送付シ被保險者名簿及被保險者臺帳ノ備考ニ其ノ旨記載ノコト

尙本縣ニ於テ交付シタル被保險者證ハ事業主ヨリ返還セシムルコト

（ヘ）本屆ハ文書班ヘ廻付ノコト

九、同時ニ二以上ノ業務從事屆ノ項

第十九條　同時ニ二以上ノ業務從事屆（施行規則第十二條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲナスベシ

（イ）屆書記載欄ノ被保險者證ノ記號番號本人ノ第一又ハ第二業務ノ工場事業場又ハ事務所ノ名稱所在地並ニ事業主住所氏名使用セラルヽニ至リタル年月日ノ名欄ニ於テ記載洩レナキヤ或ハ不備ノ點ナキヤヲ審査スルコト

（ロ）被保險者名簿ノ各工場事業場毎ニ被保險者トシテ取得屆出アリヤ否ヤヲ調査シ其ノ備考欄ニ數業務從事者ナル旨附記スルコト

（ハ）被保險者臺帳ノ備考ニハ前項同樣整理スルコト

（ニ）各事業主ニ對シ被保險者ノ報酬日額ヲ事業主別ニ分チタル額ヲ通知スルコト

（ホ）　各工場事業場毎ニ發行シタル被保險者證二枚以上ナルトキハ被保險者ヨリ返還セシムルコト

（ヘ）　本屆處理シタル後文書班ヘ廻付スルコト

十、任意繼續申請書ノ項

第二十條　任意繼續申請書（施行規則第十五條）ヲ受ケタルトキハ左ノ方法ニヨリ處理スベシ

一、本縣所屬被保險者ノ場合

（イ）　形式審査

被保險者タリシモノナリヤ否ヤニ付被保險者名簿ト對照シ屆書記載事項ノ「住所」「資格喪失年月日」「資格喪失ノ際使用セラレタル工場事業場又ハ事業ノ名稱及被保險者證ノ記號番號」「資格喪失後繼續シテ保險給付ヲ受ケタルモノニアリテハ其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタル日」ノ各項整備ノ有無ニ付審査スルコト

（ロ）　內容審査

內容審査ハ被保險者臺帳ニヨリ在記事項ニ着眼ノコト

1、資格喪失ノ際既ニ療養給付ヲ受ケツヽアルモノハ法第五十五條ノ恩典ニ浴セシメルコト

2、資格喪失ノ際引續キ六十日以上被保險者タリシ者ニシテ喪失後十日以內ノ申請ナリヤ

3、申請期日ノ遲延シタルトキハ其ノ事由ガ正當ノ理由アリヤ

4、資格喪失後法第五十五條ノ規定ニヨリ繼續療養終了日ヨリ十日以內ノ申請ナリヤ

5、右事項ニ不備アルトキハ符箋返戻又ハ照會ノコト

（ハ）　任意繼續被保險者名簿ニ被保險者證記號番號、氏名、住所、標準報酬等級、任意繼續申請受理年月日、資格喪失豫定年月日ヲ記載スルコトコノ場合ハ被保險者證記號番號ハ「繼第　號」トシ追番號ニヨリ決定スルコト

（ニ）　被保險者名簿ノ備考欄ヘ任意繼續被保險者ナル旨朱書スルコト

（ホ）　被保險者臺帳ニハ被保險者證記號番號、住所、適用年月日、等級ヲ記載スルコト

（ヘ）　被保險者證ハ資格喪失ノ際既ニ返納濟ミノモノニ對シテハ新ニ作製シ證第一面ノ餘白ニ法第二十條該當及資格喪失豫定年月日ヲ朱書スルコト

本屆ニ添付セルモノハ從來ノ證ヲ改訂交付シ被保險者證未返納整理簿ヲ抹消スルコト

（ト）　被保險者ニ對シテハ許可ノ旨並ニ資格喪失豫定期日ヲ例文第二十號ニ依リ通知スルト共ニ被保險者證交付スルコト

（チ）　本屆ハ整理ノ上文書班ヘ廻付スルコト

（リ）　被保險者タル期間經過後被保險者證返納ナキモノニ對シテハ其ノ旨督促スルコト

（ヌ）　被保險者保險料納付期日十日經過シタルモ納付セサルトキ及法定期間經過後ノ場合ハ資格

喪失ノ旨通知スルト共ニ被保險者證ノ返納ヲ命ジ任意繼續被保險者名簿ノ備考欄ニ其ノ旨記載ノコト

他ノ廳府縣又ハ組合所屬被保險者ナル場合

當該地方長官又ハ組合ニ對シ被保險者臺帳寫ノ送付方照會シ其ノ送付アリタル後臺帳カードヲ新ニ作製シ前項ニ準シテ處理ヲナスコト

被保險者證ハ本屆書ニ添付セルト否トニ拘ラズ新ニ作製交付シ他ノ廳府縣又ハ組合ニ於テ發行シタルモノハ無效印ヲ押捺シ一括シテ保管スルコトトアルモ縣印押捺ニ關シ判別シ難キコトアルヲ以テ新ニ作製ス

十一、法第六十二條該當又ハ不該當屆ノ項

第二十一條　法第六十二條該當屆又ハ法第六十二條不該當屆（施行規則第十七條第一項又ハ第二項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、被保險者名簿ト照合シ資格取得ノ有無ヲ調査スルコト

二、內容審査

該當不該當年月日ノ記入洩又ハ誤記ナキヤ記號及番號ノ誤記ナキヤ等調査シ直チニ訂正シ得ルモノハ訂正シ照會ヲ要スルモノハ例文第二十一號ニ依リ照會スルコト

三、被保險者名簿ヲ整理スルト共ニ本屆書欄外ニ等級ヲ記入スルコト

四、法第六十二條該當名簿ヲ整理スルコト

五、本屆ハ調定班ニ廻付ノコト

十二、任意繼續被保險者氏名住所變更屆ノ項

第二十二條　任意繼續被保險者氏名住所變更屆（施行規則第二十一條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲナスベシ

一、本縣所屬被保險者ノ場合

（イ）任意繼續被保險者名簿ヲ訂正スルコト

（ロ）被保險者臺帳ヲ訂正スルコト

（ハ）本屆ハ調定班へ廻付スルコト

二、他ノ廳府縣ニ住所ヲ變更シタル場合

（イ）任意繼續被保險者名簿ノ備考欄ニ其ノ旨記載整理スルコト

（ロ）被保險者臺帳ヲ整理シ臺帳寫ヲ作製シ當該地方長官ニ送付スルコト

（ハ）本屆ハ文書班ニ廻付ノコト

三、他ノ廳府縣ヨリ本縣内ニ住所ヲ變更シタル場合

（イ）當該地方長官ヨリ臺帳寫送付ヲ受ケタル後臺帳ヲ作製スルコト

（ロ）任意繼續被保險者名簿ヲ整理スルコト

（ハ）被保險者證ハ新ニ作製送付スルコト

（ニ）本屆ハ文書班ヘ廻付ノコト

第二十三條　被保險者證滅失屆、毀損屆、無餘白屆ノ項

十三、被保險者證滅失屆、毀損屆、無餘白屆（施行規則第二十三條第七項）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲナスヘシ

一、被保險者名簿ト照合シ資格取得ノ有無ヲ調査スルコト

二、内容審査

記號番號正當ナリヤ毀損屆無餘白屆ニ付テハ證添付ノ有無滅失再交付屆ニアリテハ滅失ノ事由ヲ調査シ記入洩レニ付テハ照會スルコト

三、有資格者ニシテ滅失再交付屆、毀損屆若クハ無餘白屆ナルトキハ屆書欄外ニ有資格者印ヲ資格喪失ノ滅失屆ナルトキハ資格喪失者印ヲ押捺スルコト

四、被保險者證ヲ作製シ滅失再交付、毀損再交付若クハ無餘白再交付ノ印ヲ押捺スルコト

五、本屆ハ文書班ヘ廻付スルコト

六、本屆ハ一括整理編綴シ被保險者證再交付簿ニ代ラシムルコト

七、右屆書中滅失ノモノニ對シテハ一ケ月ニ一回程度ノ割合ヲ以テ其ノ記號番號被保險者氏名滅失年月日ヲ縣報ニ公示シ縣醫師會、同齒科醫師會、同藥劑師會並ニ醫科大學附屬醫院ニ對シ其ノ旨通知スルコト

十四、任意包括加入認可申請書ノ項

第二十四條　健康保險被保險者任意包括加入認可申請書（施行規則第十三條）ヲ受ケタルトキハ左ノ着眼點ニ留意シ内容審査ノ後例文第二十五號ニヨリ事業主宛認可ノ通知ヲナスト共ニ資格取得屆ノ新規適用ノモノニ對スル處理ノ（二）ニ準ジテ任意包括事業臺帳ヲ整理スベシ、但シ認可出來得ザルモノハ其ノ旨通知ノコト

着眼點

1、事業經營狀態ヲ檢討シ認可スルモ支障ナキヤ否ヤ

2、使用人員數ニ誤リナキヤ否ヤ

3、使用人員ノ二分ノ一以上ノ同意アリヤ否ヤ

十五、任意包括脫退認可申請書ノ項

第二十四條ノ一　健康保險被保險者任意包括脫退認可申請書（施行規則第十四條）ヲ受ケタルトキハ左ノ着眼點ニ留意シ內容審査ノ後例文第二十三號ニヨリ事業主宛認可ノ通知ヲナスト共ニ資格喪失届處理ノ（ホ）ニ準ジテ任意包括事業臺帳ヲ整理スベシ但シ認容出來得ザルモノニ對シテハ其ノ旨通知ノコト

着眼點

被保險者名簿ト對照シ被保險者ノ四分ノ三以上ノ同意アリタルモノナリヤ否ヤニ付留意スルコト

十六、資格喪失取消願ノ項

第二十五條　資格喪失取消願ヲ受ケタルトキハ左ノ着眼點ニ留意シ內容審査ノ後資格取得届取扱ニ準ジテ被保險者名簿ヲ整理シ（コノ場合名簿備考欄へ「年月日取消願出」ト記入スルコト）各種統計表ヲ作成ノ上被保險者證返納濟ノモノハ新ニ證作成交付シ證未返納整理簿ヲ抹消處理ノ後例文二十四號ニヨリ事業主ニ通知スベシ

着眼點

本届ハ法第六十二條該當届ヲ提出スベキヲ誤ツテ喪失届ヲ提出シ又ハ給付關係ニ於テ引續キ診療ヲ受クルノ必要アル場合ニ於テ届出セラルヽ向アルヲ以ツテ其ノ點ニ留意シ審査スルコト

本届ハ文書班ニ廻付ノコト

十七、資格取得取消願ノ項

第二十六條　資格取得取消願ヲ受ケタルトキハ左ノ着眼點ニ留意シ內容審査ノ後資格喪失届ノ取扱ニ準ジテ被保險者名簿ヲ整理シ（此ノ場合名簿備考欄へ「年月日取消願出ト記入ノコト）各種統計表ヲ作成ノ上例文二十五號ニヨリ事業主宛通知ノコト尙被保險者證未返納ノモノニ對シテハ併セテ證返納方督促スベシ

着眼點

本届ハ取消ヲ要スベキ事由ニ付其ノ適否ニ關シ着眼スルコト

本届ハ文書班ニ廻付ノコト

十八、資格喪失取得月日訂正願ノ項

第二十七條　資格喪失取得月日訂正願ヲ受ケタルトキハ右ノ方法ニヨリ處理スベシ

イ、形式審査

被保險者ナリヤ又被保險者タリシモノナリヤ否ヤニ付被保險者名簿ト對照シ届書記載事項中「記號及番號」「被保險者名」「等級」「資格取得月日」「資格喪失月日」又ハ「資格喪失月日」「訂正スベキ資格取得月日」「又ハ訂正スベキ資格喪失月日」「工場、事業場又ハ事務所ノ名稱並ニ所在地」「事業主名竝ニ印」

整備ノ有無ニ付審査スルコト

ロ、內容審査

形式審査ニヨリ整備セル届書ニ付左ノ着眼點ニ留意シ內容ヲ審査シ不審ノ點アル場合ハ照會シ又ハ後日出張調査スルコト

ハ、着眼點

1、資格取得月日訂正ハ保險給付ニ關係アルヲ以テ被保險者臺帳ノ給付事項ニ留意スルコト

2、資格喪失月日訂正ハソノ訂正スベキ日ガ遡リタルモノナル場合ハ保險料負擔ト關係アルヲ以テ其ノ訂正原因ニ留意スルコト

ニ、被保險者名簿整理

名簿記載ノ月日ヲ抹消シ訂正スベキ月日ヲ其ノ上空欄ヘ記入シ備考欄ヘ「月日願出ニヨリ訂正」ト記載ノコト

但シ資格喪失月日訂正ノ場合ハスベテ朱書ヲ以テ整理スルコト

ホ、被保險者證訂正方通知

資格取得月日訂正ノモノニ對シテハ事業主宛例文第二十六號ヲ以ツテ被保險者證第一面記載事項中取得月日訂正方ヲ通知シ本届書ハ文書班ニ廻付スルコト

十九、被保險者氏名變更又ハ訂正届ノ項

第二十八條　被保險者氏名變更（施行規則第二十條）又ハ訂正届ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、被保險者名簿ト照合シ資格取得ノ有無ヲ調査スルコト

二、內容ノ審査

工場、事業場ノ所在地又ハ名稱竝ニ被保險者證ノ記號及番號ノ誤記又ハ記入洩ナキヤ變更年月日ニ誤リナキヤヲ調査スルコト

三、被保險者名簿ヲ整理スルコト

右整理ヲ要スル箇所ハ朱書ヲ以ツテ抹消ノ上變更又ハ訂正後ノ氏名ヲ記入シ備考欄ニ何月何日變更又ハ訂正願出ノ旨ヲ記載スルコト

四、法第六十二條該當者ナルトキハ該名簿ヲ整理スルコト

五、本届ハ臺帳班ニ廻付スルコト

二十　業務ノ種別變更又ハ訂正届ノ項

第二十九條　被保險者業務ノ種別變更又ハ訂正届ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、被保險者名簿ト照合シ資格取得ノ有無ヲ調査スルコト

二、內容ヲ審査スルコト卽チ工場、事業場ノ所在地及名稱竝ニ被保險者證ノ記號及番號ノ誤記及記入洩レナキヤ又ハ變更年月日ニ誤リナキヤヲ調査スルコト

本屆ニ對スル着眼點

イ、年齡及性別等ニヨリ考察シ變更後ノ業務ノ種別ニ誤リナキヤ或ハ工場法令ノ就業禁止規定ニ抵觸セザルヤニ就キ着眼スルコト

ロ、其ノ他

三、適正ト認メ受理セルモノニ對シテハ直ニ臺帳班ニ廻付シ不備ノモノニ對シテハ例文第二十七號ニ依リ照會ノ手續ヲスルコト

第二款　事業主ニ關スル事項

第三十條　事業主、事業ノ名稱、事業主氏名住所、工場事業場、變更屆ノ項

一、事業主、事業ノ名稱、事業主氏名住所、工場事業場變更屆（施行規則第十八條）、事業ノ名稱變更屆、事業主氏名住所變更屆（施行規則第二十條ノ二）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

イ、工場臺帳、鑛山臺帳、事業臺帳、任意包括事業臺帳ト照合シ現ニ適用工場又ハ適用事業場ノ有無ヲ調査スルコト

ロ、記號又ハ被保險者ノ番號ヲ改訂ノ必要ヲ生ジタルトキハ資格取得屆ノ項新規適用ノモノニ對スル處理ノ（ロ）ニ準ジテ處理スルコト

ハ、前項ニ依リ記號及番號ヲ改訂シタルトキハ當該事業主ニ對シ例文第二十八號ニヨリ記號及番號ノ變更通知ヲ爲スコト

ニ、工場臺帳、鑛山臺帳、事業臺帳、任意包括事業臺帳、被保險者名簿ヲ整理スルコト

ホ、本屆ハ文書班ヘ廻付ノコト

二、法第十三條不該當屆ノ項

第三十一條　法第十三條不該當屆（施行規則第十九條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲナスベシ

イ、工場ニアリテハ工場臺帳、事業ニアリテハ事業臺帳ニヨリ照合シタル上被保險者名簿ニヨリ人員ヲ計算シ本條該當トシテ取扱支障ナキヤ否ヤヲ審査スルコト

ロ、工場臺帳鑛山臺帳事業臺帳ニハ備考ニ法第十三條不該當ト記載シ任意包括事業臺帳ニハ必要事項ヲ記入ノ上備考ニ法第十三條不該當ナル旨記載ノコト

ハ、被保險者名簿ノ上空欄ヘ法第十三條不該當ノ印ヲ押捺スルコト

ニ、事業主ニ對シテハ例文第二十九號ヲ以テ法第十六條該當セル旨通知スルコト

ホ、處理濟ノ本屆ハ文書班ヘ廻付スルコト

三、事業主代理人選任及解任屆ノ項

第三十二條　事業主代理人選任届（施行規則第八條ノ二第二項）、解任届ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、選任届ノ場合

事業主代理人名簿ニ必要ナル事項ヲ記入スルコト

二、解任届ノ場合

事業主代理人名簿ニ解任年月日ヲ記入スルコト

本届ハ現給班ニ廻付ノコト

第三十三條　資格班ニ於テ處理シタル各種書類ニ對シ關係各係各班ニ於テ夫々必要事項ヲ處理濟トナリタル原議返還アリタルトキハ各書類ノ種別ニ區分シ一括編綴スルモノトス

第四節　徴收係調定班關係

第三十四條　強制被保險者又ハ任意包括被保險者ニ付事業主ヨリ徴收スベキ毎月ノ保險料額ハ保險料算定表（樣式第二十八號）及保險料端數計算表ニ依リ之ヲ處理スベシ

一、保險料算定ニ關スル事項

一、保險料算定表ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ處理スルコト

「前月未現在人員」欄ニハ前月分ノ「月末人員」ヲ轉記シ保險料額早見表ニヨリ人員等級ニ應ジ算出シ一應其ノ月ニ於テ人員及等級ニ異動ナキモノトシ計算シ置クコト

算定基礎届ニヨリ八月一日ヨリ等級ノ變更ノ場合ハ被保險者名簿ニヨリ等級別ニ人員ヲ集計シ前月末現在人員欄ニ記入スルコト

二、保險料端數計算表ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ處理スルコト

イ、本表ハ其ノ月ニ於ケル總テノ異動增減ヲ處理スルモノトシ徴收スベキモノニ對シテハ徴收保險料欄ニ徴收スベカラザルモノニ對シテハ控除保險料欄ニ於テ各々算定ノ上調定期ニ各欄ノ集計ヲ爲シ其ノ差引額ヲ記載スルコト

ロ、右算定ヲ了シタルトキハ過誤納額整理簿ニ依リ其ノ月ノ保險料ニ充當スベキモノアル場合ハ「イ」ノ差引額ヨリ控除又ハ加算シ差引增減額ニ記載スルコト

註　差引額ニ於テ減ノ場合ハ充當額ヲ加算シ增ノ場合ハ充當額ヲ控除ス

ハ、「ロ」ノ差引增減額ニ於テ增ノ場合ハ「保險料算定表」ノ超過金額欄ニ墨書ヲ以テ轉記シ減ノ場合ハ朱書ヲ以テ轉記シ算定表ニ於テ既ニ調定シタル集計ニ增減ヲ爲シ差引告知額ヲ計算スルコト

三、保險料端數計算表ハ前月ノ調定期ヨリ今月ノ調定期ニ至ル迄ノ異動又ハ增減ニ對シ每日之ヲ

處理スルモノトシ徴收保險料欄及控除保險料欄ニ記載處理スベキ書類左ノ如シ

（一）徴收保險料欄ノ整理方法

「保險料算定表」ニ於テハ月末現在ニヨリ其ノ月ニ對シ一應異動增減ナキモノトシ計算シアルヲ以テ本欄ニハ本月徴收スベキモノヲ計算スルコト、シ其ノ書類ニ對スル整理ハ左ノ方法ニ依ルコト

イ、資格取得屆

本屆アリタルトキハ「保險料算定表」ト一應引合セヲ行ヒ既適用ナリヤ又ハ新規適用ナリヤヲ確ムコト（以下各屆共此ノ取扱ニ準ズ）

既適用ノモノニ對シテハ本欄ノ番號、等級、氏名該當年月日、負擔日數、負擔金額ノ各欄ヲ整理計算シ（以下各屆共之ニ準ズ）備考欄ニ「增」ト記載スルコト新規適用ニ在リテハ「保險料算定表」ヲ新ニ作製シ記號及住所事業主名等ヲ記載シ更ニ備考欄ニ適用年月日ヲ記載スルコト

徴收保險料欄ノ整理ハ被保險者多數ナルトキハ各人ノ氏名ヲ記載セズ同等級ノモノヲ一括シテ誰々外何名ト記載シ備考欄ニ「增」ト記載スルコト

ロ、轉勤屆

本屆アリタル場合ハ「イ」ノ整理ニ準シ取扱ヒ備考欄ニ轉勤トシ「增」ト記載スルコト（控除保險料欄モ同時ニ整理ノコト）

ハ、資格變更屆

本屆ハ任意繼續被保險者ガ强制又ハ任包ノ被保險者トナリタル場合ナルヲ以テ變更後ノ日數ニ對シ「イ」ノ取扱ニ準シ備考欄ニ資格變更及「增」ト記載スルコト

ニ、被保險者數業務從事屆、被保險者所屬選任屆

本屆ハ被保險者ニ付各事業主ノ負擔スル保險料ノ額ハ其ノ被保險者ノ保險料額ヲ各業務ニ於ケル報酬日額ニ依リ按分シタル額ヲ計算スルモノトシ各事業主毎ニ分割整理シ「保險料算定表」ニ於テ計算セズ本表ヲ以テ整理スルコト（保險料算定表ノ備考欄ニハ數業務從事ノモノアリ又ハ所屬選任屆アリノ旨ヲ附記シ置クコト）

ホ、資格取得年月日訂正願

既ニ屆出アリタル年月日ヨリ遡リタル月日ニ訂正願アリタル場合ハ其ノ遡リタル日數ノミニ對シ計算ノコト

ヘ、資格喪失年月日訂正願

既ニ屆出アリタル年月日ヨリ後ノ月日ニ訂正願アリタル場合ハ其ノ遲レタル日數ノミニ對

シ計算ノコト

ト、任意包括被保險者認可申請

本届ハ「イ」ノ新規適用ニ準ジ取扱フコト

チ、報酬日額變更又ハ訂正届

本届ニシテ前等級ヨリ增高ノ場合ハ變更又ハ訂正アリタル年月日ヨリ起算シ其ノ差額ヲ計算スルコト、シ備考欄ニハ日額變更又ハ訂正ノ事由ヲ記載ノコト

リ、法第六十二條不該當届

本届ハ不該當トナリタル日ヨリ起算シ「イ」ノ取扱ニ準ジ備考欄ニ六十二條不該當トシ「增」ト記載スルコト

右各項中備考欄ニ、「增」ト記載スベキモノ又ハ等級訂正ノモノハ「本月分得喪欄」ニ其ノ都度等級別ニ人員ヲ記載シ置キ本欄ノ集計ノ場合ニ於テ「增」及「等級訂正」ノ分ニ對シ一應照合ヲ行フコト

(二) 控除保險料欄ノ整理方法

「保險料算定表」ニ於テハ月末現在ニヨリ其ノ月ニ對シ一應異動增減ナキモノトシ計算シアルヲ以テ本欄ニハ本月徵收スベカラザルモノヲ控除計算スルモノトシ其ノ書類ニ對スル整理ハ左ノ方法ニ依ルコト

イ、資格喪失届

本届アリタルトキハ「保險料算定表」ト一應引合セヲ行ヒ　以下各届共之ニ準ズ）本欄ノ番號、等級、氏名該當年月日負擔日數、負擔金額ノ各欄ヲ整理計算シ（以下各届共之ニ準ズ）備考欄ニ「減」ト記載スルコト本届ガ被保險者全部喪失ノ場合ニ於テハ前月調定期ヨリ異動增減ナク而モ一日モ喪ノトキハ「保險料算定表」ノ計算ヲ抹消シ備考欄ニ全喪ノ旨記載スルコト、シ若シ前月調定期ヨリ異動增減アリタル場合及本月徵收スベキ保險料アルトキハ本欄ヲ整理シ「保險料算定表」ニ於テ處理計算ノコト

ロ、資格取得年月日訂正願

既ニ届出アリタル年月日ヨリ後ノ月日ニ訂正願アリタル場合ハ其ノ遲レタル日數ノミニ對シ計算ノコト

ハ、資格喪失年月日訂正願

既ニ届出アリタル年月日ヨリ遡リタル月日ニ訂正願アリタル場合ハ其ノ遡リタル日數ノミニ對シ計算ノコト

ニ、轉勤届

本届アリタル場合ハ前勤務ノ工場、事業場ノモノニ對シ轉勤後ノ日數ニ對シ計算ヲ行ヒ備考欄ニ「減」ト記載スルコト

ホ、資格取得重復取消願

本届ハ資格取得ノ年月日ニ遡リ計算シ備考ニ「減」ト記載スルコト

ヘ、資格取得取消願

本届ハ資格ヲ取消スベキ月日ニ遡リ計算シ備考欄ニ「減」ト記載スルコト、任意包括被保險者ト脫退認可申請

本届ハ「イ」ノ項ニ準ジ取扱フコト

チ、報酬日額變更又ハ訂正届

既ニ届出アリタル報酬額ヨリ低下ノ届出アリタル場合ハ訂正ヲ要スベキ年月日ヨリ起算シ計算ノ上備考欄ニ日額訂正又ハ變更ノ事由ヲ記載スルコト

リ、法第六十二條該當届

本届ハ「イ」ノ項ニ準ジ取扱ヒ備考欄ニ六十二條該當ト記載スルコト

ヌ、各種手當金支給日數通知書

本書ヲ受ケタルトキハ控除スベキ年月日ヨリ計算シ備考ニ手當金ノ區分ヲ記載ノコト

右各項中備考欄ニ「減」ト記載スベキモノ又ハ等級訂正ノモノハ本月分得喪欄ニ其ノ都度等級別ニ人員ヲ記載シ置キ本欄ノ集計ノ場合ニ於テ「增」及「等級訂正」ノ分ニ對シ一應照合ヲ行フコト本異動欄ノ增減人員ハ本表ニヨリ「保險料算定表」ヲ處理スル場合ハ算定表其ノ後ノ「增減欄」ニ轉記スルコト

四、任意繼續被保險者ニ對スル保險料ノ算定ハ（樣式第二十九號）ニ依リ處理スベシ

五、保險料算定表ヲ整理スベキ書類左ノ如シ

（一）　任意繼續被保險者氏名又ハ住所變更届

本届ノ場合ハ保險料算定表ノ氏名又ハ住所ヲ訂正スベシ

（二）　法第十三條不該當届

本届ニシテ被保險者全部喪失ノ場合ハ算定表ニ何月何日不該當ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

又任意包括被保險者トナリタル場合ハ備考欄ニ任包ト附記スルコト

（三）　工場事業場又ハ事務所名稱變更届、事業主氏名及住所變更届

本届アリタル場合ハ保險料算定表及保險料端數計算表ノ該當事項整理ノコト

（四）　事業主代理人選任届

保險料算定表ニ代理人ノ氏名ヲ記載シアル場合ハ之ヲ事業主名ニ改修整理ノコト

六、納入告知書作成

定期調定後納入ノ氏名住所工場事業場又ハ事務所ノ名稱ヲ納入告知書ニ記入シ發行ノ準備ヲ爲シ置キ保險料算定表ノ告知金額決定ト共ニ其ノ金額ヲ納入告知書ニ轉記シ强制任意包括ヲ含メタル郡市別金額ヲ算出シ保險料算定表ノ郡市別金額ニ照合ノ上毎月十八日迄ニ收納班ニ引繼ヲ爲スベシ

二、其ノ他徵收金ニ關スル事項

第三十五條　特別給付及手當金徵收金辨償違約金物品拂下代返納金（貸付還付）諸手當金分娩費等ノ返納ノ原議ヲ受ケタル場合ニ於テハ直ニ調定ノ手續ヲ爲シ納入告知書ヲ發行スベシ

第三十六條　諸屆處理後ハ事業主名稱所在地氏名變更屆ハ收納班ニ其ノ他ハ臺帳班ニ廻付スベシ

第五節　徵收係收納班關係

一、徵收補助簿ノ項

第三十七條　徵收補助簿ノ整理ニ付テハ左ノ順序ニヨリ處理スベシ

イ、本簿ニ登載スベキ毎月ノ保險料調定濟額ハ納入告知書ニ依リ記入スルコト

ロ、調定濟額ノ記入終リタルトキハ郡市別毎ニ總調定額ヲ計算シ本簿ノ末尾ニ其ノ金額ヲ記入シ置クコト

ハ、領收濟通知書及領收濟報告書ノ原符ヲ受ケタルトキハ本簿ニ記載セラレタル保險料額ト對照シ領收又ハ收納月日及金額ヲ記載シ日本銀行及郵便局受入ノモノハ摘要ニ「領收」領收濟報告書ニ在リテハ「收納」ト記入スルコト

本簿ニ記入スベキ領收月日ノ整理ニ付テハ日本銀行及郵便局受入ニ係ル領收濟通知書ニ在リテハ統轄店（日本銀行又ハ支店）及取纏局（取纏郵便局ノ受附日ヲ以テ記入スルコト但シ受入局ニ於テ其ノ月中ニ領收シタルモ取纏局ニ於テ翌月三日迄ニ取扱ヒタルモノハ月末ノ日附ヲ以テ領收ノ旨記入スルコト

ニ、其ノ月ニ於ケル保險料收入額及未納額ハ郡市別ニ之ヲ區分シ本簿末尾ニ集計ヲ附スルコト

ホ、督促狀發付セラレタルトキハ發付伺ニ依リ督促手數料ヲ本簿ニ記入スルコト

督促手數料ノ領收濟通知書及領收濟報告書ヲ受ケタルトキハ收入濟額欄ニ記載ノコト

督促狀取消アリタルトキハ原議ニヨリ本簿ヲ整理ノ上之ヲ區分シ本簿ニ記入スルコト

ヘ、延滯金及滯納處分費ノ收入アリタル場合ハ直チニ調定シ本簿ニ記入シ減ノ場合ハ朱ヲ以テ減額アリタル額ヲ記入スルコト、但シ既ニ其ノ月分ノ收入アリタルトキハ過誤納額整理

簿ニ過納金額ヲ記載シ直チニ返還ノ手續ヲ爲スコト此ノ場合本簿ニハ過納額ヲ記載スルコト

チ、領收又ハ收納シタル金額ガ調定額ヲ超過スルトキハ直チニ領收濟通知書又ハ領收濟報告書ノ餘白ニ其ノ旨記入ノ上過誤納額整理簿ニ必要事項ヲ記入スルコト

リ、滯納處分ノ引繼及引受アリタル場合ハ其ノ決議書ニヨリ其ノ金額ト事由ヲ記入スルコト但シ引繼ノ場合ハ朱書スルコト

ヌ、歲入ノ組替決議ノアリタルトキハ現年度ノ本簿ヲ整理（朱書スルコト）シ翌年度ノ本簿ニ組替額ヲ轉記スルコト

ル、不納缺損アリタルトキハ其ノ決議書ニ依リ缺損處分額ヲ本簿ニ記入ノコト

オ、事業ノ名稱所在地氏名ノ變更屆ヲ受ケタルトキハ本簿ヲ整理シ資格班ニ廻付ノコト

二、徵收簿ノ項

第三十八條　徵收簿ノ整理ニ付テハ左記順序ニヨリ處理スベシ

イ、本簿ハ款、項、目ニ區分シ各口座ヲ設クルコト

但シ項及目ガ一ツナルトキハ口座ヲ別ニセズシテ之ヲ一括スルモ妨ゲナキコト

ロ、本簿記載ノ方法ハ目ヲ整理シ各目ヲ項ニ記載シ各項ヲ款ニ取纏メ整理スルコト目ニ記載スベキ事項中調定濟額及收入濟額、不納缺損額ハ其ノ事由ヲ摘要ニ詳記シ項ニ對スル整理ハ目ノ科目名ヲ摘要ニ記載スルコト

ハ、本簿ハ年度初メニ於テ前年度ノ調定組替額ヲ調定濟額欄ニ記入スルモノトシ、款ニハ項毎ノ組替額ノ總額ヲ記載シ保險料收入ノ項及目ニハ所屬年度毎ニ記入シ雜收入ノ項ニハ目毎ニ所屬年度ノ組替額ヲ記入シ目ニハ組替額ノ內容ヲ詳記スルコト

ニ、調定濟額ノ記入ハ調定伺ノ原議ニ依リ款項目ニ各々其ノ金額ヲ記入スルコト

ホ、收入濟額ニ對スル記入ハ收入濟額日計表ニヨリ款項目毎ニ區分記載ノコト

ヘ、不納缺損アリタル場合ハ原議ニ依リ款項目毎ニ區分記載ノコト

ト、收入未濟額ハ各款項目毎ニ調定濟額ヨリ收入濟額及不納缺損額ヲ控除シタル金額ヲ記入ノコト

チ、調定濟額ニ增減アリタルトキハ調定伺案ニ依リ記入ノコト、但シ減ノ場合ハ朱書ヲ以テ記入スルコト

リ、領收又ハ收納シタル金額ニシテ調定額ヲ超過シタルモノアリタル場合ハ過誤納額整理簿ニ記載セラレタル超過金額ヲ調定濟額欄ニ記入シ摘要欄ニ其ノ旨記載スルコト

ヌ、滯納處分ノ引繼及引受アリタル場合ハ其ノ決議書ニ依リ其ノ金額ヲ調定濟額欄ニ記入シ摘要ニハ其ノ事由ヲ記入シ引繼ノ場合ハ朱書スルコト

ル、翌年度ヘ調定組替決議ノアリタルトキハ本簿ノ調定濟額欄ニ其ノ金額ヲ朱書シ摘要ニ其ノ旨記

載スルコト

ヲ、毎月末ニ於テハ調定濟額、收入濟額、不納缺損額ノ各欄ノ月計及累計ヲ記載スルコト減額アリタル場合ハ其ノ額ヲ合計朱書シ累計ハ之ヲ差引キタル額ヲ記載スルコト

ワ、記載事項ヲ次頁ニ移ス場合ニ於テハ其ノ頁ニ於ケル其ノ月ノ合計及前月迄ノ累計ヲ記載シ後頁ヘ移記スルコト此ノ場合ニ於テハ其ノ頁ノ終リニ於テ「摘要」欄ニ「本月ノ合計後頁ヘ移記ス」及「前月迄ノ累計後頁ヘ移記ス」ノ如ク記載シ後頁ノ初ニ於テ「摘要」欄ニ「前月迄ノ累計前頁ヨリ移記ス」「本月ノ合計前頁ヨリ移記ス」ノ如ク記載スルコト

カ、出納官吏又ハ日本銀行ヨリ領收濟額ノ取消報告（大正五年大藏省令第三十二號證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律施行細則第六條第一項）ヲ受ケタル場合ハ該報告ヲ受ケタル日ヲ以テ收入濟額ノ取消ヲ爲スコト、此ノ場合ニ於テハ目ノ部ノ「摘要」欄ニ其ノ事由ヲ記載スルコト

三、保險料所屬月別整理簿ノ項

第三十九條　保險料所屬月別整理簿ハ過年度分及本年度分ノ二冊作成シ左記順序ニ依リ處理スベシ

イ、本年度分ニ對スル簿冊ハ各月別ノ口座ヲ設ケ本簿末尾ニ集計ヲ附シ過年度分ニ對スル簿冊ハ各年度毎ニ所屬年月別ノ口座ヲ設ケ本簿末尾ニ所屬年度毎ニ集計ヲ附スルコト

ロ、本簿ニ記載スベキ件數ハ納入告知書一通ヲ一件トシ一部納入ノ場合ハ件數ニ加ヘザルコト

ハ、過年度ニ屬スル簿冊ニハ年度初メニ於テ前年度ヨリノ調定組替額及件數ヲ調定濟額並ニ件數欄ニ記入スルコト

ニ、本年度分簿冊ニハ各月調定濟額及件數ヲ調定伺ノ原議ニ依リ記入スルコト

ホ、收入濟額及件數ハ領收濟通知書及領收濟報告書ニ依リ各所屬月毎ニ計算ノ上記入スルコト

ヘ、不納缺損アリタル場合ハ其ノ所屬月ニ對シ原議ニ依リ記入スルコト

ト、收入未濟額及件數ハ調定濟額ヨリ收入濟額及不納缺損額ヲ控除シタルモノヲ記入スルコト

チ、調定濟額ニ增減アリタルトキハ調定伺案ニ依リ記入ノコト但シ減ノ場合ハ朱書ヲ以テ記入スルコト

リ、領收又ハ收納シタル金額ニシテ其ノ原符ニ調定額ヲ超過シタルモノノ記載アリタル場合ハ過誤納額整理簿ト對照ヲ行ヒ超過金額及件數ヲ調定濟額欄ニ記入シ摘要欄ニ其ノ旨記載スルコト

ヌ、滯納處分引繼及引受アリタル場合ハ其ノ所屬月ニ對シ決議書ニ依リ其ノ金額及件數ヲ調定濟額欄ニ記入シ摘要欄ニハ其ノ事由ヲ記入シ引繼ノ場合ハ朱書スルコト

ル、毎月末ニ於テハ調定濟額、收入濟額及不納缺損額ノ各欄ノ月計及累計ヲ記載スルコト減額アリタル場合ハ合計ノ上朱書シ累計ハ之ヲ差引キタルモノヲ記載スルコト

ヲ、記載事項ヲ次頁ニ移ル場合ニ於テハ其ノ頁ニ於ケル其ノ月ノ合計及前月迄ノ累計ヲ記載シ後頁

へ移記スルコト此ノ場合ニ於テハ其ノ頁ノ終リニ於テ摘要欄ニ「本月ノ合計後頁へ移記ス」及「前月迄ノ累計後頁へ移記ス」ノ如ク記載シ後頁ノ初ニ於テ摘要欄ニ「前月迄ノ累計前頁ヨリ移記ス」「本月ノ合計前頁ヨリ移記ス」ノ如ク記載スルコト

ワ、出納官吏又ハ日本銀行ヨリ領收濟額ノ取消報告ヲ受ケタル場合ハ其ノ所屬月ニ對シ該報告ヲ受ケタル日ヲ以テ收入濟額欄ノ金額及件數ノ取消ヲ爲スコト、此ノ場合ニ於テハ摘要欄ニ其ノ事由ヲ記載スルコト

カ、翌年度へ調定組替ノ決議アリタルトキハ本簿ニ其ノ金額及件數ヲ調定濟額欄ニ朱書シ摘要ニ其ノ旨記載ノコト

四、收入濟額日計表ノ項

第四十條　收入濟額日計表ハ領收濟通知書、領收濟報告書及歲入組入報告書ニ依リ日本銀行、郵便局及收入官吏每ニ各科目別ニ集計ノ上樣式第四號ニ依リ之ヲ作成スルコト、但シ領收濟通知書ニ在リテハ出納官吏拂込ニ係ル分ヲ除クコト

五、支出官ニ對スル歲入金通知ノ項

第四十一條　支出官ニ對スル歲入金通知ハ日本銀行ニ於ケル領收濟通知書ニ依ル金額ヲ集計ノ上收入濟額日計表ノ該當欄へ記載、會計班へ廻付スベシ

六、歲入金領收額ト日本銀行ニ於ケル領收濟通知書トノ對査表ノ項

第四十二條　日本銀行ヨリ會計規則第三十五條ノ規定ニ依リ、收入官吏及郵便局出納官吏拂込ニ係ル領收濟通知書ノ送付ヲ受ケタル時ハ收入官吏ヨリ提出ノ領收濟通知書トヲ對査スルコト其ノ順序左ノ如シ

イ、本表ハ郵便局及各取扱收入官吏每ニ區分記載スルコト

ロ、領收額ハ郵便局ニ在リテハ歲入金受入高日計表ニ依リ、收入官吏ニ在リテハ、領收濟報告書ニヨリ夫々記載スルコト

ハ、領收額合計ハ前日合計額ニ本日領收額ヲ加ヘタルモノヲ記載スルコト

ニ、拂込額合計ハ前日ノ合計額ニ本日ノ郵便局及收入官吏拂込ニ係ル日本銀行ノ領收濟通知書ニ依リ金額ヲ合算記載スルコト

ホ、拂込未濟額ハ領收額合計ヨリ拂込額合計ヲ差引キタルモノヲ記載シ拂込超過ノ場合ハ朱書スルコト

七、過誤納額整理簿ノ項

第四十三條　過誤納額整理簿ハ左記ニ依リ處理スベシ

イ、本簿ハ保險料收入ト雜收入トニ區分シ保險料收入ニ在リテハ各郡市別ニ口座ヲ設クルコト

ロ、本簿ハ徴收補助簿整理ノ際、住所、氏名、過誤納ノ事由、年月日、過誤納金等、記載整理シ保險料收入ニ在リテハ月末ニ取纏メ調定班ヘ廻付スルコト

ハ、保險料收入ニシテ充當不能ノ金額及雜收入金額ハ直ニ例文第三十號ニ依リ還付ノ手續ヲ爲シ還付請求書ノ提出アリタルトキハ過誤納額整理簿ト對照ヲ行ヒ會計班ニ廻付ノコト

ニ、還付濟ニ係ルモノニシテ會計班ヨリ通知ヲ受ケタルトキハ過誤納額整理簿ニ還付年月日ヲ記載スルコト

八、督促狀發付ノ項

第四十四條　督促狀ノ發付ヲ爲ストキハ徴收補助簿ニ依リ督促狀（納付書添附セルモノ）ヲ作製發付スベシ此ノ場合ニ於テハ納付書ノ領收濟通知書ノ部ニ保險料納入告知番號ヲ附スルコト

督促狀發付後ニ於テ發付當日迄ニ納付アリタルモノニ對シテハ取消伺ヲ爲シ例文第三十一號ニ依リ納入ニ通知ノコト

九、滯納處分票整理ノ項

第四十五條　滯納處分事務取扱手續第四條ニ依ル滯納處分票ハ樣式第五號ニ依リ督促狀指定期限ノ翌日現在未納者ニ就キ作製スルコト、コノ場合ニ於テハ督促狀發付調書ヲ整理シ（取消又ハ收納セルモノヲ除ク）本調書ニ依リ作製スベシ

「完納年月日」ハ領收濟通知書又ハ領收濟報告書ニ依リ記入シ一部收入ナルトキハ「一部收入事項」欄ニ收入額及收入年月日ヲ記入ノコト

十、調定組替整理ノ項

第四十六條　每年度出納閉鎖期迄ニ收入濟ニ至ラザルモノノ調定組替決議ハ明治二十四年八月十七日大藏省訓令第六十八號及明治二十五年四月二十七日大藏省訓令第二十五號ニ基キ本年度分ニ在リテハ出納閉鎖期ノ四月三十日迄ニ過年度分ニ在リテハ出納閉鎖期タル三月三十一日迄ニ收入濟ニ至ラザルモノヲ卽時所屬年度別ニ調定組替調書ヲ各科目別ニ決議書ヲ作製スベシ

十一、全喪工場ニ對スル取扱ノ項

第四十七條　資格班ヨリ全喪工場ノ通知ヲ受ケタルトキハ直チニ徴收補助簿ニ依リ未納ノ有無ヲ調査シ未納アル場合ハ出張徴收又ハ文書督促ノ手配ヲナスベシ

現在未納ナキモ未調定ノモノアル場合ハ從來ノ納入成績又ハ全喪ノ事情ヲ考慮シ今後ノ徴收ニ困難ヲ來ス懸念アルモノニ對シテハ未調定ニ係ル分ニ對シ繰上徴收手續方ヲ調定班ヘ通知スルコト

十二、歲入徴收額計算書ノ項

第四十八條　歲入徴收額計算書及同附屬證憑書類ノ作製ニ關シテハ左記ニ依リ處理スベシ

イ、本計算書ハ徴收簿ニ依リ款、項、目、毎ニ調定濟額收入濟額不納缺損額、收入未濟額ヲ夫々記載ノ上收入濟額ニシテ日本銀行歳入金月計突合表ト符合セザルモノハ、其ノ事由ヲ備考欄ニ記入スルコト

ロ、年度最終ニ於ケル本計算書提出ニ際シテハ、收入官吏現金領收額調及徴收簿ニ記載セラレタル收入濟額ト日本銀行領收濟額トノ對照調ノ添附ヲ要スルヲ以テ、左記ニ依リ作製スルコト

(1) 收入官吏現金領收額調ニ記載スベキ金額ハ主任收入官吏取扱ノ分ト分任收入官吏取扱ノ合計額ヲ記載シ郵便局出納官吏領收濟通知額ニ在リテハ取纏郵便局ニ於ケル取纏額ヲ記載スルモノトシ本年度三月三十一日迄ノ分ト爾後出納閉鎖期迄ノ分トヲ區分シ作製ノコト

本調書ノ作製ハ「歳入金領收額ト領收濟通知書ノ對査表」ニ記載セラレタル金額ヲ記入スルコト

(2) 收入濟額ト日本銀行領收濟額トノ對照調ニ於ケル收入濟額ニハ歳入徴收額計算書ノ收入濟額ノ合計ヲ記載シ日本銀行領收濟通知總額ハ年度最終ニ於ケル日本銀行歳入金月計突合表ニ依リ記載シ日本銀行取扱ノ內譯ハ右突合表ニヨリ記載スルコト

ハ、附屬證憑書類ハ原則トシテ原本ヲ提出スベキヲ以テ正副二通（一通ハ控）左記ニ依リ作製スルコト、但シ原本ヲ送付シ能ハザル場合ハ當該主任者ノ保證アル謄本ヲ以テ之ニ代フルコトヽシ此ノ場合ハ一件書類毎ニ末尾ニ「右原本ニ依リ謄寫ス」ト記載シ謄本作製年月日及官氏名ヲ記載捺印スルコト

(1) 保險料收入ニ在リテハ保險料調定仕譯書ヲ以テ代用セラルヽニ付キ本仕譯書ニ記入スベキ金額ハ左記期間分ノ合計額トス

第一回　自四月　至八月
第二回　自九月　至十二月
第三回　自一月　至四月

雜收入ニ在リテハ調定原議ヲ、各科目毎ニ其ノ科目ノ金額及證憑書枚數ヲ記入シタル表紙ヲ添附、原本ハ袋綴トナスコト、尙滯納處分ノ引繼及引受、不納缺損處分等爲セルモノアルトキハ、之ガ關係書類モ一括編綴スルコト

(2) 日本銀行歳入金月計突合表ハ當該期間分ニ付寫ヲ別ニ袋綴トナスコト

(3) 年度初回ノ報告ニ在リテハ前年度ヨリ調定組替決議書ヲ又年度最終回ノ報告ニ在リテハ翌年度ヘノ調定組替決議書ノ提出ヲ要スルヲ以テ其ノ科目毎ニ金額及證憑書枚數ヲ記入シタル表紙ヲ添附原本ハ袋綴トナスコト

十三、徴收報告書ノ項

第四十九條　毎月十日迄ニ提出スベキ徴收報告書ノ樣式及記載例ハ大正十一年大藏省令第二十號、第四號書式ニ依ルモノニシテ之ガ作製ニ關シテハ左記ニ依ルベシ

イ、本表ノ作成ニハ徴收額ノ款項目ノ月計及累計ヲ各該當欄ヘ其ノ儘轉記スルコト但シ本月分調定濟額欄ニハ「調定外誤納額」及「調定減(取消)額」調定組替額ヲ區分記載其他ノ事項ハ「本月分調定額」ニ合算記入スルコト

ロ、本表ノ計ハ徴收簿ニ於ケル「項」ノ額ト同額ニシテ合計ハ「款」ノ部ニ該當セシムルコト

ハ、本表中「現金拂込濟仕譯」欄ハ郵便局ニ於ケル受入金振替拂込仕譯書ニ依ル前月迄拂込未濟高ヲ「外郵便局出納官吏前月迄拂込未濟」欄ニ記入シ差引振替拂込未濟高ヲ「外郵便局出納官吏翌月ヘ越高」欄ニ記入スルコト「前月迄拂込未濟」及「本月中現金領收額」「合計」「本月中日本銀行拂込高」「翌月ヘ越高」ニ記載スベキモノハ各收入各吏ヨリ提出ノ現金拂込仕譯書ノ合計ヲ轉記スルコト「本月中郵便局ヘ拂込高」ニハ各收入官吏ヨリ提出ノ郵便局拂込仕譯書ノ合計ヲ轉記スルコト

ニ、本表中收入濟額本月分欄「合計」額ニ現金拂込濟仕譯欄ノ「前月迄拂込未濟」及「外郵便局出納官吏前月迄拂込未濟」ヲ加ヘタルモノヨリ「翌月ヘ越高」及「外郵便局出納官吏翌月ヘ越高」ヲ差引タル額ヲ日本銀行「歳入金月計突合表」ノ本月分額ニ對照シ更ニ收入濟額本月迄累計ノ樣式及記載例ハ大正十一年大藏省令第二十號、第四號書式ニ依ルモノニシテ之ガ作製ニ關シテハ左記ニ依ルベシ

イ、本表ノ作成ニハ徴收額ノ款項目ノ月計及累計ヲ各該當欄ヘ其ノ儘轉記スルコト但シ本月分調定濟額欄ニハ「調定外誤納額」及「調定減(取消)額」調定組替額ヲ區分記載其他ノ事項ハ「本月分調定額」ニ合算記入スルコト

ロ、本表ノ計ハ徴收簿ニ於ケル「項」ノ額ト同額ニシテ合計ハ「款」ノ部ニ該當セシムルコト

ハ、本表中「現金拂込濟仕譯」欄ハ郵便局ニ於ケル受入金振替拂込仕譯書ニ依ル前月迄拂込未濟高ヲ「外郵便局出納官吏前月迄拂込未濟」欄ニ記入シ差引振替拂込未濟高ヲ「外郵便局出納官吏翌月ヘ越高」欄ニ記入スルコト「前月迄拂込未濟」及「本月中現金領收額」「合計」「本月中日本銀行拂込高」「翌月ヘ越高」ニ記載スベキモノハ各收入各吏ヨリ提出ノ現金拂込仕譯書ノ合計ヲ轉記スルコト「本月中郵便局ヘ拂込高」ニハ各收入官吏ヨリ提出ノ郵便局拂込仕譯書ノ合計ヲ轉記スルコト

ニ、本表中收入濟額本月分欄「合計」額ニ現金拂込濟仕譯欄ノ「前月迄拂込未濟」及「外郵便局出納官吏前月迄拂込未濟」ヲ加ヘタルモノヨリ「翌月ヘ越高」及「外郵便局出納官吏翌月ヘ越高」ヲ差引タル額ヲ日本銀行「歳入金月計突合表」ノ本月分額ニ對照シ更ニ收入濟額本月迄累計ノ樣式及記載例ハ大正十一年大藏省令第二十號、第四號書式ニ依ルモノニシテ之ガ作製ニ關シテハ左記ニ依ルベシ

イ、本表ノ作成ニハ徴收額ノ款項目ノ月計及累計ヲ各該當欄ヘ其ノ儘轉記スルコト但シ本月分調定濟額欄ニハ「調定外誤納額」及「調定減(取消)額」調定組替額ヲ區分記載其他ノ事項ハ「本月分調定額」ニ合算記入スルコト

ロ、本表ノ計ハ徴收簿ニ於ケル「項」ノ額ト同額ニシテ合計ハ「款」ノ部ニ該當セシムルコト

ハ、本表中「現金拂込濟仕譯」欄ハ郵便局ニ於ケル受入金振替拂込仕譯書ニ依ル前月迄拂込未濟高ヲ「外郵便局出納官吏前月迄拂込未濟」欄ニ記入シ差引振替拂込未濟高ヲ「外郵便局出納官吏翌月ヘ越高」欄ニ記入スルコト「前月迄拂込未濟」及「本月中現金領收額」「合計」「本月中日本銀行拂込高」「翌月ヘ越高」ニ記載スベキモノハ各收入各吏ヨリ提出ノ現金拂込仕譯書ノ合計ヲ轉記スルコト「本月中郵便局ヘ拂込高」ニハ各收入官吏ヨリ提出ノ郵便局拂込仕譯書ノ合計ヲ轉記スルコト

ニ、本表中收入濟額本月分欄「合計」額ニ現金拂込濟仕譯欄ノ「前月迄拂込未濟」及「外郵便局出納官吏前月迄拂込未濟」ヲ加ヘタルモノヨリ「翌月ヘ越高」及「外郵便局出納官吏翌月ヘ越高」ヲ差引タル額ヲ日本銀行「歳入金月計突合表」ノ本月分額ニ對照シ更ニ收入濟額本月迄累計欄「合計」額ヨリ現金拂込濟仕譯欄ノ「翌月ヘ越高」及「外郵便局出納官吏翌月ヘ越高」ヲ差引タル額ヲ日本銀行「歳入金月計突合表」ノ本月迄累計額ニ對照シ符合セザルトキハ各科目毎ニ右突合表ノ過不足額及其事由等ヲ記載シタル「徴收報告書ト日本銀行月計突合表トノ差額仕譯書」ヲ添附スルコト

ホ、歳入徴收官ニ於テ不納缺損處分ヲ爲シタルトキハ納入ノ住所、氏名、科目、金額、事由、及保險料ニ在リテハ所屬年月日等ヲ記載(樣式ニ付テハ昭和七年六月二日保發第三八〇號社會局保險部長通牒)シタル調書ヲ添附スルコト

ヘ、右各號ニ依リ作成濟ノ上ハ日本銀行歳入金月計突合表ヲ添附保險院長官ヘ進達スルコト

第六節　給付係醫療班關係

第五十條　當該會長ヨリ保險醫、保險歯科醫、保險藥劑師、保險産婆ノ指定屆ノ項手續ヲ爲スベシ

一、保險醫、保險歯科醫、保險藥劑師、保險産婆ノ指定屆ノ項

一、當該名簿ト對照シ、未指定ナルヤ否ヤヲ確メタル後、指定スルコトノ適否ニ關シ必要アルモノハ調査ヲ行フコト

二、指定支障ナシト認メタルモノニ對シテハ指定伺ヲ爲シ決裁後、氏名、所在地、保險醫ニ在リテハ、專門科名、指定年月日ヲ縣報ニ登載方手續ヲ爲スコト

三、縣報登載在リタル場合ハ例文第一號ニヨリ當該指定者及所屬會長ニ其ノ旨通知ノコト

四、本屆ハ文書班ニ廻付ノコト

五、各種名簿ノ整理

縣報ニ於テ公示濟ノ場合ハ各種名簿ニ必要事項ヲ記入シ整理ノコト

二、保險醫、保險齒科醫、保險藥劑師、保險產婆ノ辭任豫告屆ノ項

第五十一條　當該會長ヨリ保險醫、保險齒科醫、保險藥劑師、保險產婆ノ辭任豫告屆ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、辭任豫告ノ事由ニ着眼シ其ノ辭任ノ事由ガ適當ナラズト認メタルトキハ照會又ハ實地調査ニ依リ其ノ適否ヲ決定スルコト

二、辭任豫告ノ事由ガ已ムヲ得ザルモノト認メラレタルトキハ一應供覽ノ手續ヲ爲シ各種辭任豫告者名簿ニ夫々整理スルコト

三、保險醫、保險齒科醫、保險藥劑師、保險產婆ノ辭任屆ノ項

第五十二條　當該會長ヨリ保險醫、保險齒科醫、保險藥劑師、保險產婆ノ辭任屆ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、辭任豫告ノ事由ニ着眼シ辭任豫告者名簿ト對照シ三ケ月ノ辭任待期完成セルヤ否ヤヲ調査スルコト但シ本人ガ病氣又ハ死亡廢止、他縣ニ轉住其ノ他ノ事由ニ依ル指定取消ニ在リテハ辭任豫告ノ必要ナキコト

二、指定取消ヲ適當ト認メタルトキハ指定屆ノ手續ニ準シ取扱フコト

四、繼續療養承認申請書ノ項

第五十三條　繼續療養承認申請書（施行規則第五十八條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審查

被保險者臺帳ト照合シ被保險者ノ記號番號氏名工場事業場ノ所在地及名稱ト對照ヲ行ヒ申請書記載事項中傷病名現ニ療養ヲ受クル保險醫ノ住所氏名療養ヲ受ケントスル期間療養ニ要スル費用ノ見積額事業主ヨリノ申請ニ對シテハ其ノ扶助義務ノ法令區分、本人又ハ第三者ヨリノ申請ニ對シテハ擔保ノ種類又ハ費用ノ償還方法申請者ノ住所氏名捺印ノ各種事項ニ對シ記載洩ナキヤ否ヤヲ調査シ記載事項ニ誤謬アリタルトキハ便宜訂正ヲ爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、內容審查

イ、被保險者臺帳ニヨリ從來ノ給付記錄ヲ調査シ法定期間滿了ノモノニ非ラザルヤ否ヤ及業務上外ノ別、現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名ヲ調査スルコト

ロ、事業主ヨリノ申請ノ場合ハ扶助義務ノ法令ノ區分ニ付調査ヲ爲スコト

ハ、本人又ハ第三者ヨリノ申請ノ場合ニ在リテハ擔保ヲ提供セシムルトキハ現金又ハ確實ナル有價證券（記名證券ハ委任狀ヲ添付セシムルコト）トシ其ノ金額ハ療養ニ要スル費用ノ豫定額ヲ下ラザルコト

ニ、保證人ヲ定ムル場合ニ於テハ身元確實ナル保證人ナルヤ否ヤ調査スルコト

ホ、療養中ニ於テ其ノ費用額ガ擔保トシタル金額ヲ超過スルトキハ更ニ擔保ヲ提供セシムルコト

ヘ、以上ノ調査ヲ了シタル後本申請書ニ記載セラレタル療養費ノ見積額ニ對シテハ診療擔當者ニ對シ照會ヲ行ヒ其ノ適否ヲ決スルコト

此ノ場合ニ於テハ其ノ診療ニ同意アリタルヤ否ヤニ付併テ照會ノコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シ適正ナリト認メタルトキハ承認書ヲ作製シ決裁後文書班ニ廻附ノコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ內容ヲ審査シ承認ノ必要ナキモノニ對シテハ其ノ旨被保險者ニ通知ノコト

五、有價證券及現金ノ保管

擔保トシテ提供アリタル有價證券又ハ現金ニ對シテハ歲入歲出外現金出納官吏ニ引繼ヲ爲シ、保管ノ期間長期ニ涉ルトキハ日本銀行ニ預金スルコト

擔保提供者ニ對シテハ受領證交付ノコト

第五十四條　繼續療養費請求書ノ項

五、繼續療養費請求書ノ項

一、審　査

イ、被保險者臺帳及繼續療養承認申請書ノ原簿ト本請求書記載ノ內容トヲ對比シ療養期間療養ニ要シタル費用ニ付調査スルコト

ロ、診療ノ內容ニ付調査シ日本醫師會健康保險診療點數計算規程ニ準據シ請求點數ヲ審査シ一點單價ハ縣醫師會ノ最近判明セル單價ヲ以テ計算ノコト

二、決　定

以上ノ審査ヲ了シタルトキハ支拂金額ヲ決定シ支拂通知書ヲ作製會計班ニ廻附ノコト

三、事業主及申請者ニ對スル納入通知

本請求ニ對シ支拂ヲ了シタルトキハ事業主又ハ申請者ニ對シ其ノ金額納入ニ關シ調書作製ノ上決

裁後、調定班ニ廻附ノコト

四、擔保金ノ返濟

事業主又ハ申請者ヨリ療養費用額ヲ完納シタルトキニ於テハ提供シタル擔保アルトキハ返還スルコト、此ノ場合ニ在リテハ其ノ領收書ヲ徵スルコト

五、他府縣所屬ノ被保險者ノ場合ノ取扱（官立大學ノ場合）

繼續療養申請ノモノガ他府縣所屬ノモノナルトキハ之ニ要シタル費用ニ付本縣ニ於テ支拂ノ手續ヲ了シ其ノ旨當該府縣ニ通知ノコト

六、對診承認申請書ノ項

第五十五條　對診承認申請書（施行規則第四十九條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號及番號、氏名、工場、事業場、事務所ノ名稱ニ相違ナキヤヲ確メタル後本申請書記載事項中傷病名、發病又ハ負傷ノ原因、診療ヲ開始シタル年月日傷病經過、立會診療ヲ求ムル事由對診ヲ受ケムトスル保險醫ノ住所、氏名ノ欄及申請年月日申請保險醫ノ住所氏名捺印ノ各種事項ノ記載ノ有無對診ヲ受ケムトスル醫師ガ保險醫ナリヤ否ヤ保險醫名簿ト對査シ記載事項ニ誤謬アリタルトキハ便宜訂正ヲ爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、內容審査

立會診療ヲ必要トスル事由ニ着眼シ已ムヲ得ザル事由アリヤ又ハ立會診療ノ必要如何ハ其ノ記載症狀ヨリ考察ヲ爲シ技師意見ヲ徵シ決定スルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シタル場合ハ申請保險醫ニ對シ樣式第一號ノ承認書ヲ作製シ不承認ノ場合ハ樣式第二號ノ通知書ヲ作製シ決裁後文書班ニ廻附ノコト

七、助產手當受給資格證明書下附申請書ノ項

第五十六條　助產手當受給資格證明書下附申請書（縣令）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號、番號及氏名、工場、事業場又ハ事務所ノ名稱ニ相違ナキヤヲ確メタル後本申請書ノ記載事項中分娩豫定年月日姙娠月數保險產婆ノ氏名及住所ノ各欄ニ記載洩無キヤ否ヤ、手當ヲ受ケントスル產婆ニアリテハ保險產婆ナリヤ又ハ醫師ニアリテハ保險醫ナリヤ否ヤニ付各名簿ト對照シ、記載事項ニ誤謬アリタルトキハ、便宜訂正ヲ爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、內容審査

イ、本審査ハ分娩豫定日前一年內ニ被保險者タリシ期間九十日以上ナリヤ資格喪失後ノモノニ在リテハ百八十日以內ノ分娩豫定日ナルヤニ重點ヲ置キ審査スルコト

ロ、資格關係ニ疑義アルトキハ照會又ハ出張ノ上適切ナル處理ヲ講ズルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シタルトキハ樣式第三號ニ依ル資格證明書ヲ作製シ決裁後文書班ニ廻附スルコト

此ノ場合資格取得ノ年月日ガ分娩豫定日迄九十日以內トナル虞レアルモノニ對シテハ證明書ヲ交付シタルモ其ノ分娩日ガ資格取得年月日ヨリ起算シ九十日以內ナルトキハ本證明書ハ無效トスル旨附記スルコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ內容ニ於テ資格ノ具備セザルモノハ樣式第四號ニ依リ不承認ノ旨通知ノコト

八、助產手當料金請求書ノ項

第五十七條　助產手當料金請求書（縣令）ヲ受ケタルトキハ被保險者臺帳ト對照ヲ行ヒ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ資格證明書ノ交付ヲ爲シタルコトアリヤ重複請求ナラザルヤ被保險者證ノ記號番號及氏名生月工場、事業場又ハ事務所ノ所在地、名稱ニ相違ナキヤヲ確メタル後本書ノ記載事項中分娩年月日、生產、死產、流產ノ別及流產ニ在リテハ胎兒ノ月數、正規產、異常產ノ別及異常產ニ在リテハ其ノ種類、產兒ノ男女ノ別並ニ生產ニ在リテハ點眼年月日及體重、多胎分娩ニ在リテハ胎盤及胎兒ノ數、助產ノ手當ノ內容、分娩後ノ處置、助產ノ手當ノ一部ヲ爲シタルモノニ在リテハ其ノ事由、備考保險產婆ノ住所捺印ノ各種事項ニ記載洩レナキヤ否ヤ並ニ助產手產受給資格證明書添付ノ有無ヲ調査シ本書記載事項ニ誤謬アリタルトキハ便宜訂正ヲ爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ樣式第五號ニ依リ照會ヲ爲スコト

二、內容審査

イ、本審査ハ資格取得年月日ヨリ起算シ九十日ヲ經過セル日ノ分娩ナリヤ否ヤ資格喪失ノ日ヨリ起算シ百八十日以內ノ分娩ナルヤニ着眼スルコト

ロ、本分娩ハ姙娠日ヨリ起算シ八十五日以上（四ケ月）ノモノナリヤ否ヤ調査スルコト

ハ、助產手當ノ內容ニ在リテハ分娩前ノ診察、分娩後ノ處置ノ回數及分娩介助ノ料金胎兒數ニ對シ契約料金ト相違セザルヤ否ヤ、此ノ場合ハ診察及分娩介助ノ年月日處置ノ回數ニ付留意スルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シタル場合ハ支給金額ヲ決定シ樣式第六號ニ依ル決定通知書及決定票（統計作製資料）ハ復寫式ニ依リ必要事項ヲ記入シ會計班ニ廻附ノコト

四、不支給決定

助産手當ノ條件ヲ具備セザルモノハ不支給ノ旨通知スルコト

五、他府縣所屬ノ被保險者ノ助産ノ手當ヲ爲シタルモノヽ料金請求書ヲ受ケタルトキハ被保險者ノ屬スル府縣廳ノ助産手當受給資格證明書ニ依リ審査ヲ行ヒ本縣ニ於テ契約セラレタル料金ヲ標準トシテ支給決定ノコト

六、被保險者通常分娩ノ場合ニ於テ保險醫ノ助産ノ手當ヲ受ケタル場合ノ料金ノ支拂ハ契約書ノ料金ニ從ヒ決定スルコト

九、産院收容及保險醫ノ助産手當受給屆ノ項

第五十八條　産院收容及保險醫ノ助産手當受給屆（縣令）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號、番號、氏名、工場、事業場又ハ事務所ノ所在地、名稱資格取得ノ年月日等ニ相違ナキヤヲ確メタル後本屆ニ記載ヲ要スベキ事項ニ付記載洩ナキヤ否ヤヲ調査シ保險醫ナリヤ否ヤニ付保險醫名簿ト照合ノ上各種記載事項中誤謬アリタルトキハ便宜訂正ヲ爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ヲ爲スコト

二、內容審査

イ、現症及保險醫ノ助産手當ヲ必要トシタル事由ニ着眼シ本症狀ガ療養給付ニ屬スルモノナリヤ又ハ助産手當ニ屬スルモノナリヤニ留意ノコト

ロ、決定ニ關シテハ醫師會ノ意見ヲ徵スルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シタルトキハ樣式第七號ニ依リ承認書ヲ作製決裁後文書班ニ廻附スルコト

四、不承認ノ決定

本屆ニシテ不承認ヲ爲スベキモノハ其ノ旨被保險者ニ通知ノコト

十、産院收容及保險醫ノ助産手當料金請求書ノ項

第五十九條　産院收容及保險醫ノ助産手當料金請求書ヲ受ケタル場合ハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、審　査

産院收容ノ承認期間ニ對シテハ被保險者臺帳ト對照シ保險醫ノ助産手當請求書ニ對シテハ助産手當受給屆ノ原議ニ依リ其ノ內容ヲ對照スルコト

二、決　定

産院收容ニ在リテハ本縣決定ノ入院料ニ準ジ料金ヲ決定シ、助産手當ノ請求書ニ關シテハ日本醫師會健康保險診療報酬點數計算規程ニ準據スルノ外醫師會ノ意見ヲ徵シ支給金額ヲ決定シ會計班ニ廻附ノコト

十一、保險醫以外ノ醫師ノ診療承認申請書ノ項

第六十條　保險醫以外ノ醫師ノ診療承認申請書（施行規則第五十四條）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號番號及氏名、工場事業場又ハ事務所ノ名稱ニ相違ナキヤヲ確メタル後本申請書記載事項中傷病名、發病又ハ負傷ノ年月日原因、業務上外ノ別傷病ノ經過、診療ヲ受ケムトスル醫師又ハ齒科醫ノ氏名及住所、保險醫以外ノ醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケムトスル事由、又傷病ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所及之ガ不詳ナルトキハ事業主ノ證明等ノ各欄記載洩レナキヤ被保險者ノ住所氏名捺印ノ有無診療担當醫ハ保險醫ニ非ザルヤ否ヤニ付保險醫名簿ト對照シ申請書記載内容ニ於テ誤謬アリタルトキハ便宜訂正爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、内容審査

イ、本審査ノ着眼點ハ保險醫以外ノ醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受クルコトノ必要アリヤ否ヤノ點ニアリ卽チ被保險者ノ住所等ヨリ考察シ保險醫ノ配置狀態ニ留意スルコト

ロ、保險ノ診療ヲ受ケツヽアリタルモノガ保險醫ニ非ザル者ヲ選定シ來リタルトキハ傷病ノ經過ニ留意スルコト

ハ、傷病ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノト認メラルルトキハ別途調査ヲ行フコト

ニ、醫學的見解ニ就テハ技師ノ意見ヲ徵スルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シ承認スベシト認メラレタルトキハ樣式第八號ニ依リ承認書ヲ作製シ決裁後文書班ニ廻付ノコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ内容ヲ審査シ不承認トスベキモノニ對シテハ其旨被保險者ニ通知スルコト

十二、柔道整復術營業者ノ施術承認申請書ノ項

第六十一條　柔道整復術營業者ノ施術承認申請書ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號番號、工場事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地、被保險者氏名ニ相違ナキヤヲ確メタル後本申請書ノ記載事項中、負傷名、負傷年月日時及其ノ原因、業務上外ノ別、施術ヲ受ケムトスル柔道整復師ノ住所氏名、緊急ナリシコトノ事由、負傷ノ程度並施術ヲ受ケントスル事由施術見込期間及其ノ回數現在診療擔當醫ノ所在地及其ノ氏名、骨折又ハ脫臼ノ施術ニ對スル保險醫ノ同意、負傷ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實及第三者ノ住所氏名被保險者ノ住所捺印業務上ノ場合之ニ關スル事業主ノ證明ニ付調査シ記載事項ニ誤謬アリタル場合ハ便宜訂正ヲ爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、內容審査

イ、柔道整復術師ノ施術ヲ必要トスルヤ否ヤニ付重點ヲ置クコト

ロ、負傷名、負傷ノ程度ヨリ考察シ骨折又ハ脫臼ノ施術ニ非ラザルヤ否ヤ

ハ、ロノ場合ニ該當スル場合ハ保險醫ノ同意アリヤ否ヤ

ニ、現在保險醫ノ診療ヲ受ケツヽアルモノナルトキハ柔道整復術師ノ施術ヲ何故必要トスルヤ

ホ、負傷ノ原因ガ第三者ノ行爲ニ基クト認メラルヽモノハ別途調査ヲ行フコト

ヘ、負傷ノ程度ヨリ考察シ施術ノ期間及施術ノ回數ニ付技師意見ヲ徵シ決定スルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シタル場合ハ樣式第九號ニ依リ承認書ヲ作成決裁後文書班ニ廻付ノコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ內容ヲ審査シ不承認トスベキモノニ對シテハ其旨被保險者ニ通知スルコト

五、追加申請書ノ審査

負傷ノ症狀ノ經過ニ着眼スルコト其ノ他ノ取扱ハ內容審査ノ項ニ同ジ

十三、入院診療及一回二十圓以上ノ手術承認申請書ノ項

第六十二條　入院手術承認申請書（施行規則第五十六條ノ二）ハ原則トシテ被保險者ヨリ診療擔當醫ノ意見ヲ記載シタルモノヲ縣知事ニ提出スルモノナルモ便宜ノ扱トシテ縣醫師會ヲ經由シ屆出ヅベキ取扱ニ付本書ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號番號及氏名、男女別、生年月日、工場事業場又ハ事務所々在地及名稱ニ相違ナキヤヲ確メタル後本申請書ノ記載事項中發病又ハ負傷ノ年月日及原因業務上外ノ別、醫師ノ住所所在地捺印及被保險者ノ氏名捺印ノ各種事項ニ記載洩レ無キヤ否ヤヲ調査シ更ニ入院診療ヲ受ケタキ希望ノ醫師ガ保險醫ナリヤ否

ヤ保險醫名簿ト對査スルト共ニ縣醫師會側ノ入院所要日數及手術ノ事項ニ付キ意見添付ノ有無ヲ調査シ意見添付無キ場合ハ縣醫師會ニ附箋照會樣式第十號ヲ爲スコト、シ申請書記載事項ニ誤謬アリタル場合ハ便宜訂正爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、內容審査

イ、內容審査ハ傷病名ト現症及入院診療ヲ必要トスル事由ニ重點ヲ置クモノトシ更ニ傷病名ヨリ考察シ發病又ハ負傷ノ年月日ト資格取得ノ年月日ヲ睨ミ合セ其ノ間不合理ナキヤ否ヤヲ審査スルコト

ロ、被保險者臺帳ノ給付記錄ト照合シ該疾病ガ期間滿了ニ渉ラザルヤ否ヤ調査スルコト

ハ、入院期間及手術ノ必要ノ有無ニ關シテハ醫師意見ノ日數ト醫師會ノ意見トシテノ日數及別ニ規定シタル承認日數標準表ヲ參考トシ技師ノ意見ヲ徵シ之ガ決定ニ當ルコト

ニ、發病又ハ負傷ノ原因ニ關シテハ其ノ事由ニ留意シ若シ第三者ノ行爲ニ因ル場合ト認メタルトキハ其ノ旨別途屆出セシムルカ又ハ照會ヲ爲スコト

ホ、本申請ハ入院又ハ手術ノ事前ニ因ルモノナリヤ或ハ事後ニ屬スルモノナリヤニ付留意シ症狀ヨリ考察シ緊急ノ場合ニ非ザルモノニシテ事後承認ノモノニ對シテハ擔當保險醫及被保險者ニ對シ注意ヲ喚起スルコト

三、決定

以上ノ審査ヲ了シ入院日數ノ決定又ハ手術ノ承認ヲ爲スモ支障ナシト認メタルトキハ本書ニ承認日數又ハ承術不承認ノ有無ヲ記載シ樣式第十一號ニ依リ複寫ヲ以テ醫師會其ノ他官公立病院ニ通知書ヲ作製スルト共ニ承認書ヲ作製決裁後文書班ニ廻付ノコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ內容ヲ審査シ承認ノ必要ナシト認メタルトキハ樣式第十二號ニ依リ其ノ旨被保險者ニ通知ノコト

五、追加申請書ノ審査

イ、追加申請書ノ場合ニ在リテハ前回ノ申請書ニ記載セラレタル症狀ト今回ノ申請ニ依ル症狀トテ照シ合セ病症ノ變化等ニ關シ着眼スルコト

ロ、前回ノ承認日數ト今回申請日數トヲ合計シ考察ヲ行フコト

ハ、醫師會ノ意見トシテノ日數及申請日數ヲ比較シ技師意見ヲ徵シ決定スルコト

ニ、百八十日ノ療養期間ヲ經過シタルモノ、取扱

法定期間タル百八十日ヲ經過シタルモノ、取扱ニ付テハ延長診療ノ認定ヲ爲シタルコトアリヤ否ヤニ付調査シ審査ヲ始ムルコト

十四、看護婦附添承認申請書ノ項

第六十三條　看護婦附添承認申請書（施行規則第五十六條ノ二）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號番號及氏名、工場事業場又ハ事務所ノ名稱ニ相違ナキヤヲ確メタル後本申請書ニ記載セラルベキ事項中發病又ハ負傷年月日、傷病ノ原因、業務上外ノ別醫師又ハ齒科醫師ノ意見欄ニシテ傷病名看護ヲ要スル日數、看護ノ給付ヲ必要ト認ムル事由、費用見積額、診療所々在地氏名捺印ノ各事項ニ記載洩ナキヤ否ヤヲ調査シ記載事項ニ誤謬アリタルトキハ便宜訂正爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

以上ノ內容ヲ審査シタル後看護附添ノ可否ニ付縣醫師會ノ意見ヲ徵スルコト

二、內容審査

イ、本審査ハ被保險者入院ヲ爲シ症狀重態ニシテ而モ不絕其ノ經過ヲ監視シ又ハ隨時適當ナル處置ヲ執ル必要アリテ看護婦等ヲ附添ハシムルニ非ラザレバ療養困難ナル狀況ニアルヤ否ヤヲ主眼トシ決定スルコト

ロ、費用ノ見積額トシテ看護婦一日ノ看護料金ニ對シ看護婦會トノ協定料金ノ範圍內ナリヤ否ヤニ付調査スルコト

ハ、入院承認ノ有無及期間ニ對シ被保險者臺帳ノ記載事項ト對照シ醫師會ヨリノ意見ヲ參考トシ更ニ技師意見ヲ徵シ承認日數ヲ定ムルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シ看護承認日數ヲ決定シ樣式第十三號ニ依リ承認書ヲ作製シ決裁後文書班ニ廻付ノコト

此ノ場合ニ於テ申請書ニ記載セラレタル看護婦一日ノ附添料見積額ガ協定料金以上ノ場合ハ協定料金ヲ通知シ其範圍內ニ於テ支給セラルベキ旨ヲ附記スルコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ內容ヲ審査シ承認ノ必要ナキモノニ對シテハ其ノ旨被保險者ニ通知ノコト

五、追加申請ノ取扱

入院ノ追加申請ノ取扱ニ準ズルコト

十五、看護料請求書ノ項

第六十四條　看護料請求書ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、審査及決定

イ、被保險者臺帳及承認原議ト對査シ承認ノ有無ヲ調査スルコト

ロ、證憑書類ニ對シ看護期間及看護料金ガ承認ノ範圍内ナリヤ否ヤヲ調査スルト共ニ食事寢具車馬賃等ニ付内容ヲ調査スルノ外請求者ガ正當債主ナリヤ否ヤニ留意シ適正ト認メタルトキハ支拂金額ヲ決定シ會計班ニ廻付スルコト

十六、移送承認申請書ノ項

第六十五條　移送承認申請書（施行規則第五十六條ノ二）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號及番號工場事業場又ハ事務所ノ名稱被保險者ノ氏名ニ相違ナキヤ否ヤヲ確メタル後申請書ノ記載事項中發病又ハ負傷ノ年月日、傷病ノ原因業務上外ノ別醫師又ハ歯科醫師ノ意見欄ニシテ傷病名移送年月日、移送ヲ必要ト認ムル事由移送ノ方法及區間費用見積額、醫師ノ所在地、氏名捺印ノ各種事項ニ記載洩レナキヤ否ヤヲ調査シ記載事項ニ誤謬アリタルトキハ便宜訂正ナシ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、内容審査

イ、移送ヲ必要ト認ムル事由ニ關シテハ其ノ傷病ノ症狀ノ如何ニヨリ可否ヲ決定スルコトニ着眼スルモノトシ技師意見ヲ徴スルコト

ロ、發病又ハ負傷年月日及傷病ノ原因業務上外ノ別ノ三點ヲ睨ミ合セ移送ノ區間ニ留意シ本移送ハ工場法施行規則第十四條鑛夫勞役扶助規則第二十四條ニ依リ事業主ノ負擔スベキモノニ屬セザルヤヲ調査スルコト

ハ、費用ノ見積額ニ對シテハ症狀及環境ニ留意シ移送ノ方法ヲ調査シ費用ノ適否ヲ考察スルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シ移送ノ必要アリト認メラレタルトキハ樣式第十四號ニ依リ承認書ヲ作成シ決裁後文書班ニ廻付ノコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ内容ヲ審査シ承認ノ必要ナキモノニ對シテハ其ノ旨被保險者ニ通知ノコト

十七、移送費請求書ノ項

第六十六條　移送費請求書ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、審査及決定

イ、被保險者臺帳及承認原議ト對照シ承認ノ有無ヲ調査スルコト

ロ、證憑書類ニ對シ移送ノ回數及金額ガ承認ノ範圍内ナルヤ請求者ガ正當債主ナリヤ否ヤヲ調査シ適正ト認メタルトキハ金額ヲ決定シ會計班ニ廻付ノコト

十八、延長診療認定申請書ノ項

第六十七條　延長診療認定申請書（施行規則第五十六條ノ三）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號番號氏名工場事業場名、療養給付開始ノ年月日及病名從來迄ノ診療擔當者ノ氏名ト對照ヲ行ヒ相違ナキヲ確メタル後本申請書ノ記載事項中醫師意見欄ノ初診年月日本病ノ症狀經過、保險醫ノ氏名及住所各欄ヲ調査シ記載事項中誤謬アリタルトキハ便宜訂正ナシ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、內容審査

イ、本審査ハ結核性疾病ト認メタル主症狀並ニ其ノ經過ニ付重點ヲ置キ結核性疾病トシテ取扱支障ナキヤ否ヤニ着眼スルコト

ロ、本疾病ノ療養給付開始ノ年月日ヨリ起算シ延長診療トシテ取扱フコトノ可否ニ付調査ノコトハ、本疾病ニ對スル療養給付ヲ始メタル日前百八十日以上引續キ被保險者タリシ者ナリヤ否ヤニ、病名ヨリ考察シ結核性トシテ取扱フコトノ可否ニ關シテハ技師ノ意見ヲ徵スルコト若シ書面審理ノミニテハ判定ナシ難キトキハ檢診ヲ行フコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シ認定支障ナシト認メタルトキハ樣式第十五號ニ依リ認定書ヲ作製シ決裁後文書班ニ廻付ノコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ內容ヲ審査シ承認ノ必要ナキモノト認メタルトキハ樣式第十六號ニ依リ其ノ旨通知ノコト

第六十八條　世帶員診療（延長）承認申請書ノ項

意見ヲ徵シ處理ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者ノ記號番號、及氏名ニ相違ナキヤヲ確メタル後申請書ノ記載事項中世帶員ノ氏名、生年月日、被保險者トノ續柄同一ノ世帶ニ屬シタル年月日、及專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル狀態、療養ノ給付開始年月日、發病又ハ負傷ノ年月日及原因、醫師意見欄ニ記載セラルベキ傷病名初診年月日、入院見込期間、處置手術ノ種類、費用見積額ノ內譯及現症並ニ診療ヲ必要トスル詳細ナル事由診療所々在地保險醫氏名記入捺印、專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持セラルヽ世帶員タルコトノ事業主證明、事業主住所氏名印診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名住所、醫師又ハ齒科醫師ガ保險醫ニ非ラザルトキハ其ノ事由ノ各項ニ

付調査シ記載事項中誤謬アリタルトキハ便宜訂正ナシ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、內容審査

イ、療養開始日前一年以上引續キ被保險者タリシ資格アリヤ

ロ、專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持セラレタリシ者ナリヤ否ヤニ重點ヲ置クコト

ハ、診療ヲ受ケントスル世帶員ト被保險者トノ續柄及同一ノ世帶ニ屬シタル年月日此ノ場合ニ於テハ發病又ハ負傷ノ年月日ト其ノ世帶ニ屬シタル年月日トヲ對照シ考察ヲ行フコト

ニ、傷病名及其ノ症狀ヨリ考察シ入院又ハ處置手術ノ必要ノ有無ニ關シテハ醫師意見ト醫師會ノ意見トヲ對比シ更ニ技師ノ意見ヲ徵シ適正ナル決定ヲ爲スコト

處置手術ニ關シテハ契約書第三條ニ依ル世帶員診療料金表ヲ參照ノ上費用ノ見積ノ適否ヲ調査スルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シ入院日數ノ決定又ハ處置手術ノ承認ヲ爲スモ支障ナシト認メタルトキハ樣式第十七號ニ依リ複寫ヲ以テ醫師會其ノ他公立病院ニ對スル通知書並ニ承認書ヲ作製決裁後文書班ニ廻付ノコト

四、不承認ノ決定

申請書ノ內容ヲ審査シ承認ノ必要ナキト認メタルトキハ樣式第十八號ニ依リ其ノ旨被保險者ニ通知ノコト

五、追加申請書ノ審査決定

入院ノ場合ノ取扱ニ同ジ

六、延長承認ノ取扱

世帶員ノ延長診療ニ就テハ本項內容審査ノ取扱ニ準據シ審査ヲ了シタル上被保險者延長診療ノ取扱ノ內容審査ノ項中イ、ロ、ニノ事項ノ審査ニ同ジ

二十、補給金請求書ノ項

第六十九條　補給金請求書（施行規則第五十六條ノ五）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、審　査

イ、被保險者臺帳及承認原議ト對査シ承認ノ有無及承認セル入院日數或ハ處置手術ニ付請求書內容ト對査ノコト

ロ、保險醫ノ取扱ニ對シテハ縣醫師會ニ於ケル査定ガ適正ナリヤ否ヤ保險醫以外ノ分ニ對シテハ診療ノ內容ニ付調査シ世帶員診療料金表ヲ參照ノ上其ノ適否ヲ決定スルコト

二、決　定

以上ノ審査ヲ了シタルトキハ樣式第十九號ニ依リ被保險者ニ對シ決定通知書ヲ作製ノ上本請求書ヲ一括會計班ニ廻付ノコト

二十一、療養所入所診療承認申請書ノ項

第七十條　療養所入所診療承認申請書ヲ受ケタルトキハ醫師ノ診斷書及身元引受書ノ添付ノ有無ヲ調査シ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號番號氏名、生年月、工場事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地ニ相違ナキヤ否ヤヲ確メタル後本申請書記載事項中發病年月日及原因療養ノ經過醫師意見欄ノ各記載事項、保險醫氏名等ヲ審査シ誤謬アリタルトキハ便宜訂正ヲ爲シ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ照會ノ手續ヲ爲スコト

二、內容審査

イ、本申請書ニ記載セラレタル發病年月日ト被保險者臺帳ノ給付支給事項ニ記載セラレタル發病年月日ヲ對照シ法定期間滿了セザルモノナリヤ否ヤニ付調査ヲ行ヒ更ニ入所療養ヲ必要トスル見込日數ヲ調査シ若シ延長給付申請ノ必要アル場合ハ其ノ旨通知ノコト

ロ、申請書記載ノ現症及診斷書記載ノ現在症狀トヲ考察シ入所必要ナリヤ否ヤノ點ヲ審査スルコト、シ技師意見ヲ徵シタル後入所ノ可否ヲ決定ノコト

三、療養所設置府縣トノ連絡

入所セシムルコトヲ必要ト認メタルトキハ療養所設置府縣ニ對シ入所セシムル病床アリヤ否ヤニ付照會ヲ爲スコト

四、入所決定手續

入所差支ナキ回答アリタル場合ハ入所診療承認書二通ヲ作製シ其ノ旨被保險者ニ通知ノ手續ヲ爲スト共ニ被保險者ノ住所出發ノ日時ヲ照會シ其ノ結果ニ基キ療養所設置アル府縣ニ入所日附ヲ通知ノ手續ヲ爲スコト

本書ハ決裁後文書班ニ廻付ノコト

五、不承認ノ決定

申請書及診斷書記載ノ症狀ヨリ觀察シ入所ノ要ナキモノナルトキハ其旨被保險者ニ通知ノコト

六、移送費ノ取扱

移送ノ區間及乘物ノ別並ニ其ノ賃金ニ對シ調査シ承認書ヲ交付ノコト

移送ノ爲メ看護婦ノ附添ヲ要スルモノニ就テハ特ニ其症狀ニ着眼スルコト

二十二、歯科補綴承認申請書ノ項

第七十一條　歯科補綴承認申請書ニ意見ヲ求メラレタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者ノ記號番號及氏名生年月、勤務工場事業場ノ所在地各欄ニ相違ナキヤヲ確メタル後保險歯科醫名簿ト對照スルコト

二、内容審査

イ、補綴ノ範圍ニ屬スルヤ否ヤヲ調査スルコト

ロ、被保險者臺帳ノ給付記錄ト對照シ既ニ補綴ヲ承認シタルコトアルモノニ對シテハ一ケ年ノ責任期間ヲ經過シ居ルヤ否ヤ

ハ、今回行ハントスル補綴ノ歯牙中抜歯ノモノニ對シテハ既ニ抜歯ノ給付ヲ爲シタルコトナキヤ否ヤヲ確ムルコト

ニ、申請書記載ノ見積點數ニ對シテハ點數計算規程ヲ參照シ其ノ適否ヲ審査スルコト

ホ、技術的方面ニ關シテハ囑託醫ノ意見ヲ徴スルコト

ヘ、其ノ他ニ關シテハ各種通牒ヲ參照シ決定スルコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シタルトキハ申請書ニ適否ノ意見ヲ附シ決裁後文書班ニ廻付ノコト

四、十圓以上ノ歯科診療承認申請書

料金表外歯科診療承療申請書

右申請書ノ意見ヲ求メラレタルトキハ歯科補綴承認申請書ノ審査内容ニ準ジ之ヲ行フコト

二十三、歯科特別補綴承認申請書ノ項

第七十二條　歯科特別補綴承認申請書ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號番號及氏名生年月工場所在地各欄ニ相違ナキヤヲ確メタル後保險歯科醫名簿ト對照スルコト

二、内容審査

イ、特補トシテ規定セラレタル範圍ニ屬スルヤ否ヤニ付調査スルコト

ロ、補綴ヲ要スベキ歯牙ニ對シ臺帳ノ給付記錄ヲ調査シ既ニ補綴シタルコトナキヤ抜歯ヲナシタル歯牙ナリヤ否ヤ抜歯ヲ行ハムトスル歯牙ニ對シ既ニ、抜歯ノ給付ヲ然シタルコトナキヤニ付調査スルコト

ハ、申請書記載ノ見積點數ニ對シテハ健康保險診療報酬點數計算規程ヲ參照シ其ノ適否ヲ審査ス

ルコト

ニ、技術的方面ニ關シテハ囑託醫ノ意見ヲ徵スルコト

ホ、其ノ他ニ關シテハ社發第四四七號ノ通牒ニ從ヒ處理ヲ爲スコト

三、決　定

以上ノ審査ヲ了シ承認支障ナシト認メタルトキハ樣式第二十號ニ依リ復寫ヲ以テ保險醫ニハ承認書ヲ縣醫師會ニハ通知書ヲ作製シ決裁後文書班ニ廻付ノコト

四、不承認ノ決定

特補ノ條件ニ包含セラレザルモノハ不承認ト決定シ其ノ旨保險醫及齒科醫師會ニ各々通知ノコト

第七十三條　齒科特別補綴料金請求書ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

二十四、齒科特別補綴料金請求書ノ項

一、審　査

イ、齒科特別補綴承認申請書ノ原議ト保險齒科醫別請求書ノ內容ヲ對査シ承認通リ實施セルヤ請求書記載ノ點數ト申請書記載ノ點數ト一致セルヤ否ヤニ留意シ審査ヲ行フコト

ロ、齒科醫師會ヨリ提出ノ何月分特補診療點數調書ニ對シテハ齒科保險醫各自ヨリ提出ノ報酬請求書ニ依リ請求枚數及點數ヲ調査シ該調書ト相違ナキヤヲ確ムルコト

ハ、齒科醫師會ヨリ提出ノ特別齒科補綴診療報酬請求書ニ對シテハ前號ノ點數調書ノ合計點數ト本請求書ニ記載セラレタル請求總點數トヲ比較シ該點數ニ前々月全國平均一點單價ヲ乘ジテ得タル額カ請求金額ト一致スルヤ否ヤヲ確メ支給金額ヲ決定スルコト

四、決　定

以上ノ審査ヲ了シ支給決定支障ナシト認メタルトキハ樣式第二十一號ノ支拂調書ヲ作製シ會計班ニ廻付ノコト

二十五、第三者ノ行爲ニ因ル傷病屆ノ項

第七十四條　第三者ノ行爲ニ因ル傷病屆(施行規則第五十二條)ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、形式審査

被保險者臺帳ト照合シ被保險者證ノ記號番號氏名、工場事業場又ハ事務所ノ名稱及所在地ニ相違ナキヤヲ調査シ本屆ノ記載事項中發病又ハ負傷ノ年月日發病又ハ負傷ノ狀況、診療開始年月日診療ヲ受ケタル保險醫ノ住所氏名並ニ疾病又ハ負傷ガ第三者ノ行爲ニ因ル事實ノ要旨第三者ノ氏名及住所(氏名及住所不詳ナルトキハ其ノ旨)ノ各欄及屆出年月日被保險者住所氏名捺印ノ各種事項ニ記載洩レナキヤ否ヤヲ調査スルコト

二、內容審査

イ、本審査ハ疾病又ハ負傷ノ狀況ヨリ考察シ加害者タル第三者ニ對シ損害賠償ノ權利ヲ行使シ得ルヤ否ヤニ着眼スルコト

ロ、損害賠償ノ權利ヲ行使セントスル場合ハ本傷病ガ第三者ノ行爲ニ基キ其ノ責任ノ歸屬ガ第三者ニ因ルモノナルコト瞭ナル場合ナルトキ

ハ、本審査ハ書面審理ノミニテハ決定ナシ難キモノ多キヲ以テ能フ限リ實地調査ヲ行ヒ正鵠ヲ期スルコト

ニ、求償ノ可否又ハ本件ノ取扱ニ關シテハ各種通牒ヲ參照ノ上決定ノコト

三、決　定

第三者ニ對シ損害賠償ヲ行ハントスル場合ハ被保險者ニ對シテ爲シタル給付ノ金額ヲ調査シ求償スベキ事實ノ內容ヲ記載シタル損害賠償調書ヲ作製シ決裁後調定班ニ廻付ノコト

四、其ノ他ノ取扱

各種手當金及療養費、入院其ノ他醫療給付一切ノ書類ニシテ傷病ノ原因ガ第三者ノ行爲ト看做ルヽモノニ對シテハ本取扱ニ準シ本屆出ノ有無ニ不拘調査ノコト

二十六、官公立病院診療料金請求書ノ項

第七十五條　官公立病院ヨリノ診療料金請求書ヲ受ケタルトキハ請求書ノ內容ヲ審査スルニ先立チ一

應報酬報告書ノ內容ヲ調査シ臺帳班ニ廻附ノ上從前ノ給付記錄ヲ調査シ重複請求又ハ法定期間滿了或ハ給付外ノ疾病ニ非ザルヤ否ヤヲ調査シタル後、左ノ手續ヲ爲スベシ

一、內容審査

イ、診療報告書ニ記載セラレタル病名ヨリ考察シ診療內容ガ健康保險診療方針ニ適合スルヤ否ヤヲ審査スルコト

ロ、被保險者別ニ診療料金ガ適正ナルヤ否ヤニ就テハ官立病院ニ於テハ診療料金ノ七割ニ相當スルヤ否ヤニ付公立病院ニ在リテハ健康保險診療報酬點數計算規程ヲ參照シ契約料金ノ一點單價ヲ乘シテ計算ヲ行フコト

ハ、入院ニ關シテハ入院承認申請ノ原議及被保險者臺帳ト照合シ他府縣所屬ノ被保險者ニ對シテハ當該府縣ヨリノ通知書ト對査スルコトルコト

二、決　定

以上ノ審査ヲ了シタルトキハ被保險者各別ノ料金ヲ集計シ合計金額ヲ算出シ請求總額ト合致スルヤ否ヤヲ調査シ不備ノ箇所アル場合ハ請求書ヲ返戻訂正セシメ支給金額ヲ決定シ會計班ニ廻付ノコト

三、月報及年報ノ資料作製

（一）　診療報告書ノ處理

イ、月報資料ノ作製ニ必要ナル爲メ診療報告書ノ上欄ニ診療費ヲ記載シ診療報告書ヲ業務上外ニ區分シ診療件數日數及金額ヲ算出スルコト

ロ、年報作製ノ必要上報告書ヨリ男女別ニ區分シ日數、件數、金額ヲ算出集計スルコト

（二）　診療料金請求書ノ處理

イ、診療料金請求書ヨリハ診察料、處置料、手術料ノ回數及金額（官立病院ニ於テハ請求書ノ記載金額ノ七割相當額トシ以下同ジ）ヲ集計シ更ニ入院及入院外ニ區分シ算出ノコト

ロ、藥治料ニ付テハ日數金額ヲ集計シ更ニ入院、入院外ニ區分シ算出ノコト

ハ、入院料ニ在リテハ日數金額ヲ集計算出シ入院外ニ區分シ集計算出ノコト

ニ、其ノ他ニ在リテハ回數又ハ日數及金額ヲ集計シ更ニ入院、入院外ニ區分シ集計算出ノコト

右各項ヲ處理シタルトキハ月報、年報、作製ノ資料トシテ臺帳班ニ廻付ノコト

二十七、第五十五條該當者ノ項

第七十六條　法第五十五條該當者ノ通知ヲ資格班ヨリ受ケタルトキハ當該保險醫ニ對シ例文第二十二號ニ依リ通知書ヲ作製シ決裁後文書班ニ廻付スベシ

第七十七條　醫療班ニ於テ處理シタル各種書類ニ對シ關係各係各班ニ於テ夫々必要事項ヲ處理濟トナリタル原議返還アリタルトキハ各書類ノ種別ニ區分シ表紙ヲ附シ一括編綴スルモノトシ承認簿ヲ作製スベキ規程アルモノニ對シテハ編綴セル原議ヲ以テ之ニ代ラシムルモノトス

第七節　給付係現給班關係

一、傷病手當金請求ノ項

第七十八條　傷病手當金請求書（施行規則第五十七條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受付件數ヲ記載シタル後左ノ手續ニ依リ處理スベシ

一、請求書ヲ臺帳班ニ廻付シ被保險者臺帳（以下單ニ臺帳ト稱ス　ヲ添付セシメ左ノ順序ニ依リ處理スルコト

審　査

審査ハ形式審査ト內容審査ニ區分シ形式審査トハ請求書ノ各種記載事項ニ對スル適否內容審査トハ其ノ記載事項ヲ臺帳並ニ醫師意見ト照合シ內容ニ對シ審査スルヲ謂フ

（イ）　形式審査

形式審査トシテ行フベキモノハ大體ニ於テ左ノ事項ニ區分シ審査スルコト

1、傷病又ハ負傷年月日記載ノ有無

2、傷病ノ原因記載ノ有無
3、業務上外ノ別記載ノ有無
4、標準報酬等級記載ノ有無
5、傷病名記載ノ有無
6、勞務ニ服スルコト能ハザリシ期間記載ノ有無
7、被保險者證ノ記號番號記載ノ有無
8、工場事業場又ハ事務所ノ名稱記載ノ有無
9、被保險者ノ業務ノ種別記載ノ有無
10、被保險者ノ住所氏名記載ノ有無及被保險者、被保險者死亡ノ場合ハ相續人又ハ遺產相續人（請求人）捺印ノ有無
11、醫師又ハ齒科醫師ノ意見記載又ハ意見書添付ノ有無
12、勞務不能ト認メタル期間及診療實日數記載ノ有無
13、勞務不能ト認メタル主症狀並ニ其ノ經過ノ概要其ノ他參考事項記載ノ有無
14、醫師ノ診療所々在地氏名ノ記載及捺印ノ有無
15、勞務ニ服セザリシ期間ニ關スル事業主ノ證明記載及住所氏名捺印ノ有無事業主代理人ヲ以テ證明セル場合ハ事業主代理人名簿ト照合スルコト
16、事業主ノ業務上ノ證明記載及氏名捺印ノ有無、業務上ノ場合ニシテ第一回目ノ請求ニ限リ必要ノモノナリ

以上ノ調査ヲ了シ其ノ記載事項ニ輕微ナル誤謬アリタルトキハ各擔當者ニ於テ便宜訂正スルコト若シ訂正ナシ能ハザルモノニ對シテハ樣式第二十三號ノ附箋用紙ヲ以テ照會スルコト

（ロ）內容審查

內容審查ハ被保險者臺帳ニ依リ一應照合スルコト

（一）被保險者臺帳ニ依リ照合スベキ事項

1、本請求書ガ何回目ノ請求ナルヤニ付臺帳ノ給付內容ト照合シ重複支給ヲ爲サザル樣注意スルコト
2、被保險者證ノ記號番號
3、被保險者ノ氏名及工場事業場又ハ事務所ノ名稱
4、被保險者ノ業務ノ種別
5　發病又ハ負傷ノ年月日ト傷病名

6、標準報酬等級
7、發病又ハ負傷ノ年月日ト資格取得年月日
8、資格喪失後ノ請求ニ在リテハ法第五十五條ノ該當者ナリヤ否ヤ
9、繼續シテ報酬ヲ受クルモノナリヤ否ヤ
10、法第六十二條第一項第一號乃至第四號ノ該當者ナリヤ否ヤ
11、病院收容ノ有無

以上十一項ヲ臺帳ト照合シタル後誤謬ヲ發見シタルトキハ便宜訂正ナシ得ルモノハ之ヲ行ヒ訂正ナシ能ハザルモノハ樣式第二十三號ニ依リ照會スルコト

第四項ノ業務ノ種別ニ於テハ本人ノ業務ノ內容ハ日常如何ナルコトヲ爲スベキモノデアルカヲ探究スルコト

第五項ノ發病又ハ負傷年月日ト傷病名ニ就テハ其ノ傷病名ト發病ノ年月日ト比較考察スルコト

第七項ノ發病又ハ負傷年月日ト資格取得年月日ノ接近シテ居ル場合ハ全部ニ對シ注意ヲ拂フベキハ勿論ニシテ特ニ慢性病又ハ工場法令ノ就業禁止規定ニ該當スルモノニ對シテハ格別ノ調査ヲスルコト

第九項ノ繼續シテ報酬ヲ受クルモノナリヤ否ヤニ就テハ施行令第五條第一項第一號及第二號ノ「年ニ依リ報酬ヲ定メタルモノ」及「月ニ依リ報酬ヲ定メタルモノ」ニ注意スルト共ニ縣ノ告示ニ依ル食事ノ利益及住宅ノ利益被服ノ利益ノ有無ヲ調査シ若シ右ニ該當ノモノハ決定額ヨリ其分ヲ控除スルコト

第十一項ノ病院收容ノ有無ニ就テハ被保險者ノ記載シタル入院期間ト臺帳ニ記載セラレタル期間ノ對照ヲ行ヒ專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ人員及被保險者トノ續柄收入等ニツキ調査ヲ爲シ該當ノモノアラバ令第七十九條ノ規定ニ從ヒ支給額ヲ定ムルコト

次ニ本人ノ請求タル「勞務不能期間」ト醫師ノ「勞務不能ト認メタル期間」及事業主ノ「勞務ニ服セザリシ期間」ノ三點ヲ比較對照シ若シ其ノ三點ノ期間ニ相達アラバ其ノ相違ノ原因ヲ探究スルコト

(二)　保險醫ノ休業意見ニ對スル考察

傷病手當金ノ支給決定ハ醫師意見ヲ唯一無二ノ決定資料ト爲スヲ以テ特種ノ事情ノ存在セザル限リ一應醫師意見ノ期間ヲ以テ支給決定ノ期間トスルコト

次ニ醫師ノ勞務不能ト認メタル主症狀及經過ノ概要ト勞務不能ト認メタル期間及傷病名ノ三點ヲ更ニ結ビツケテ考察スルコト

1、疾病ノ場合ニアリテハ病名ヨリ觀察シテ慢性ナリヤ短期疾病ナリヤニ着眼スルト共ニ業

務ノ種別ヲ考察スルコト

2、負傷ノ場合ニアリテハ負傷部位及負傷ノ程度ニ着眼スルト同時ニ業務ノ種別ヲ考察スルコト

註　負傷ノ原因ニツキ第三者ヨリノ傷害ト認メラレタルトキハ法第六十七條ノ規定ニ基キ第三者ノ行爲ナリヤ否ヤノ點ヲ調査スルコト

3、傷病ニツキ自覺的症狀ノミヲ訴エ他覺的ノ所見ナキモノハ一應實地調査ヲ爲スコト

4、保險醫ノ意見書ヲ考察シ初診時ノ症狀ノミニシテ經過記載無キモノ或ハ症狀簡單ニシテ決定上支障アルモノハ症狀照會又ハ實地調査ヲ爲スコト

（三）同一傷病ニ非ザルヤ否ヤノ審査

臺帳ノ療養給付記載事項ヲ調査（別途同一系統ト認メラルヽ傷病別參照）シ技師又ハ囑託醫ノ意見ヲ徵スルコト本疾病ガ既ニ期間滿了ノ場合ハ療養ノ給付期間滿了ト同時ニ傷病手當金ヲ打切ルコト但シ結核性疾患ニシテ延長承認アリタルモノハ（臺帳裏面療養ノ給付欄ノ備考ニ承認ノ有無記載シアリ）更ニ療養ノ給付ヲ延長セラルヽヲ以テ其ノ療養給付期間中ハ百八十日ニ達スル迄支給ノコト

（四）請求書記載ノ被保險者ノ住所ガ意見ヲ附シタル醫師ノ住所ト著シク距離アル場合

傷病名ヨリ觀察シ被保險者ノ居住所附近ニ專門醫アリヤ否ヤ

遠距離ノ保險醫ノ診療ヲ受ケタル動機等着眼スルコト

（五）操休工場又ハ代書人取扱ノモノニ對スル審査

事業主ノ都合ニ依リ一時事業休止又ハ短操シタル工場ノ被保險者ヨリノ請求ニ對シテハ既往症狀ヲ一應調査シ自宅ニ於ケル動靜ヲ調査ノコト

代書人ノ取扱書類ハ責任ナキ爲不當ノモノ多キニ付充分注意ノコト

（六）歸鄉療養者ニ對スル取扱

1、歸鄉療養者ニ對シテハ保險醫ニ對シ傷病治癒ノ日及勞務可能ノ日ヲ能フ限リ照會ノコト（樣式第二十四號）

2、右照會ニ對シテ不審アル場合ハ其廳府縣ニ動靜ヲ照會ノコト（樣式第二十五號）

3、歸鄉ヨリ出發シタル日及工場ニ歸場ノ日竝ニ就業シタル日ニ對シ事業主ニ照會ノコト（樣式第二十六號）

（七）職業性疾患及業務上外ノ區分判定

職業性疾患及業務上ナリヤ業務外ナリヤニ關シテハ技師又ハ囑託ノ意見ヲ徵シ決定ノコト（社會局保險部編纂疑義事項解釋七十八頁參照）

註　業務上疾患トシテ取扱フベキ種類（大正五年八月九日、商第五八八七號通牒）

1、砒素砒素化合物水銀化合物燐化合物チアン水素酸チアン化合物其ノ他毒性又ハ劇性料品ヲ取扱フ業務ニ於ケル其ノ中毒諸症及業務ノ過程ニ於テ發性シタル毒性又ハ劇性物質ニ因ル中毒諸症

2、業務上使用スル鑛酸苛性アルカリー「クロール」「フルオール」フルオール化合物クロール化合物テール其ノ化腐蝕性又ハ刺戟性料品ニ因ル腐蝕又ハ潰瘍

3、生糸工ノ手指蜂窩織炎研磨工ノ水疹及業務上使用スル「テール」「セメントチ」チアン化合物等ニ因ル皮膚濕疹

4、業務ニ因ル筋ノ强直痙攣斷裂腱鞘炎關節炎脫腸

5、高熱物體ノ取扱、刺戟性瓦斯又ハ異物ニ因ル結膜炎其ノ他ノ眼病

6、檻樓獸毛革皮及其ノ他古物ヲ取扱フ業務ニ因ル丹毒炭疽ペスト痘瘡

7、前各號列記以外ノ疾病ニシテ業務上ノ疾病ト認メラルルモノ

（八）他ノ法令ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ病院病舍又ハ療養所ニ收容セラレタルモノニ對スル審査

右ハ病名ヨリ考察シテ疑問ヲ生ジタル場合ハ照會スルコト若シ該當者トセバ之レガ入院期間ニ對スル所轄長ノ證明書ヲ添付セシムルコト此場合ハ當然令第七十九條ノ規定ヲ準用スルモノトス

註　傳染病豫防法ニ於テ傳染病ト稱スルハコレラ、赤痢（疫痢ヲ含ム）腸チブス、パラチブス、痘瘡、發疹チブス、猩紅熱、ヂフテリヤ、流行意腦脊髓炎、ペスト、ノ十種トスルガ疑似症ニ對シテハ本法ヲ適用サル、場合アリ

（九）健康保險ノ療養給付ノ範圍ニ屬セザル疾病ノ審査診療方針ニ記載シアル給付外ノ病名ヲ參照ノコト

（十）其ノ他ノ審査トシテハ左記事項ニ着眼スルコト

1、傷病名及傷病原因業務上外ノ三種目ヲ考察シ法第六十條法第六十一條ニ該當スベキモノニ非ザルヤ否ヤニ注意スルコト

2、繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ルモノガ受クルコト能ハザリシ場合ノ請求ニ對シテハ其ノ事由ヲ調査スルコト

（十一）醫師意見書ニシテ記載內容簡略ニ失スルモノ記載症狀ヨリ考察シ休勞長期ニ渉ルト認メラレタルモノ診療日數ヨリ休勞長期ナルモノ等ニシテ判定困難ナルモノニ對シテハ樣式第二十七號ニ依リ照會ノコト

此ノ場合ハ請求書欄外ニ照會ノ旨記載シ置クコト

（十二）書面審査ノミニテハ決定爲シ能ハザルモノニ對スル實地調査ノ要項ハ之ヲ別途定ム

以上調査ヲ了シ支給決定ニ支障ナシト認メタルトキハ決定ノ手續キヲ爲スコト

（ハ）支給金額ノ決定方法

（一）業務上ノモノニ對シテハ其ノ傷病ノ當日ヨリ起算シ支給日數ヲ定メ標準報酬等級ノ六割ヲ右支給日數ニ乘シテ得タル額ヲ支給金額トシ上段支給決定伺欄ニ其ノ金額ヲ記入ス但シ傷病ノ當日又ハ請求期間中賃金ヲ受ケタルヤ否ヤニ注意シ若シ賃金ヲ受給ノ事實アルトキハ其ノ額ガ傷病手當一日ノ決定額ヨリ多キトハ支給セザルコト若シ少額ナルトキハ其ノ差額ヲ支給スルコト

（二）業務外ノ傷病ニシテ第一回目請求ノ場合ハ請求期間ヨリ勞務不能ノ三日間ヲ控除シ支給日數ヲ定メ右日數ニ對シ標準報酬等級ノ六割ヲ乘シテ得タルモノヲ支給金額トシ上段支給決定伺欄ニ其ノ金額ヲ記入ス但シ請求期間中、中途出場等ニヨリ賃金ヲ受ケタル場合ノ取扱ハ前項但シ書ノ決定方法ニ準ズルコト

第二回目請求ノモノニ對シテハ控除ヲ行ハズ

（三）請求期間中繼續シテ報酬ノ全部ヲ受ケタル場合ハ手當金ヲ支給セス報酬ノ一部ヲ受ケタル場合其ノ額ガ手當金ヨリ小ナルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

（四）入院承認又ハ法第六十二條第二項ニ該當スルモノニ對スル金額ノ決定ハ被保險者ニ依リ專ラ生計ヲ維持スルモノナリヤ否ヤニヨリ支給率ヲ決定スルコト

（ニ）決定通知書決定票ノ作製（樣式第二十八號）

決定通知書及決定票（統計作製ノ資料）ハ複寫紙ニ依リ必要事項ヲ記入シ會計班ニ廻付スルコト

（ホ）不支給ヲ爲スベキモノノ取扱

請求書ヲ審査又ハ實地調査等ニ依リ支給ナシ能ハザルモノニ對シテハ樣式第二十九號ニ依リ其旨被保險者ニ通知スルコト

（ヘ）關係官廳トノ連絡（昭和二年七月三十日、勞發第二二五號社會局勞働部長通牒）

業務上ノ事由ニ依ル同一ノ疾病又ハ負傷及之レニ因リ發シタル疾病未治癒ナルモ制限期間百八十日ヲ超エ保險給付ヲ止メタルモノ並ニ其ノ傷病治癒シタルトキニ於テ身體ニ障害ヲ貽シタルモノナルトキハ其ノ旨關係官廳（工場法ノ規定ニ依ルモノハ工場課、鑛業法ノ規定ニ依ルモノハ東京鑛山監督局）ニ別紙ヲ以テ報告スルコト

二、療養費受給屆ノ項（令第七十七條第一項一號ノ場合）

第七十九條　療養費受給屆（施行規則第五十三條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受給件數ヲ記載シタル後左ノ手續ヲ爲スベシ

一、受給屆ヲ臺帳班ニ廻付シ臺帳ヲ添付セシメ左ノ順序ニ依リ處理スルコト

審査

（イ）形式審査

1、傷病名記載ノ有無
2、發病又ハ負傷年月日記載ノ有無
3、傷病ノ原因記載ノ有無
4、業務上外ノ別記載ノ有無
5、傷病ノ經過記載ノ有無
6、保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル事由記載ノ有無
7、醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所記載ノ有無
8、診療又ハ手當ノ內容記載ノ有無
9、診療又ハ手當ノ期間及手當ニ要シタル費用ノ額記載ノ有無竝ニ證憑書類添付ノ有無
10、傷病ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ住所及氏名記載ノ有無（氏名及住所不明ナルトキハ其ノ旨記載ノ有無）
11、被保險者ノ記號及番號記載ノ有無
12、工場事業場又ハ事務所ノ名稱記載ノ有無
13、被保險者ノ住所氏名記載ノ有無及被保險者死亡ノ場合ハ相續人又ハ遺產相續人（請求人）捺印ノ有無
14、傷病ガ業務上ナル場合ニ於テハ之ガ證明並ニ事業主ノ住所氏名捺印ノ有無
事業主代理人ヲ以テ證明セル場合ハ事業主代理人名簿ト照合スルコト
15、被保險者證添付ノ有無
以上ノ調査ヲ了シ記載洩レ或ハ誤謬アリタル場合ハ傷病手當金ノ取扱ニ準ジ、訂正ナシ能ハザルモノハ照會ノコト

（ロ）內容審査

內容審査ハ一應被保險者臺帳ニ依リ照合スルコト

（一）被保險者臺帳ニ依リ照合スベキ事項

1、本請求書ガ何回目ノ請求ナリヤ臺帳ノ給付內容ト照合シ重複決定ヲ爲サザル樣留

意スルコト

2、被保險者證ノ記號及番號
3、被保險者ノ氏名及工場事業場又ハ事務所ノ名稱
4、發病又ハ負傷ノ年月日ト傷病名
5、發病又ハ負傷ノ年月日ト資格取得年月日
6、資格喪失後ノ請求ニ在リテハ法第五十五條ニ該當ノ有無
7、法第六十二條第一項第一號乃至第四號該當ノ有無

右七項ニ相違ノ點アリタル場合ノ訂正ニ關シテハ形式審査ノ項ニ準ジ、訂正ナシ能ハザルモノハ照會ヲナスコト

(二)　請求書ノ内容審査

請求書ノ内容審査ニ對シテハ左ノ諸點ニ着眼スルコト

1、保險者ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル事由アリヤ否ヤニ留意スルコト
2、健康保險ノ療養給付ノ範圍ニ屬スル疾病ナリヤ否ヤ診療方針ニ記載シアル給付外ノ傷病名參照ノコト
3、其ノ他ノ審査トシテハ左記事項ニ着眼スルコト

イ、傷病名及傷病ノ原因業務上外ノ三種目ヲ考察シ法第六十條ニ該當スベキ事故アラザルヤ否ヤニ注意スルコト
ロ、傷病ノ原因ガ第三者ノ行爲ニ因ル事故ナラズヤ
ハ、診療、又ハ手當ニ要シタル費用ノ證憑書ノ内容ニ對シテハ必要ノ程度ヲ超エザルモノナキヤ否ヤニ付健康保險診療方針並ニ健康保險診療報酬點數計算規程ニ準據シ審査ノコト

(三)　實地調査

書面審査ヲ行ヒタルモ實地調査ヲ要スト認メタル場合ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受クルコト事實困難ノ事由アリタルヤ否ヤニ重點ヲ置クコト
以上ノ調査ヲ了シ支給決定ニ支障ナシト認メタルトキハ決定ノ手續ヲ爲スコト

(四)　支給金額ノ決定方法

本人ヨリ請求書又ハ證憑書類ニ記載セラレタル事項ヲ療養費支給決定伺（様式三十號）ニ各種診療ノ内容ヲ轉記シ一點單價ノ計算ハ健康保險診療報酬ノ最近ニ於ケル全國平均額ヲ標準トシ金額ヲ算出記載ノコト、但シ本人ノ請求金額ガ右ニ依リ算出シタル額ヨリ少額ナルトキハ其ノ額ヲ以テ決定ノコト

（ニ）被保險者證ノ整理

被保險者證ニ傷病名支給期間及轉歸ノ別ヲ記載シ備考欄ニ療養費ノ印ヲ押捺スルコト

（ホ）決定通知書決定票（樣式第三十一號）ノ作製及不支給ヲ爲スベキモノヽ取扱

傷病手當金ノ取扱ニ同ジ

三、療養費支給申請書ノ項（令第七十七條第一項第二號）

第八十條　療養費支給申請書（施行規則第五十五條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受付件數ヲ記載シタル後左ノ手續ヲ爲スベシ

一、支給申請書ヲ臺帳班ニ廻付シ臺帳ヲ添付セシメ左ノ順序ニ依リ處理スルコト

審査

（イ）形式審査

1、保險醫以外ノ醫師又ハ齒科醫師ノ診療受給承認年月日記載ノ有無

2、業務上外ノ別記載ノ有無

3、診療ノ內容記載ノ有無

4、診療期間及診療ニ要シタル費用ノ額記載ノ有無並ニ證憑書類添付ノ有無

5、診療ヲ受ケザルニ至リタルトキハ其ノ事由記載ノ有無

6、傷病ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所記載ノ有無（氏名及住所不詳ナルトキハ其ノ旨記載ノ有無）

7、被保險者ノ記號及番號

8、工場事業場又ハ事務所ノ名稱記載ノ有無

9、被保險者ノ住所氏名記載ノ有無及被保險者、被保險者死亡ノ場合ハ相續人又ハ遺產相續人（請求人）捺印ノ有無

10、被保險者證添付ノ有無

以上ノ調査ヲ了シ記載洩或ハ誤謬アリタル場合ハ傷病手當金ノ取扱ヒニ準シ、訂正ナシ能ハザルモノハ照會ノコト

（ロ）內容審査

內容審査ハ一應被保險者臺帳ニ依リ照合スルコト

（一）被保險者臺帳ニ依リ照合スベキ事項

1、本申請書ニ對シ承認シタル事實アリヤ否ヤニ付調査スルコト

2、本請求書ガ何回目ノ請求ナリヤ臺帳ノ給付內容ト照合シ重複決定ヲ爲サザル樣留意スルコト

3、被保險者證ノ記號及番號
4、被保險者ノ氏名及工場事業場又ハ事務所ノ名稱
5、病院收容ノ有無

右五項ニ相違ノ點アリタル場合ノ訂正ニ關シテハ形式審査ノ項ニ準シ、訂正ナシ能ハザルモノハ照會ヲ爲スコト

（二）請求書ノ內容審査

請求書ノ內容審査ニ對シテハ左ノ諸點ニ着眼スルコト

1、診療又ハ手當ニ要シタル費用ノ證憑書ノ審査ニ對シテハ令第七十七條第一項第一號ノ取扱ニ準ズルコト

以上ノ調査ヲ了シ支給決定ニ支障ナシト認メタルモノハ決定ノ手續ヲ爲スコト

（ハ）支給金額ノ決定ノ方法

支給金額ノ決定方法ハ令第七十七條第一項第一號ノ取扱ニ準ズルコト

（ニ）被保險者證ノ整理

被保險者證ノ整理ハ令第七十七條第一項第一號ノ取扱ニ準ズルコト

（ホ）決定通知書決定票（樣式第三十一號）ノ作製

傷病手當金ノ取扱ニ同ジ

四、療養費支給申請書ノ項（令第七十七條第一項第三號）

第八十一條　療養費支給申請書（施行規則第五十六條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受付件數ヲ記載シタル後左ノ手續ヲ爲スベシ

一、支給申請書ヲ臺帳班ニ廻付シ臺帳ヲ添付セシメ左ノ順序ニ依リ處理スルコト

審査

（イ）形式審査

1、傷病名記載ノ有無
2、發病又ハ負傷ノ年月日記載ノ有無
3、傷病ノ原因記載ノ有無
4、業務上外ノ別記載ノ有無
5、傷病ノ經過記載ノ有無
6、手當ヲ受ケタル醫師歯科醫師其ノ他ノ者ノ氏名及住所記載ノ有無
7、手當ノ內容記載ノ有無
8、手當ノ期間及手當ニ要シタル費用ノ額記載ノ有無竝ニ證憑書添付ノ有無

9、緊急ナリシコトノ事由
10、傷病ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實竝ニ第三者ノ氏名及住所記載ノ有無（氏名及住所不詳ナルトキハ其ノ旨記載ノ有無）
11、被保險者證ノ記號及番號
12、工場事業場又ハ事務所ノ名稱記載ノ有無
13、被保險者ノ住所氏名記載ノ有無及被保險者、被保險者死亡ノ場合ハ相續人又ハ遺產相續人（請求人）捺印ノ有無
14、負傷ガ業務上ナル場合ニ於テ之ガ證明並ニ事業主ノ住所氏名捺印ノ有無
事業主代理人ヲ以テ證明セル場合ハ事業主代理人名簿ト照合スルコト
15、被保險者證添付ノ有無
以上ノ調査ヲ了シ記載洩或ハ誤謬アリタル場合ハ傷病手當金ノ取扱ニ準シ、訂正ナシ能ハザルモノハ照會スルコト

（ロ）內容審查

內容審查ハ一應被保險者臺帳ニ依リ照合スルコト

（一）被保險者臺帳ニ依リ照合スベキ事項

1、本請求ガ何回目ノ請求ナルヤ臺帳ノ給付內容ト照合シ重複決定ヲ爲サザル樣留意スルコト
2、被保險者證ノ記號及番號
3、被保險者ノ氏名及工場事業場又ハ事務所ノ名稱
4、病院收容ノ有無
5、發病又ハ負傷ノ年月日ト傷病名
6、發病又ハ負傷ノ年月日ト資格取得年月日
7、資格喪失後ノ請求ニ在リテハ法第五十五條ニ該當セルヤ否ヤ
8、法第六十二條第一號乃至第四號該當者ナリヤ否ヤ
右八項ニ相違ノ點アリタル場合ノ訂正ニ關シテハ形式審查ノ項ニ準ジ、訂正ナシ能ハザルモノハ照會スルコト

（二）請求書ノ內容審查

請求書ノ內容審查ニ對シテハ左ノ諸點ニ着眼スルコト

1、健康保險ノ療養ノ給付ノ範圍ニ屬セザル疾病ノ審查
診療方針ニ記載シアル給付外ノ傷病名參照ノコト

2、其ノ他ノ審査トシテハ左記事項ニ着眼スルコト

イ、傷病名及傷病原因業務上外ノ三種目ヲ考察シ法第六十條ニ該當ノモノニ非ザルヤ否ヤニ注意スルコト

ロ、發病負傷原因ヨリシテ第三者ノ行爲ニ因ル事故ナラズヤ

ハ、傷病ノ症狀ヨリ考察シ緊急ナリシ事由正當ナリヤ否ヤ

ニ、診療又ハ手當ニ要シタル費用ノ證憑書ニ內譯記載ノ有無

（三）實地調査

書面審査ヲ行ヒタルモ實地調査ヲ要スト認メタル場合ハ緊急ナリシコトノ事由ニ重點ヲ置キ傷病ノ經過ヨリ考察シ受給期間ヲ決定スルコト

以上ノ調査ヲ了シ支給決定ニ支障ナシト認メタルトキハ決定ノ手續ヲ爲スコト

（ハ）支給金額ノ決定方法

支給金額ノ決定ハ令第七十七條第一項第一號ノ取扱ニ準ズルコト

（ニ）被保險者證ノ整理

被保險者證ノ整理ハ令第七十七條第一項第一號ノ取扱ニ準ズルコト

（ホ）決定通知書決定票ノ作製（樣式三十一號）及不支給ヲ爲スベキモノヽ取扱ハ傷病手當金ノ取扱ニ同ジ

五、療養費支給申請書（令第七十七條第一項第一號第三號、柔道整復術營業者ノ施術ヲ受クル場合）

第八十二條　療養費支給申請書（施行規則第五十六條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受付件數ヲ記載シタル後左ノ手續ヲ爲スベシ

一、支給申請書ヲ臺帳班ニ廻付シ臺帳ヲ添付セシメ左ノ順序ニ依リ處理スルコト

審査

（イ）形式審査

1、被保險者證ノ記號番號

2、工場事業場又ハ事務所ノ名稱記載ノ有無

3、負傷名記載ノ有無

4、承認ヲ受ケタル年月日記載ノ有無

5、施術回數及期間記載ノ有無

6、施術費ノ記載ノ有無

7、施術者ノ住所氏名記載ノ有無

8、業務上外ノ別記載ノ有無

9、被保險者ノ住所氏名記載ノ有無及被保險者、被保險者死亡ノ場合ハ相續人又ハ遺產相續人（請求人）捺印ノ有無

10、委任ノ有無

11、施術ニ對スル領收證添付ノ有無

12、被保險者證添付ノ有無

以上ノ調査ヲ了シ記載洩或ハ誤謬アル場合ハ傷病手當金ノ取扱ニ準ジ、訂正ナシ能ハザルモノハ照會ノコト

（ロ）內容審查

內容審查ハ被保險者臺帳ニ依リ一應照合スルコト

（一）被保險者臺帳ニ依リ照合スベキ事項

1、被保險者證ノ記號番號

2、被保險者ノ氏名及工場事業場又ハ事務所ノ名稱

3、負傷ノ年月日ト傷病名及承認回數

4、負傷ノ年月日ト資格取得年月日

右四項ニ相違アリタル場合ノ訂正ニ關シテハ形式審查ノ項ニ準ジ、訂正ナシ能ハザルモノ。

ハ照會ノコト

（二）請求書ノ內容審查

請求書ノ內容審查ニ對シテハ左ノ諸點ニ着眼スルコト

1、手當ニ要シタル費用ノ領收書ノ內譯正當ナリヤ

以上ノ調査ヲ了シ支給決定ニ支障ナシト認メタルトキハ決定ノ手續ヲ爲スコト

（ハ）支給金額ノ決定方法

支給金額ハ柔道整復師會トノ料金協定表ニヨリ算出シ決定ノコト

（ニ）被保險者證ノ整理

被保險者證ノ整理ハ令第七十七條第一項第一號ノ取扱ニ準ズルコト

（ホ）決定通知書決定原票ノ作製（樣式三十一號　ハ傷病手當金ノ取扱ニ同ジ

六、埋葬料請求書ノ項

第八十三條　埋葬料請求書（施行規則第五十九條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受付件數ヲ記載シタル後左ノ手續ニ依リ處理スベシ

一、請求書ヲ臺帳班ニ廻付シ被保險者臺帳ヲ添付セシメ左ノ順序ニ依リ處理スルコト

審查

（イ）形式審査

1、死亡年月日記載ノ有無
2、死亡原因記載ノ有無
3、死亡ノ業務上、業務外ノ別記載ノ有無
4、工場事業場又ハ事務所ノ名稱記載ノ有無
5、死亡ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所（氏名及住所不詳ナルトキハ其ノ旨）
6、被保険者證ノ記號及番號記載ノ有無
7、死亡シタル被保険者ノ氏名記載ノ有無
8、請求者ノ氏名及死亡シタル被保険者トノ續柄並ニ住所記載ノ有無
9、死亡シタル被保険者ノ標準報酬等級記載ノ有無
10、死亡ノ證明ニ關シテハ左ノ各號ノ一ニ該當ノ有無

イ、事業主ノ證明及事業主ノ住所氏名記載捺印ノ有無、事業主代理人ヲ以テ證明セル場合ハ事業主代理人名簿ト照合スルコト

ロ、被保険者ノ死亡ニ關スル市町村長ノ埋火葬認可證ノ寫

ハ、被保険者ノ死亡診斷書

以上ノ調査ヲ了シ記載洩或ハ誤謬アリタル場合ハ傷病手當金ノ取扱ニ準ジ訂正ナシ能ハザルモノハ樣式第三十二號ニ依リ照會スルコト

（ロ）内容審査

内容審査ハ被保険者臺帳ニ依リ一應照合スルコト

（一）被保険者臺帳ニ依リ照合スベキ事項

1、被保険者證ノ記號番號
2、被保険者ノ氏名及工場事業場又ハ事務所ノ名稱
3、標準報酬等級

以上三項ニ相違ノ點アリタル場合ノ訂正ニ關シテハ形式審査ノ項ニ準ジ訂正ナシ能ハザルモノハ樣式第三十二號ニ依リ照會スルコト

（二）請求書ノ内容審査

請求書ノ内容審査ニ對シテハ左ノ諸點ニ着眼スルコト

1、資格存續中ノモノナリヤ否ヤ
2、保険給付ヲ受ケザルニ至リタル日後九十日以内ニ死亡セルモノナリヤ否ヤ

3、被保險者ノ資格喪失後九十日以內ニ死亡セルモノナリヤ否ヤ
4、請求者ハ死亡者ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ナリヤ否ヤ
5、死亡年月日ト傷病名並ニ資格取得年月日ヲ考察シ資格取得年月日正當ナリヤ
6、死亡ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノト認メラレタル場合ハ別途調査ノコト
7、死亡ノ原因ガ第三者ノ行爲ニ因ルモノト認メラレタル場合ハ別途調査ノコト
以上ノ調査ヲ了シ支給決定ニ支障ナシト認メタルトキハ決定ノ手續ヲ爲スコト

（ハ）支給金額ノ決定方法
標準報酬等級第一級ヨリ第七級迄ハ金參拾圓第八級以上ハ標準報酬日額ノ三十日分ヲ算出シ上段支給決定伺欄ニ其ノ金額ヲ記入ス

（ニ）決定通知書決定票（樣式第三十三號）ヲ作成不支給ヲ爲スベキモノヽ取扱
傷病手當金ニ同ジ

（ホ）關係官廳トノ連絡（昭和二年七月三十日、勞發第二二二號社會局勞動部長通牒）
業務上ニ因ル死亡ノ場合ハ其ノ旨關係官廳　工場法ノ規定ニ依ルモノハ工場課、鑛業法ノ規定ニ依ルモノハ東京鑛山監督局）ニ別紙ヲ以テ報告スルコト

七、埋葬費請求書ノ項

第八十四條　埋葬費請求書（施行規則第六十條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受付件數ヲ記載シタル後埋葬料請求書ニ準ジ處理スベシ但シ支給金額ノ決定ニ當リテハ埋葬ニ要シタル費用ノ證憑書類ニ基キ埋葬ニ直接要シタル實費額ヲ支給スルヲ建前トシ其ノ範圍ハ標準報酬日額ノ三十日分ニ相當スル金額（參拾圓ニ充タザルトキハ參拾圓）範圍內ニ止ムルモノトシ決定通知書決定票ノ作成其ノ他ニ關シテハ埋葬料ノ取扱ニ準ズルコト

八、分娩費請求書ノ項

第八十五條　分娩費請求書（施行規則第六十一條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受付件數ヲ記載シタル後左ノ手續ヲ爲スベシ

一、請求書ヲ臺帳班ニ廻付シ臺帳ヲ添付セシメ左ノ順序ニ依リ處理スルコト

審査

（イ）形式審査

1、分娩年月日記載ノ有無
2、死產ノ記載ノ有無
3、助產手當ヲ受ケザルトキハ其ノ事由記載ノ有無
4、產院ニ收容セラレタルトキハ產院ノ名稱及所在地記載ノ有無

5、助産ノ手當ヲ爲シタル醫師又ハ産婆ノ氏名及住所記載ノ有無
6、被保險者證ノ記號及番號記載ノ有無
7、工場事業場又ハ事務所ノ名稱記載ノ有無
8、被保險者、住所氏名記載ノ有無及被保險者、被保險者死亡ノ場合ハ相續人又ハ遺産相續人（請求人）捺印ノ有無
9、出産若シクハ死産ニ關スル産婆、醫師又ハ市町村長ノ證明記載ノ有無
10、右ニ對スル職名又ハ住所氏名記載ノ有無及捺印ノ有無

以上ノ調査ヲ了シ記載洩或ヒハ誤謬アリタル場合ハ傷病手當金ノ取扱ニ準ジ訂正ナシ能ハザルモノハ樣式第三十四號ニ依リ照會スルコト

（ロ）内容審査

内容審査ハ被保險者臺帳ニ依リ一應照合スルコト

（一）被保險者臺帳ニ依リ照合スベキ事項

1、臺帳ノ給付内容ト照合シ重複支給ヲ爲サヾル樣注意ノコト
2、被保險者證ノ記號番號
3、被保險者ノ氏名及工場事業場又ハ事務所ノ名稱
4、産院收容ノ有無
5、資格取得ノ年月日ヨリ起算シ分娩ノ前日迄ノ日數ヲ請求書上段ノ支給決定伺欄ニ記載スルコト
6、資格證明書交付ノ有無

此ノ場合ハ請求書欄外ニ資格證明書交付濟印ヲ押捺ノコト

以上六項ニ相違ノ點アリタル場合ノ訂正ニ關シテハ形式審査ノ項ニ準ジ訂正ナシ能ハザルモノハ樣式第三十四號ニ依リ照會スルコト

（二）請求書ノ内容審査

請求書ノ内容審査ニ對シテハ左ノ諸點ニ着眼スルコト

1、分娩ノ前日ヨリ遡リ一年内九十日以上被保險者タリシモノナリヤ否ヤ
2、資格喪失者ニ在リテハ喪失後百八十日以内ニ分娩セリヤ否ヤ
3、死産ナル旨記載シアルトキハ妊娠何ケ月ナルヤヲ調査シ若シ妊娠八十五日未滿ナルトキハ不支給トスルコト
4、請求金額ガ拾圓ナリヤ貳拾圓ナリヤヲ調査シ貳拾圓ナル場合ニ於テハ保險産婆ノ助産ノ手當ヲ受ケザルコトガ正當ノ事由アリヤ否ヤニ對シ調査又ハ照會スルコト

（三）　書面審査ヲ行ヒタルモ實地調査ヲ要スト認メラレタル場合ハ分娩前後ニ於ケル稼働狀態及勤務日數並ニ現實分娩ノ日ニ着眼スルコト

以上ノ調査ヲ了シ支給決定ニ支障ナシト認メタルトキハ決定ノ手續ヲ爲スコト

（ハ）　支給金額ノ決定方法

助産手當ヲ受ケタルモノハ拾圓、正當ノ事由ニヨリ助産ノ手當ヲ受ケザルモノハ貳拾圓ヲ支給金額トシ上段支給決定伺欄ニ其ノ金額ヲ記入ス

（ニ）　決定通知書、決定票（樣式第三十五號）ノ作製不支給ヲ爲スベキモノヽ取扱傷病手當金ノ取扱ニ同ジ

九、出産手當金請求書ノ項

第八十六條　出産手當金請求書（施行規則第六十二條）ヲ受ケタルトキハ現給事務處理日表ノ受付件數ヲ記載シタル後左ノ手續ヲ爲スベシ

一、請求書ヲ臺帳班ニ廻付シ臺帳ヲ添附セシメ左ノ順序ニ依リ處理スルコト

審査

（イ）　形式審査

1、分娩前分娩後ノ別記載ノ有無

2、分娩年月日及分娩予定年月日記載ノ有無

3、勞務ニ服セザリシ期間記載ノ有無

4、標準報酬等級記載ノ有無

5、被保險者證ノ記號番號ノ記載ノ有無

6、工場事業場又ハ事務所ノ名稱記載ノ有無

7、被保險者住所氏名記載ノ有無及被保險者、被保險者死亡ノ場合ハ相續人又ハ遺產相續人（請求人）捺印ノ有無

8、勞務ニ服セザリシ期間ニ關スル事業主ノ證明記載ノ有無

9、右ニ對スル事業主住所氏名記載ノ有無及捺印ノ有無事業主代理人ヲ以テ證明セル場合ハ事業主代理人名簿ト照合スルコト

10、分娩豫定年月日ニ關スル產婆又ハ醫師ノ意見記載ノ有無

11、產婆又ハ醫師ノ住所氏名記載ノ有無及捺印ノ有無

12、10、及11ハ分娩後ノ請求ニ在リテハ調査ノ要ナキコト

以上ノ調査ヲ了シ記載洩或ハ誤謬アリタル場合ハ傷病手當金ノ取扱ニ準ジ訂正ナシ能ハザルモノハ樣式第三十六號ニ依リ照會スルコト

（ロ）　內容審査

內容審査ハ被保險者臺帳ニ依リ一應照合スルコト

（一）　被保險者臺帳ニ依リ照合スベキ事項

1、本請求書ガ何回目ノ請求ナルヤニ付臺帳ノ給付內容ト照合シ重複支給ヲ爲サヾル樣注意ノコト

2、被保險者證ノ記號番號

3、被保險者ノ氏名及工場事業場又ハ事務所ノ名稱

4、標準報酬等級

5、繼續シテ報酬ヲ受クルモノナリヤ否ヤ

6、產院收容ノ有無

7、資格取得ノ年月日ヨリ起算シ分娩ノ前日迄ノ日數ヲ請求書上段ノ支給決定伺欄ニ記載スルコト

以上七項ニ相達ノ點アリタル場合ノ訂正ニ關シテハ形式審査ノ項ニ準ジ訂正爲シ能ハザルモノハ樣式第三十六號ニ依リ照會スルコト

（二）　請求書ノ內容審査

請求書ノ內容審査ニ對シテハ左ノ諸點ニ着眼スルコト

1、分娩前日ヨリ遡リ一年內百八十日以上被保險者タリシモノナリヤ否ヤ

2、資格喪失者ニアリテハ喪失後百八十日以內ニ分娩シタルモノナリヤ否ヤ

（三）　實地調査

書面審査ヲ行ヒタルモ實地調査ヲ要スト認メラレタル場合ハ分娩前後ニ於ケル、稼働狀態及勤務日數、勞務ニ服セザリシ期間ニ對スル本人ノ動靜ニ着眼スルコト

以上ノ調査ヲ了シ支給決定ニ支障ナシト認メタルトキハ決定ノ手續ヲ爲スコト

（ハ）　支給金額ノ決定方法

請求日數ニ對シ標準報酬等級ノ六割ヲ乘ジテ得タル額ヲ支給金額トシ上段支給決定伺欄ニ其ノ金額ヲ記入ス但シ產院收容ノモノ及法第六十二條第二項、法第五十八條該當ノモノニ對シテハ傷病手當金支給金額決定ノ方法ニ準ズルコト

（ニ）　決定通知書、決定票（樣式第三十七號）ノ作製不支給ヲ爲スベキモノヽ取扱

傷病手當金ノ取扱ニ同ジ

十、決定伺及現給事務處理日表作製ノ項

第八十七條　一切ノ處理ヲ濟シタル各種手當金及埋葬料費、分娩費、療養費ノ請求書ハ支給額ニ對シ

現給事務處理日表ヲ作製シ支出決定伺トシ決定通知書決定票並ニ臺帳其ノ他必要書類ヲ添付ノ上現給班主任係長及技師ヲ經テ會計班ニ廻付ノコト

第八節　給付係臺帳班關係

一、診療報告書ノ項

第八十八條　診療報告書（齒科ヲ含ム）ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ニ依リ處理スベシ

一、診療報告書ノ內容審査

イ、何月分ノ診療報告書ナルヤ保險醫ノ診療所在地・氏名・被保險者證ノ記號番號、被保險者ノ住所氏名・男女ノ別・生年月・工場名工場所在地・傷病名・業務上外ノ別・發病日・初診日・開始日・終了日・當月診療日數・轉歸別ノ各種事項ニ記載洩レナキヤ否ヤヲ確メ若シ不備ノモノアル場合ハ之ヲ別途ニ區分取纏ムルコト

ロ、被保險者證ノ記號又ハ被保險者ノ住所ガ本縣以外ノモノニ對シテハ之ヲ別途ニ區分取纏ムルコト

ハ、傷病名ガ療養給付ノ範圍外ナルト認メタルトキハ之ヲ別途ニ區分シ取纏ムルコト

二、診療報告書ノ記載不備ノ爲メ別ニ取纏メ置キタルモノノ內便宜訂正ナシ得ルモノハ之ヲ訂正シ然ラザルモノハ縣醫師會ニ整備再提出方ヲ通知ノコト

イ、被保險者臺帳又ハ被保險者名簿ト對照ノ上訂正ナシ得ベキモノノ例ハ大體左ノ種類ノ如キモノトス

1、被保險者證ノ記號又ハ番號ノ記載ナク且ツ被保險者ノ氏名又ハ工場名ノ記載アルモノ、

此ノ場合同名同姓ノモノナキトキ

2、被保險者證ノ記號又ハ番號ノ記載ナク且ツ工場名・工場所在地ノ記載アルトキ

3、被保險者證ノ記號番號ノ記載アリテ被保險者ノ氏名・男女別・生年月ノ記載ナキモノ

4、被保險者證ノ記號ノ記載アリテ工場名又ハ工場所在地ノ記載ナキモノ

ロ、傷病名其ノ他給付記錄ノ記載洩レニ對シテハ便宜訂正ナシ能ハザルヲ以テ「イ」ノ對照ヲ行ヒ訂正ナシ能ハザルモノハ報告書欄外ニ不備事項ノ內容ヲ記載シ訂正又ハ不備事項ヲ整備再提出ノ旨縣醫師會ニ通知ノコト

三、官公立病院ノ診療ニシテ本縣以外ノ被保險者ニ對スル診療報告書ハ所屬府縣ニ對シ送付ノ手續ヲ爲スコト

此ノ場合ハ診療件數日數傷病類別ヲ集計シ月報ノ資料トス

四、傷病名ガ療養給付ノ範圍外ト認メ別ニ取纏メ置キタルモノハ診療擔當者ニ對シ診療ヲナシタル

事由ノ回答ヲ求メ得ル必要アルヲ以テ一括縣醫師會ニ手續ヲ爲スコト

五、診療報告書ニシテ記載内容ノ整備セルモノ又ハ便宜便正ナシタルモノハ之ヲ郡市別ニ分割シ更ニ工場鑛山又ハ事業場別ニ區分シ被保險者證ノ番號順ニ取揃ヘ被保險者臺帳ニ對シ療養給付ノ記錄記載ノ準備ヲ爲スコト

六、被保險者臺帳ヲ一工場毎ニ全部抽出シ被保險者證ノ番號順ニ整理シタル診療報告書ニ依リ當該被保險者ナルコトヲ確メタル後順序ヨク記載スルコト

七、診療報告書ヨリ被保險者臺帳ニ記載スベキ處理ハ左ニ據ルコト

イ、診療報告書ニ記載セラレタル傷病名・業務上外ノ別・診療開始ノ年月日・終了年月日・當月分診療日數・轉歸別・診療擔當者氏名ヲ療養ノ給付ノ各種該當欄ニ記入スルコト

ロ、本月ノ報告書ノ傷病名ト既ニ臺帳ニ記載シアル傷病名トヲ對査シ病名同一ニシテ診療擔當者同一又ハ診療開始ノ年月日ガ同一ナルトキハ給付期間ノ日數内譯欄ニ所屬月及當月分診療日數ノミヲ記載スルコト

ハ、本月ノ報告書ノ傷病名ト臺帳ニ記載セラレタル傷病名ト同一ナルモ診療擔當者ノ氏名ノ異ナルトキハ之ヲ記載シ終了事由ヲ整理スルコト

若シ診療報告書ニ終了日ノ記載アルトキハ之ヲ記載シ終了事由ヲ整理スルコト

此ノ場合ハ同一傷病ノモノ多キヲ以テ期間ノ計算ニ留意スルコト

八、給付記錄ノ記入ニ際シテハ其ノ傷病ガ法定期間滿了ノモノナリヤ否ヤニ留意シ判定ナシ難キトキハ上司又ハ技師ノ意見ヲ徵シ法定期間滿了後ノモノニ付テハ例文第二號ニ依リ關係者ニ通知スルコト

此ノ場合ニ在リテハ延長診療ノモノナリヤ否ヤニ付注意スルコト

九、給付記錄中療養日數ノ重複セルモノハ保險醫ヲ變更シタル場合ニ多キヲ以テ其ノ重複日數ノ僅少ナルモノハ其ノ儘トシ相當日數アルモノハ例文第三號ニ依リ關係者ニ通知スルコト

十、診療報告書ヨリ療養記錄ヲ臺帳ニ記入セントシタル場合臺帳ナキトキ（貸出ヲ除ク）被保險者名簿ト對照シ被保險者トシテ資格アリタルコトルトキハ例文第四號ニ依リ關係者ニ通知ノコト

第八十九條　被保險者臺帳ニ療養給付記錄ヲ記入濟（返戻シタルモノ再提出ヲ含ム）ノ場合ハ各工場事業場毎ニ保險醫、歯科醫、官公立病院別ニ業務上及業務外、入院入院外ニ區分シ件數及日數ヲ集計シ「工場別療養給付狀況表」ノ月報資料欄ニ記載スベシ

一枚ノ診療報告書ニ業務上外ノ二種類記載ノモノハ之ヲ別ニ爲シ置キ右ノ集計ヲ終リタル後當該欄ニ件數日數ヲ追記スベシ

第九十條　各工場又ハ事業場毎ニ療養給付狀況表ヲ作製シタルトキハ各自受持分擔ノ郡市別毎ニ之ヲ取纏メ集計ヲ附シ主任ニ提出ノコト主任ハ之ヲ集計シ其ノ月分ノ月報ノ資料ヲ作製スベシ

二、毎年度事業狀況報告書ノ資料作製ノ項

第九十一條　前條ニ依リ毎月分事業狀況報告書（月報）ノ資料ヲ作製後ノ報告書ハ直チニ毎年度事業狀況報告書（年報）ノ資料ヲ左ノ手續ニ依リ作製スベシ

一、四月分診療報告書

イ、各工場又ハ事業所毎ニ取纏メタル診療報告書ヲ全治（中止、癒療ヲ含ム以下同シ）ト繰越ノ二種ニ分類スルコト

一枚ノ診療報告書ニ全治ト繰越ノ二種類ニ記載アルモノハ別ニ補助紙ヲ用ヒ全治シタルモノ、診療記錄ノ寫ヲ作製シ診療報告書ノ全治シタルモノ、診療記錄ヲ抹消ノコト

ロ、右ノ全治トシテ區分セラレタルモノハ保險醫官公立病院、齒科醫ノ三種類ニ區分シ業務上外、男女別件數、日數ヲ集計シ「工場別療養給付狀況表」ノ年報資料ノ該當欄ニ記載スルコト

二、五月分以降二月迄ノ診療報告書

イ、四月分ト同樣全治ト繰越ニ區分シ全治ノモノニ對シ左ノ二種類ニ區分スルコト

1、本月診療ヲ開始シ本月全治シタルモノ

2、先月ヨリ繰越サレテ本月全治シタルモノ

ロ、二ノ「イ」ノ2ニ依リ「先月ヨリ繰越サレテ本月全治シタルモノ」ニ對シテハ診療開始年月日ヲ調査シ診療報告書空欄ニ診療開始ノ月ヨリ全治ニ至ル迄ノ月別ヲ記入スルコト

ハ、「ロ」ニ依リ整理セラレタル診療報告書ハ四月分ニ於テ繰越トシテ取纏メタル報告書中ニ本月分ニ於テ全治シタルモノナキヤ否ヤヲ調査シ若シ該當ノモノアルトキハ之ヲ抽出シテ一件トシ糊付ノ上抽出シタルモノノ報告書ノ右側下欄ニ赤〇印ヲ附シ置クコト

六月分ニ於テハ四月分五月分ニ於テ繰越トナリタルモノニ付右ノ取扱ヲ爲シ以下各月共之ニ倣フ

三、右ニ依リ整理セラレタル報告書ハ「イ」ニ於テ取纏メタル（本月分診療ヲ開始シ本月分全治シタルモノ）報告書ト合算シテ「四月分診療報告書」ノ「ロ」ノ取扱ト同樣ノ方法ニ於テ工場別療養給付狀況表ヲ作製ノコト

此ノ場合ニ於ケル件數ノ計算ハ赤〇印ヲ附シ置キタル報告書ノ分ハ計算ニハ算入セザルコト

四、三月分診療報告書

イ、三月分診療報告書ハ前年四月以降本年二月迄ノ內ニ於テ繰越サレタル轉記不明ノ報告書中ヨリ本月分診療シタル被保險者アリヤ否ヤヲ調査シ（此ノ場合ハ同一病名ノモノヲ調査スル

コト）該當ノモノアリタルトキハ之ヲ抽出シ一件トシテ糊付シ一枚ヲ除キ他ハ全部報告書ノ下欄ニ赤〇ヲ附スルコト

ロ、右ノ取扱ヲ爲シタル以外（從來繰越ノモノ）ノモノニ對シテハ之ヲ同一病名及被保險者毎ニ一括シ一件トシ「イ」ノ取扱ヲ爲スコト

右診療報告書ノ中ニ翌年度ニ繰越ストト認メラルヽモノ及三月分診療報告書ノ繰越ノモノト一括シテ之ヲ業務上外ニ區分シ更ニ件數ヲ集計シテ「年報」第四保險成績ノ療養給付ノ備考欄ニ記載スベキ資料トス

ハ、「イ」及「ロ」ノ取扱ニ於テ取纏メタルモノヲ一括シテ四月分診療報告書ノ「ロ」ノ取扱ニ準シ工場別診療狀況表ヲ作製ノコト

第九十二條　前條ノ方法ニ依リ各月分ノ「工場別診療狀況報告書」ヲ作製シタルトキハ各月別及郡市別毎ニ集計ヲ附シ一ケ年分ヲ算出スベシ

月分療養給付狀況表

記號		工場名	醫師別	保險醫								官公立病院						齒科醫					
月報年報別	種別	入院外	業務上		業務外		入院		入院外		業務上		業務外		入院		入院外		業務上		業務外			
			件數	日數	件數	日數	件數	日數	件數	日數	件數	日數	件數	日數	件數	日數	件數	日數	件數	日數	件數	日數		
月報資料	入院																							
	入院外																							
年報資料	男女別	別	業務上		業務外						業務上		業務外						業務上		業務外			
			件數	日數	件數	日數					件數	日數	件數	日數					件數	日數	件數	日數		
	男																							
	女																							

三、毎月分事業狀況報告書ノ項

第九十三條　毎月分ノ事業狀況報告書（月報）ノ作製ハ左ノ手續ニ據ルベシ

一、第一表ノ作製

イ、被保險者數ノ異動及現在數ノ强制被保險者、任意包括被保險者、任意繼續被保險者ノ前月末現在、本月中增本月中減本月末現在ノ數ハ資格班ニヨリ資料ヲ求メ該當欄ニ記入ノコト

ロ、標準報酬等級別ノ保險料率ノ區分及男女別並ニ各等級ノ人員ハ資格班ヨリ資料ヲ求メ該當欄ニ記入ノコト

二、第二表ノ作製

工場事業場及事業數ノ種別ニ對スル前月末現在、本月中增、本月中減、本月末現在數ヲ資格班ヨリ資料ヲ求メ該當欄ニ記入ノコト

三、第三表ノ作製

イ、保險給付ノ件數、日數及支出濟額入院診療、入院外診療ノ保險醫欄ニ對スル各種事項ハ「工場別療養狀況表」ノ月報資料ニ依リ記載ノコト

ロ、官公立病院及附屬病院欄ニ對スル各種事項ハ醫療班ヨリ資料ヲ求メ記載スルコト

ハ、齒科診療ノ欄ハ「工場別療養狀況表」ノ月報資料ニ依リ記載ノコト

ニ、看護移送ノ欄ハ會計班ヨリ資料ヲ求メ記載ノコト

ホ、療養費、傷病手當金、埋葬料費、分娩費、出産手當金、助産手當費欄ハ各々決定票ノ件數日數金額（男女別業務上外ノ日數及金額ヲ計算シ置クコト（年報資料）ヲ算出シ其ノ集計ヲ會計班ノ支拂ト對査シ相達ナキヲ確メタル後該當欄ニ記入スルコト

ヘ、產院收容ハ會計班ヨリ資料ヲ求メ記入スルコト

ト、以上ノ記載ヲ了シタル後、縱ノ總計金額ヲ算出シ更ニ橫ノ業務上外ヲ加算シ計ヲ算出シ前月迄ノ累計ニ本月分ヲ加算シタルモノヲ累計ノ該當欄ニ記入ノコト

四、第四表ノ作製

官公立病院診療報酬內譯欄ハ醫療班ヨリ資料ヲ求メ記入スルコト

五、健康保險相談所事務取扱狀況欄ハ相談所ヨリ資料ヲ求メ記入スルコト

四、毎年度事業狀況報告書ノ項

第九十四條　毎年度事業狀況報告書（年報）ノ作製ハ左ノ手續ニ據ルベシ

一、第二被保險者數

（一）　異動及現在ノ作製ハ資格班ヨリ資料ヲ求メ各該當欄ニ記載ノコト

（二）　標準報酬等級別（保險料率百分ノ四及百分ノ八）ノ作製ハ右ニ同ジ

二、第三工場鑛山及事業數

（一）工場ノ作製ハ資格班ヨリ資料ヲ求メ各該當欄ニ記入ノコト

（二）鑛山ノ作製資料ハ右ニ同ジ

（三）其ノ他ノ事業作製資料ハ右ニ同ジ

（四）任意包括被保險者使用事業作製資料ハ右ニ同ジ

三、第四保險成績

（一）保險給付ノ件數日數及費用額ノ作製

イ、療養ノ給付

1、療養給付ノ件數及日數男女ノ別業務上外ノ作製ハ第九十一條ニヨリ集計算出シアルモノヲ各該當欄ニ記入ノコト

2、費用額ノ作製ハ「療養ノ給付ノ件數日數及費用額ノ內譯」ノ官公立病院移送看護ノ費用額ヲ集計シタルモノヲ該當欄ニ記入ノコト

ロ、療養費傷病手當金出產手當金

1、右ニ對スル業務上外男女別日數費用額ハ月報作製ノトキ既ニ各月每ニ計算シアルヲ以テ一ケ年分ヲ集計シタルモノヲ該當欄ニ記入ノコト

2、件數ノ作製ハ決定票ノ第一回支給ノモノニ付キ計算シ男女別業務上外區分ハ算出ノ上該當欄ニ記入ノコト

ハ、埋葬料費分娩費助產手當

1、右ニ對スル業務上外男女別費用額ハ月報作製ノトキ既ニ各月每ニ計算シアルヲ以テ一ケ年分ヲ集計シタルモノヲ該當欄ニ記入ノコト

ニ、產院收容

右ニ對スル作製ハ月報ノ一年間ヲ集計シテ該當欄ニ記入ノコト

（二）療養ノ給付ノ件數日數及費用額ノ內譯

1、一般診療（保險醫官公立病院齒科診療）

右ニ對スル件數日數男女別業務上ノ作製ハ第九十一條ニ依リ集計算出シアルモノヲ該當欄ニ記入スルコト

2、費用額ノ作製ハ業務上外及費用額ハ月報ノ「保險給付ノ件數日數及支出濟額」ノ官公立病院ノ各月ノ一ケ年分ヲ集計シタルモノヲ該當欄ニ記入スルコト

男女別ハ醫療欄ヨリ資料ヲ求ムルコト

3、移送及看護

右ニ對スル件數日數費用額業務上外ノ作製ハ月報ノ「保險給付ノ件數日數及支出濟額」ノ移送看護ノ各月一年分ヲ集計シ記入スルコト

男女別ハ會計班ヨリ資料ヲ求メ記入ノコト

A、被保險者一人當リノ作製ハ月末現在平均數ヲ以テ各該當數ヲ除シタルモノヲ記入ノコト

(三)　療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲シタル疾病又ハ負傷ノ轉歸別

1、第九十一條ニ於テ取纏メアル診療報告書ヲ傷病ノ類別ニ一應區分シ更ニ之ヲ男女別ニ分割シ診療ノ件數及日數ヲ集計シ當該欄ニ記入ノコト

2、本表ノ四、結核性五、腸及腹膜ノ結核六、其ノ他ノ結核ノ傷病手當金ノ日數ハ傷病手當金ノ決定票ヨリ右疾病ニ該當スルモノヲ抽出シ日數ヲ集計シタル上本欄ニ記入ノコト

(四)　保險料

イ、保險料ノ調定額及收入濟額收入未濟額ノ作製ハ收入欄ヨリ資料ヲ求メ記入ノコト

五、被保險者資格取得ノ際ニ於ケル臺帳作成ノ項

第九十五條　調定欄ヨリ資格取得屆ノ廻付ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スベシ

一、被保險者男子ノ場合ハ男子用女子ノ場合ハ女子用ノ被保險者臺帳表面ニ資格取得屆ニ記載セラレタル左ノ事項ヲ記入整理ノコト

イ、取得屆ノ被保險者證ノ記號ハ臺帳ノ記號欄ヘ

ロ、取得屆ノ被保險者番號ハ臺帳ノ番號欄ヘ

ハ、取得屆ノ業務ノ種別ハ臺帳ノ業務ノ種別欄ヘ

ニ、取得屆ヲ記載セラレタル證交付年月日ハ臺帳ノ被保險者證交付年月日欄ヘ

ホ、取得屆ノ被保險者證ノ記號ノ上欄ニ何等記載アリタルモノハ其ノ旨臺帳ノ種別欄ヘ

ヘ、取得屆ノ被保險者氏名ハ臺帳ノ氏名欄ヘ

ト、取得屆ノ生年月日ハ臺帳ノ生年月欄ヘ

チ、取得屆ノ下欄ノ事業主氏名ハ臺帳ノ事業主氏名（法人ニ在リテハ會社名個人ニ在リテハ事業主名）欄ヘ

リ、取得屆ノ工場事業場又ハ事務所ノ名稱ハ臺帳ノ工場事業場又ハ事務所ノ名稱欄ヘ

ヌ、取得屆右側上欄ノ種類ハ臺帳ノ工場事業場又ハ事務所ノ種類欄ヘ

ル、取得屆ノ資格取得年月日ハ臺帳ノ資格取得年月日欄ヘ

オ、取得屆ノ上欄ニ新規ト記載アルモノハ臺帳ノ資格取得ノ原因欄ヘ新規ト記入シ何等記載ナ

キモノハ雇入ト記載スルコト

ワ、取得屆ノ令第五條第一項各號該當日額ガ何號ニ該當スルヤヲ確メ臺帳ノ報酬日額算定準據條項欄ヘ

カ、取得屆ノ令第五條第一項各號該當日額ノ賃金給料又ハ俸給ニ準ズルモノハ欄ニ金額ノ記載アルトキハ其ノ種類ニヨリ食事ノ利益ハ「食何錢」被服ノ利益ハ「被」何錢住宅ノ場合ハ「住」何錢其ノ他ノモノハ「他」何錢ト臺帳ノ標準報酬等級欄左側ノ空欄ニ記載ノコト

ヨ、取得屆ノ資格取得年月日ハ臺帳ノ適用年月日欄ヘ

タ、取得屆ノ標準報酬等級ヲ臺帳ノ等級欄ヘ

以上ノ記載ヲ了シタルトキハ所屬工場又ハ事業所ノ臺帳ニ被保險者ノ番號順ニヨリ整理スルコト

二、資格取得屆ノ備考欄ニ前資格アリタル旨ノ記載アルトキハ既ニ作製シアル臺帳ヲ抽出シ記載事項ニ變更ヲ要スベキモノアル場合ハ前項ニ準ジ記載ノコト

六、被保險者資格ニ關スル書類處理ノ項

第九十六條　調定欄ヨリ資格事務ノ各種書類（資格取得屆ヲ除ク）ノ廻付ヲ受ケタルトキハ其ノ書類ニ付被保險者臺帳ノ被保險者證ノ記號番號氏名ト對照シ左ノ手續ニ依リ臺帳ヲ處理スベシ

イ、被保險者資格喪失屆

本屆ニ記載セラレタル喪失年月日及喪失ノ原因ヲ臺帳ノ資格喪失年月日及原因欄ニ朱書シ其ノ所屬工場ノ臺帳ノ左側ニ一括シ番號順ニ整頓シ喪失後一ケ年位ヲ經過シタル時ハ別途保管スルコト

本屆ニ五十五條該當ノ旨記載アルトキハ五十五條該當者名簿ニ必要事項ヲ記入シ更ニ資格喪失後ニ於ケル診療ナルトキハ當該名簿ニ之ヲ記載シ取纏メノ上資格班及醫療班ニ廻付ノコト

ロ、被保險者轉勤屆

本屆ニ記載セラレタル被保險者ノ記號番號變更後ノ事業場名稱變更ノ年月日等級（變更ナキトキハ記載ノ要ナシ）ヲ該當欄ニ記載シ轉勤年月日及「轉勤」ノ旨ヲ備考欄ニ記載ノコト

但シ他ノ廳府縣及組合被保險者ナルトキハ送付アリタル臺帳寫ニ依リ第十四條資格取得屆ノ項ノ取扱ニ準ジ新臺帳ヲ作製シ必要事項ヲ記入スルコト

本縣被保險者ガ他ノ廳府縣又ハ組合被保險者トナリタル場合ハ臺帳寫ヲ作製シ資格欄ニ廻付ノコト

ハ、保險者選定屆及同時ニ二以上ノ業務從事屆

本屆ヲ受ケタル時ハ第十四條資格取得屆項ニ準ジ新臺帳ヲ作製シ臺帳ノ右上欄ニ選定屆又ハ二以上ノ業務從事屆ト朱書ヲ以テ記載ノコト

ニ、法第六十二條該當及不該當届
本届ニ記載セラレタル該當事實該當年月日並ニ不該當年月日ヲ法第六十二條第一項該當ノ各欄ニ記載ノコト
ホ、被保險者證毀損無餘白届
本届ニ記載セラレタル再交付年月日ヲ被保險者證交付年月日欄ニ記載ノコト
ヘ、資格喪失取消願
本届ヲ受ケタルトキハ臺帳ノ資格喪失年月日及原因欄ノ該當事項ヲ抹消シ備考欄ニ「何年何月何日喪失取消」ト記載ノコト
ト、資格取得取消願
本届ヲ受ケタルトキハ臺帳ノ資格取得年月日及原因欄ノ記載事項ヲ抹消シ備考欄ニ「何年何月何日取得取消」ト記載シ喪失臺帳ニ一括整理ノコト
チ、資格喪失取得年月日訂正願
本届ニ記載セラレタル訂正後ノ年月日ヲ臺帳ノ資格取得又ハ資格喪失ノ欄ニ記載ノコト
リ、事業主事業ノ名稱住所氏名工場事業場變更届
本届ニ記載セラレタル記號番號事業主氏名工場事業場又ハ事務所ノ名稱ヲ該當欄ニ記載又ハ訂正ノコト
ヌ、法第十三條不該當届
本届ヲ受ケタルトキハ臺帳ノ上欄種別「強制法第十三條」ヲ「任包法第十六條」ト訂正ノコト
ル、被保險者報酬日額變更又ハ訂正届
本届ニ記載セラレタル變更又ハ訂正後ノ等級ヲ等級欄ニ記載ノ既等級ヲ訂正ノコト
ヲ、報酬日額算定基礎届
本届ニ記載セラレタル令第五條一項各號ノ準據條項等級ヲ標準報酬等級ノ該當欄ニ記載スルコト
ワ、資格班ヨリ各種書類ノ廻付ヲ受ケタルトキハ其ノ書類ニ付キ被保險者臺帳ノ被保險者記號番號氏名ヲ對照シ左ノ手續ニ依リ臺帳ヲ處理スベシ
イ、被保險者氏名變更又ハ訂正届
本届ニ記載セラレタル變更又ハ訂正後ノ氏名ヲ臺帳ノ氏名欄ノ被保險者名ヲ訂正ノコト
ロ、被保險者業務ノ種別變更又ハ訂正届
本届ニ記載セラレタル變更又ハ訂正後ノ業務ノ種別ヲ臺帳ノ業務ノ種別欄ニ訂正記載ノコト

第九十七條　資格班ヨリ各種書類ノ廻付ヲ受ケタルトキハ其ノ書類ニ付キ被保險者臺帳ノ被保險者記號番號氏名ヲ對照シ左ノ手續ニ依リ臺帳ヲ處理スベシ

七、醫療ニ關スル書類整理ノ項

第九十八條　文書班又ハ會計班ヨリ醫療事務ノ各種書類ノ廻付ヲ受ケタル時ハ被保險者臺帳ト被保險者證ノ記號番號及氏名ヲ對査シ左ノ手續ニ依リ被保險者臺帳ヲ處理スベシ

イ、繼續療養承認申請書及請求書

1、繼續療養承認申請書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル傷病名業務上外ノ別療養開始年月日診療擔當者名ヲ療養給付（一般診療）各該當欄ニ記入シ備考欄ニハ承認年月日及繼續療養申請ノ旨ヲ記載ノコト

2、繼續療養費請求書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル傷病名業務上外ノ別療養開始年月日診療擔當者ノ各事項ニ對シ既ニ記載シアルモノト相違ナキヲ確メ給付期間ノ日數内譯欄ニ各月毎ノ診療日數ヲ記入シ診療中止廢止又ハ治癒ナルトキハ終了年月日及合計日數ヲ記載スルコト

ロ、對診承認申請書

本書ニ記載セラレタル傷病名診療開始年月日診療擔當者名ヲ療養給付（一般診療）各該當欄ニ記入シ備考欄ニ承認年月日及對診承認ノ旨記載ノコト

ハ、助産手當受給資格證明下附申請書及決定票

1、助産手受受給資格證明下附申請書ニ在リテハ保險醫又ハ産婆ノ氏名ヲ助産手當費欄ニ記入シ備考欄ニハ證明書交付年月日分娩豫定年月日ヲ記載ノコト

2、助産手當支給決定票ニ在リテハ本票ニ記載セラレタル支給額及支給年月日ヲ助産ノ手當欄ニ記入ノコト

ニ、産院收容及保險醫ノ助産受給屆及請求書

1、産院收容及保險醫ノ助産受給屆ニ在リテハ本屆ニ記載セラレタル保險醫ノ氏名助産ノ手當費ノ該當欄ニ記載シ備考欄ニハ承認年月日承認期間及産院收容ノ旨記載ノコト

2、産院收容及保險醫ノ助産手當ノ請求書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル支給額支給年月日ヲ助産手當費ノ該當欄ニ記入スルコト

ホ、保險醫以外ノ醫師ノ診療承認申請書、療養費支給決定票（令第七十七條第一項第二號）

1、保險醫以外ノ醫師ノ診療承認申請書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル傷病名業務上外ノ別診療ヲ受ケントスル醫師ノ氏名ヲ療養ノ給付（一般診療）各該當欄ニ記入シ備考欄ニハ承認年月日令第七十七條第一項第二號ノ旨記載スルコト

2、療養費支給決定票（令第七十七條第一項第二號）ニ在リテハ本票ニ記載セラレタル傷病名業務上外ノ別ノ診療擔當者ノ各欄ニ對シ既ニ記載シアルモノト相違ナキヤヲ確メタル後診療開始年月日及日數内譯欄ニ各月分及日數ヲ記載シ終了事由ガ中止廢止又ハ治癒ナルトキハ終了

年月日及診療合計日數ヲ記入シ備考欄ニ支給金額ヲ記入ノコト

ヘ、柔道整復術營業者ノ施術承認申請書及療養費支給決定票（令第七十七條第一項第三號）

1、柔道整復術營業者ノ施術承認申請書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル負傷名業務上外ノ別柔道整復術營業者ノ氏名ヲ療養ノ給付（一般診療）ノ各該當欄ニ記入シ備考欄ニハ承認年月日令第七十七條第一項第三號ノ旨施術承認回數ヲ記載ノコト

2、療養費支給決定票ニ在リテハ本票ニ記載セラレタル負傷名業務上外ノ別柔道整復術營業者ノ氏名ニ付既ニ記載セラレタル事項ト相違ナキヤヲ確メタル後開始年月日終了年月日施術日數ヲ該當欄ニ記入シ備考欄ニハ支給額ヲ記載ノコト

ト、入院診療及一回貳拾圓以上ノ承術承認申請書

本書ニ記載セラレタル傷病名業務上外ノ別診療擔當醫ノ氏名ヲ療養給付（一般診療）ノ各該當欄ニ記入シ備考欄ニハ承認年月日入院承認日數回數ヲ朱書ヲ以テ記載ノコト

チ、看護婦附添承認申請書及請求書

1、看護婦附添申請書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル傷病名業務上外ノ別ヲ療養ノ給付（一般診療）ノ各該當欄ニ記入スルコト

備考欄ニハ承認年月日附添承認日數及看護婦附添承認ノ旨ヲ記入ノコト

2、看護料金請求書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル看護ノ期間及日數ヲ療養給付ノ該當欄ニ記載シ備考欄ニハ其ノ金額ヲ記載スルコト

リ、移送承認申請書及請求書

1、移送承認申請書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル傷病名業務上外、ノ別ヲ療養ノ給付（一般診療）ノ各該當欄ニ記入シ備考欄ニハ承認年月日及移送ノ旨ヲ記載スルコト

2、移送費請求書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル移送回數及金額ヲ備考欄ニ記載スルコト

ヌ、歯科特別補綴承認申請書及請求書

1、歯科特別補綴承認申請書ニアリテハ本書ニ記載セラレタル傷病名（特補）歯別及診療擔當者氏名ヲ療養給付歯科診療該當欄ニ記入シ備考欄ニハ承認年月日及補綴ノ歯別ヲ記載ノコト

2、歯科特別補綴料金請求書ニ在リテハ既ニ記載シアル診療擔當者氏名及補綴ノ種別ニ付對査スルコト

ル、延長診療認定申請書

本書ニ記載セラレタル病名保險醫ノ氏名ヲ療養ノ給付（一般診療）ノ該當欄ニ記入シ備考欄ニハ認定書交付年月日延長給付開始年月日、延長診療給付期間滿了年月日及延長診療ノ旨ヲ記載ノコト

オ、世帶員診療（延長）承認申請書
世帶員診療承認申請書ニ在リテハ本書ニ記載セラレタル承認番號、承認年月日ヲ世帶員ニ關スル記事ノ該當欄ニ記載ノコト

ワ、療養所入所診療承認申請書
本書ニ記載セラレタル病名、開始年月日ヲ療養ノ給付（一般診療）ノ該當欄ニ記入シ備考欄ニ承認年月日ヲ記載スルコト

八、現金給付ニ關スル書類整理ノ項

第九十九條　文書班ヨリ各種手當金、其ノ他現給ニ關スル一切ノ書類ノ廻付ヲ受ケタルトキハ各種書類ノ被保險者記號番號ト被保險者番號ヲ對査シ左ノ手續ニ依リ臺帳ヲ處理スベシ

イ、傷病手當金支給決定票
本票ニ記載セラレタル傷病名業務上、業務外ノ別開始年月日支給日數支給金額支拂年月日ハ傷病手當金欄ノ各種該當欄ニ記入スルコトヽシ法第四十七條第二項、法第五十五條該當、法第六十一條、法第六十二條第二項、法第六十三條、法第六十四條、法第六十五條、令第七十九條、令第八十五條但書、令第八十六條又ハ令第八十七條ノ規定ニ該當スルコトノ旨決定票ニ明示シアルトキハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト

ロ、埋葬料支給決定票
本票ニ記載セラレタル死亡年月日、死亡原因業務上業務外ノ別支給金額及支給年月日ヲ死亡ニ關スル給付欄ノ各種該當欄ニ夫々記載シ、埋葬料、費欄中ノ「費」ヲ抹消スルコト

ハ、埋葬費支給決定票
取扱手續ハ前項ニ準ジ臺帳死亡ニ關スル給付、埋葬料費欄中「料」ヲ抹消スルコト

ニ、分娩費支給決定票
本票ニ記載セラレタル分娩年月日、支給金額及支給年月日ヲ分娩ニ關スル給付ノ分娩費欄ニ記入スルコトヽシ生產ナル場合ハ「生」死產ナル場合ハ「死」ト備考欄ヘ記入スルコト

ホ、出產手當金支給決定票
本票ニ記載セラレタル支給期間、日數、支給額及支給年月日ヲ分娩ニ關スル給付欄ノ出產手當金各該當欄ヘ記載スルコトヽシ支給日數ニ於テ令第八十條第二項ニ該當スルモノナルトキハ其ノ旨延長シタル日數ヲ、令第八十一條第二項、令第八十五條但書、令第八十六條、令第八十七條ニ該當スルトキハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト

ヘ、療養費支給決定票　令第七十七條第一項第一號及第二號）
本票ニ記載セラレタル傷名名業務上外ノ別支給期間支給開始、終了年月日、診療擔當者ヲ夫々

療養ノ給付（一般診療欄）ノ各欄ニ記入スルコト、シ備考欄ニハ支給金額令第七十七條第一項第一號又ハ第三號ト記入スルコト

第百條　各班ヨリ受ケタル書類ニ付臺帳ノ記載ヲ終了シタルトキハ其ノ書類ハ所屬班ニ廻付スベシ

第九節　庶務係會計班關係

一、支出事務ノ項

第百一條　現給班又ハ醫療班ヨリ廻付ヲ受ケタル書類ニシテ支出決定ヲ要スベキモノハ左ノ手續ニ依リ處理スベシ

一、審査及着眼點

支出決定ヲ要スベキ書類ニ對シテハ金額算出ノ根據ニ留意シ計算ニ誤算ナキヤ否ヤヲ調査シ、更ニ年度ノ區分、時效完成ノ有無、正當債主ナルヤ、請求者ノ印洩ノ有無等ニ關シ審査ヲ爲スコト

二、審査ノ決定

各種審査ヲ了シタル書類ニシテ支出決定支障ナシト認メタルモノハ決裁ヲ受クルコト

第百二條　支出決裁濟ノ請求書ハ健康保險及職員健康保險、船員保險ノ各會計毎ニ直拂及代理店拂、局拂ニ分チ更ニ之ヲ傷病手當金請求書、出産手當金請求書、助産手當金請求書、産院收容及保險醫ノ助産手當請求書、分娩費請求書、埋葬料費請求書、療養費請求書、移送費請求書、看護料請求書補給金請求書、官公立病院診療料金請求書、繼續療養請求書、齒科補綴料金請求書ニ區分シ左ノ通リ處理ノコト

一、直拂ハ支給決定通知書ニ支拂ヲナスベキ年月日ヲ記入ノ上發送ノコト

二、直拂ニ對シ債主受領ニ來所ノトキハ正當債主ナルヤ否ヤヲ確メ正當債主ナルトキハ請求書ノ裏面ニ受領ノ旨記入セシメ小切手ヲ調製ノ上交付ノコト

三、代理店拂及局拂ノモノハ請求書ニ支出票ヲ附シ支出決定通知書ヲ分離シ一括編綴ノ上金額氏名表ニ債主ノ住所、氏名、金額及代理店名又ハ局名ヲ記入シ金額ヲ合計ノコト

四、前號ノ金額氏名表ニヨリ代理店拂ナルトキハ代理店拂ノ歳出金支拂通知書ニ局拂ナルトキハ局拂・歳出金支拂通知書ニ對シ支拂金額、債主名、小切手番號、氏名表番號、歳出金支拂通知書番號、代理店又ハ局名、知事名發行月日ヲ記入照合シ支出官印押捺ノ上支出決定通知書ト同封債主宛發送ノコト此ノ場合ニ於テハ決定票ノ添付ナキ書類ハ原議ヲ決定票ノ添付アルモノニ對シテハ支拂年月日ヲ記入シ文書班ニ廻付ノコト

五、受領委任ノモノニハ送付書ヲ調製ノ上歳出金支拂通知書ト同封發送ノコト

第百三條　小切手ノ作製ハ左ノ手續ニ依リ處理スベシ

一、直拂ニアリテハ記名式持參人拂小切手ニ支拂金額、債主名、支出官名、振出年月日、支出年度及科目ヲ記入シ小切手上欄ニ金額記入器ニ金額ヲ打拔キ請求書ト照合ノ上支出官印押捺ノコト

二、代理店及局拂ニアリテハ支出票記載ノ合計金額支拂者名。日本銀行支出官名、振出年月日、支出年度及科目ヲ記入シ小切手上欄ニ金額記入器ニ金額ヲ打拔キ裏面ニ「表面ノ金額ハ金額。氏名表ニ記載ノ通リ拂渡ヲ要ス」ト記載シ請求書ト照合ノ上支出官印押捺ノコト但シ個人渡ノモノニ付テハ「表面ノ金額ハ何々郡、何々町、何ノ誰ニ何々代理店又ハ何々局ニ於テ拂渡ヲ要ス」ト記載ノコト

第百四條　小切手調製ヲ終リタル場合ハ、直拂ノモノハ小切手振出濟通知書ヲ代理店拂及局拂ノモノハ金額氏名表、小切手振出濟通知書及小切手ヲ小切手及小切手振出濟通知書送付簿ニ記載ノ上日本銀行ヘ交付ノコト

第百五條　小切手振出ヲ了シタル時ハ請求書ニ小切手番號小切手發行年月日ヲ代理店拂局拂ニアリテハ更ニ歲出金支拂通知書番號ヲ記入シ支出票ニ業務上ノ支給金額ヲ記載ノコト（直拂ニアリテハ其ノ日ノ支拂ヲ了シタルトキ第百二條ノ區分ニ從ヒ各種類別ニ支出票ヲ附シ編綴ノコト）

第百六條　支拂ヲ了シタルトキハ小切手受拂供閲簿ニ（各會計毎ニ別冊トス）小切手拂出枚數ヲ直拂代理店及局拂ニ區分ノ上記載シ閲覽ニ供スルコト小切手ヲ請求セントスル場合ハ小切手請取證ニ依リ日本銀行ニ請求ヲナシ交付ヲ受ケタル場合ハ本簿ニ記載ノ上閲覽ニ供スルコト

第百七條　仕譯書ノ調製ハ左ノ手續ニ依リ處理スベシ

一、療養費ハ請求書ニ基キ支給金額、診察料、治療材料、處置手術其ノ他入院料債主（被保險者名）ヲ記入ノコト

二、移送費ハ支給金額、被保險者名、債主名ヲ記入シ更ニ移送ノ種類及一回分料金ヲ備考欄ヘ記入ノコト

三、看護費ハ支給金額、日數、單價、被保險者名、債主名ヲ記入ノコト

四、傷病手當金ハ支給金額、標準報酬日額、支給日數、債主名（但シ委任受領ノ場合ハ被保險者名ヲ記載ノコト）ヲ記入ノコト

五、埋葬料ハ支給金額、死亡シタル被保險者名、債主名、被保險者トノ續柄ヲ記入ノコト

六、分娩費ハ支給金額、債主名（但シ委任受領ノ場合ハ被保險者名）ヲ記入ノコト

七、助產ハ支給金額、被保險者名、債主名ヲ記入ノコト

八、產院收容ハ助產ニ同ジ

九、出產手當金ハ傷病手當金ニ同ジ

一〇、官公立病院ハ支給金額、被保險者名債主名（病院名）ヲ記入ノコト

一一、補給金ハ支給金額、入院、處置手術、世帶員、氏名、被保險者トノ續柄債主名ヲ記入ノコト

第百八條　歲出金支拂通知書ノ氏名及支拂場所ノ訂正願出アリタルトキハ訂正請求書ニ依リ會計年度會計名、小切手發行月日、小切手番號、金額、氏名表番號ノアルモノハ其ノ番號、款項、支拂店（局）受取人、住所、氏名金額ヲ記載ノ上訂正ヲ要スベキ點ヲ朱書シ正副二本調製ノ上正通ハ伺書類トシ副本ハ日本銀行ヘ送付シ本人宛訂正ヲ了シタル旨通知ノコト

第百九條　歲出金支拂通知書ノ亡夫屆アリタル場合ハ正當債主ナルヤ、金額小切手番號、支拂通知書發行年月日、所屬年度、發行官廳ノ指定拂渡場所ニ相違ナキヤ否ヤ支拂未濟ノ證明ヲ添付シアルヤ否ヤヲ調査ノ上再發行ヲ要スベキモノニ付テハ支出官名ニテ日本銀行ニ對シ支拂停止方ヲ請求スルト共ニ再發行ヲナシ其ノ旨日本銀行ヘ通知ノコト

第二編　資格事務の研究

第一章　はしがき

資格事務は健康保險事務の關門と謂つても差支あるまい。

健康保險の事務は先づ被保險者の資格取得屆の事務より始まり資格喪失屆の事務によつて一段落を爲す譯でこの事務程間口の廣い奥行の深いものはあるまい。

殊に資格取得屆に對する賃銀の適否關係に對しては此の事務を行ふものとして最も肝心を要すべきであり苦心の存する所である。

屆出に對する賃銀の適正であるか否やかの點は其の工場の性質と云ふか事業主の正直なる屆出と云うか極めて間違のない屆出をするものもあれば又中には保險料の負擔輕減を目的としてか、かなり杜撰のものも尠くない結果から屆出をその儘鵜呑みにしてしまふ譯にも行かぬ場合が豫期せられる。

賃銀の適否問題を机上に於て決定することは相當困難の場合が多くある譯であるが各業態毎に一應の基礎調査を行つておけば決定上非常に參考になることが多い經驗から左に作業の內容及工賃の算出法の調査を記述したい。

第二章　作業の内容及工賃の算出法

この調査は事變前の調査である。從つて現在の工賃と比較すれば相當の開きがあるけれども標準報酬日額の決定に對し幾分の參考となすことを得るものと思ふ。

この調査を行つた動機は適確なる報酬の決定は何によつて求むべきかの資料を得んとしたるに始まるもので工場又は鑛山等の事業所には工賃支拂簿又は工程表などゝ稱するものが備付てあるものもあれば全く備付て居らぬものもある。又備付てあつても本物を見せてくれぬものもあつて折角出張して調査しても核心に觸れずに歸つて來ることも屢々である。

そこで調査員としては先づ本人の作業の工程を知り次に工賃の算出方法の適否を知る爲めに管内の各種業態に就て深い研究を重ね一度研究した事項は係員全部に知らしめて調査の完璧を庶幾したのである。殊に各種業態中生糸工場の工賃の算出方位難解のものはあるまい、であるから調査員は無我夢中で先方の云はるゝ儘になつて居るより外に仕方がなく、いつも御尤で御座ると云つた調子で歸つて來るそれでは正確なる調査は出來ないのも至當である。所がこの調査を完了してからはすつかり内容が判つて來たので立派な調査をして歸つて來る樣になつた。

こんな意味でこの種調査は非常に大きな役割を演じたる過去の經驗に徵し敢てこの調査書を參考の資として記述することにした譯であるが同じ業態にしても作業工程なるものは全部同一ではないのでこの調査書を以てどこの管内にも當嵌るものとは考へてゐないが充分味つて載きたい。

第三章　各業態に於ける作業の内容及工賃の算出法

第一款　染織工場

一、製糸工場

作業の内容工程

此に製絲とは繭を原料として商取引上の所謂生絲を製造するものを云ふ

工程順序

撰繭

煮繭

撰繭

俗に「マイヨリ」と稱す相當經驗者をして行はしむ撰繭の目的は不良繭を排除し大體規格一定のものとするにあり

煮繭

撰繭を經驗者に依り繰絲適度に煮繭す

配繭

煮繭を繰絲工に配給す

繰絲　配給せられたる煮繭を釜に入れ華氏一七〇乃至一八六度の繰絲湯を以て保溫之を順次繰絲となす

再繰　繰絲せるものを再繰（揚返とも云ふ）するものにして本作業中品位檢査を爲す

檢量　再繰せるものに重量を檢査す

結束　檢量せるものを結束して商品化す

荷造　輸出品は結束せる生絲を包裝荷造を爲すも然らざるものは荷造を爲さず其の儘商取引せらる

工賃算出方法　工賃繰絲女工は出來高拂とし其の他のものは日給とし稀に月給者あり

繰絲工賃計算方法は別紙添附す

日給者工賃決定方法は本人の技倆に依るものにして此數年間不振の爲雇入の際と著しき變化なし但し見習工は此の限にあらず

撰繭工	男	五五錢	女　四五錢
煮繭工	男	七〇錢	女　四五錢
配繭工	男	五五錢	
再繰工	女	五〇錢	
檢量	男	七〇錢	女　六〇錢
結束	男	八〇錢	女　六〇錢
火夫	男	八〇錢	
現業監督	男	一〇〇錢	
事務員	男	一〇〇錢	女　六〇錢

準報酬　製絲工場の大部分は職工を寄宿舍に收容するを以て食事を給與す但し地方に依り食料を徵するものと之を徵收せざるものあり男工は何れの地方に於ても食事無償給與の慣例あり之に反し女工は一日金十五錢の食料を徵收する工場多數あり

參考事項

(1) 繰絲工賃計算方法は比較的復雜にして難解の點あるも要は工賃目標（日給と略同樣のもの）より出發するものとす而して工賃目標とは工賃計算該當期間中に於ける工程及原料對製品の損益を計算し尙一般勞働賃金を參酌の上定むるものに付調査に際しては此の點特に調査の要あり

(2) 繰絲は出來高拂の關係上每日其の繰絲高其の他を繰絲成績表に記載し月末に至り一ヶ月間の工賃計算を爲し右成績表にも金額記載すべき筈なるも之を記載せずして別冊貯金臺帳的のものに記載するやの傾向あり右貯金は果して工賃の全額なるや否繰絲成績表檢討の要あり

製絲に於ける繰絲工賃計算方法其の一（一ヶ月間の計算）

一、一ヶ月間の就業繰絲女工の延人員を計算す

二、工場全體の繰絲量を計算す

三、工場全體の繰絲量を繰絲延人員にて除し一日一人の平均繰絲量を算出す

四、一ヶ月間の工場全體の繰絲に關する賞罰を計算す

五、繰絲十匁の工賃單價算出す（點數制度）

繰絲女工一日の實收卽ち目標に賞罰を相殺し賞は差引罰は加算し尙之に食費を加へたるものを一日一人の平均繰絲量を以て除して得たるものは一點の單價とす（繰絲十匁の單價も加味せるもの）

六、各人の工賃計算は一ヶ月間の繰絲量へ一點單價を乘し繰絲工賃を算出す但し賞罰附點法に依り賞罰を相殺す

七、賞罰附點法

(1) 一ヶ月間の工場全體の生絲一本平均重量を中心とし超過に對しては（出目と云ふ賞を不足（切目）に對しては罰金を徵す

(2) デニール　例示二十一中の生絲を造るときは之を中心として上下に對し一定範圍に依り賞罰を附す

(3) セリプレーン　絲條班、類節は橫濱國立生絲檢查所の規格を標準とし標準一〇〇とし七五點以下を罰とし七五點より一〇〇點迄は賞とす

其の二（一ヶ月間の計算）

一、一ヶ月間の就業繰絲女工の延人員を計算す

二、同工場全體の繰絲量を計算す

三、工場全體の繰絲量を繰絲延人員にして除し一日一人の平均繰絲量を算出す

四、繰絲女工の一日の平均實收額卽ち目標を定め之に延人員を乘し一ヶ月間の工場（全部）繰絲の總工賃を算出す

五、總工賃を工場全體の繰絲量にて除して得たるものは繰絲十匁の工賃とす之を俗に「カケ」と云ふ

六、各人の工賃計算は一ヶ月間の繰絲量へ十匁工賃單價を乘じ得たるものは繰絲工賃にして別に賞罰

附點法に依り賞罰を相殺す

七、賞罰附點法

(1) 杯數一ヶ月間の工場全體の平均杯數より超過せるものに對しては一杯に付金一錢位の賞を與ふ

本件は罰なし

(2) 一本の絲目の賞罰、一ヶ月間の工場全體の一本の平均絲目を超過するものには一匁に付二錢位の賞を不足のものに對しては一匁に付金一錢位の罰を徵す

(3) デニールセリプレーン賞罰は計算方法其の一と大同小異に付省略す

其三　玉絲繰絲工賃計算方法（一ヶ月間の計算）

一、一ヶ月間の工場全體の總杯數を延人員にて除して得たるものは一日一人の平均杯數とす（玉絲は繭一枡何程の工賃と定む）

二、繰絲に關する一ヶ月間の賞罰を調査し之を相殺したるものを延人員を以て除して得たるものを一日一人の平均賞罰金額とす

三、一日一人實收額（目標）を定め賞を差引き罰を加へ之を一日一人平均杯數にて除せるものは一杯

の工賃單價又は點數單價と云ふ

四、各人の工賃計算は一ヶ月間の作業杯數へ工賃單價を乘じたるものが主たるものにして尙賞罰を加減す

五、賞罰附點方法

(1) 出目切目の賞罰　賞罰各一匁金一錢位

出目切目とは工場全體の一本の平均重量を中心とし超過に對し賞、不足に對し罰とす

(2) 品位　纖度に對し肉眼檢査を爲し上、下を定め一本に對し賞は金一錢位を與へ罰は金一錢位徵收す

二、製綿及ガラ紡工場

作業の內容工程

此に謂ふ製綿工場とは襤褸を原料とし之を廻切機（彈綿機とも云ふ）にて綿に還元しガラ紡、帶芯綿毛布原料を製造するものを指稱す

ガラ紡工場とは製綿工場に於て造りたる綿を更に打綿機にて打綿し之を撚子としたるものを紡錘機にて紡績と爲したる所謂ガラ紡を製造するものとす

工賃算出方法

工賃は製綿工日給制度ガラ紡日給、年給、月給、時間給制度例外として出來高拂等とす

製綿工　一等　一圓二〇錢　二等　一圓一〇錢　三等　一圓

打綿工　一等　九〇錢　二等　八〇錢　三等　六〇錢

精紡工（糸繼と云ふ）日給　三〇錢　四〇錢　五〇錢　六〇錢

月給、日給と大差なし、年給五ヶ年二〇〇圓位、時間給三錢乃至五錢

精紡工出來高拂、製品卽ち一貫匁の紡績に對し金一一錢の工賃にして一日平均四貫二百匁を造り四十六錢二厘の稼高となる

日給額決定の方法

ガラ紡糸繼は大體前記の出來高を標準とし各人の技倆に依り決定す但し年期契約者は被傭者側に於て非常に不利益の點ありと認む製綿工打綿工は本人の技倆に依り決定す

準報酬

製綿工は殆んど通勤者にして準報酬無之

ガラ紡は通勤者を除く他は全部三食給與し食料を徵收せず尙年期契約者に對しては被服其の他身の廻り品を支給し時々小遣錢を與ふ

參考事項

製綿工場に於ける問屋よりの請負工賃

(1) 製綿出來上り　一〇貫匁工賃　最高　一圓三〇錢　麺切機四回掛

〃　〃　上等　一圓二〇錢　〃

〃　〃　普通　一圓一〇錢　〃

(2) ガラ紡一〇貫匁を造るには原料製綿一一貫匁を要す

(3) ガラ紡は普通紡績の如く左の番號あり

四番手乃至十二番手及特種品ありて問屋より工場に對する請負工賃表なるもの定めあり

三、撚絲業

作業の內容工程

人絹、生絲、毛絲を購入又は問屋、織物工場より工賃請負を爲し原絲を繰返機にて枠より「ボビン」と稱する一種の管に卷取り之を撚絲機に掛け所要の撚り掛を爲したるものを「カナ」又は逆りボビンに卷取り發送す

撚絲工程は織物の種類に依り悉く異なる

繰返し　生絲十四中一人一日二貫匁　人絹六貫匁

撚絲　生絲五、六回撚掛を爲す

人絹一回乃至三回撚掛を爲し一人擔當一臺半——二臺にて六貫匁位撚絲す

送りボビン　一日一人人絹六貫匁位

工賃算出方法

工賃は何れも日給制度とす

撚絲工　五七錢
繰返工　四八錢　女工とす
送りボビン　四八錢

男工（雜）　月給二十五圓

〃　見習工　月給　七圓

準報酬

男子食事一日金二十六錢　女子一日金六錢

四、織物工場

作業の內容工程

管內織物工場の大部分綿織物にして綿絲を原料とし機織するものとす

工程を大別して準備工程、機織、仕上とす

準備工程とは整經（荒卷）糊附を爲し縱絲を織機に取附け尙織機廻轉に依り織込む（橫絲打込と云ふ）橫絲を管卷するものを云ふ

機織は織機に縱絲取附けたるものを織機廻轉に依り之に橫絲を打込み織布と爲すものとす

仕上は織布を檢査の上一定の長さに折りたたみ問屋へ發送する迄の工程と解す

工賃の算出方法

工賃は工場の大小、製品、自家販賣取引、工賃織、其の他地方別に依り一定せず從て之が大體を示す

荒卷女工（整經）　日給　五〇錢——七〇錢

糊附男工　〃　七〇錢——一圓五〇錢

織機手直男工　〃　七〇錢——一圓五〇錢　見習工は別とす

見廻女工　〃　五〇錢——七〇錢

管卷女工　〃　二五錢——三五錢

出來高拂一本（一チーズ）工賃二厘一日約二〇〇本工賃四〇錢機織工（織布）年期契約者は別とし大部分出來高拂とす

一碼工賃に依り計算するも織物の幅員品名及一時間の橫絲打込本數、織機廻轉度數に依り異な

る尙稼高は織機擔當臺數に依り差異あり

A方面白綿布機織		
四四吋織機一〇臺擔當	一日	九〇錢
〃 七臺擔當	一日	六三錢
〃 四臺擔當	一日	三六錢
B方面雜綿布機織		
三四吋織機六臺擔當	一日	七二錢
〃 五臺擔當	一日	六〇錢
〃 四臺擔當	一日	四八錢
C方面白木綿綾もの		
四四吋織機一〇臺擔當	一日	一圓〇二錢
〃 八臺擔當	一日	八一錢
〃 六臺擔當	一日	六一錢
D方面「カネキン」		
三六吋織機一一臺擔當	一日	七七錢

〃 一〇臺擔當	一日	六六錢
〃 八臺擔當	一日	五二錢

全管內

帶芯小巾織機五臺擔當	一日	四八錢——七五錢
〃 四臺擔當	一日	四〇錢——六〇錢
〃 三臺擔當	一日	三〇錢

仕上工　月給二〇圓——三〇圓

準報酬

A地方年期契約者は食事及被服を給與す

其の他のものは男工三食給與女工三食給與食料一日金十三錢徵收す

A地方男工一日金十一錢女工一日金九錢食事の差額利益あり

B町方面男工三食給與女工一日金六錢の食事の差額利益あり

帶芯工場は男女共に三食給與するもの多し

參考事項

織物工場は工賃年二期舊正舊盆拂の慣習あり